

ご利用ガイド 9.3版

1. ご利用ガイドについて P2

2. サービス概要 P4

- 2-1. サービス概要
- 2-2. サービス提供形態
- 2-3. 代表契約者さまで管理いただく内容
- 2-4. 本サービスでの各種用語について
- 2-5. アクセス回線種別について

3. サービスのご利用方法について P18

- 3-1. サービスご利用チャート
- 3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法
- 3-3. ギャランティアクセスのご利用方法
- 3-4. バーストアクセスのご利用方法
- 3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法
- 3-6. ターミナル(L3)のご利用方法
- 3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法
- 3-8. 専用コンバーターのご利用方法
- 3-9. 各種機能のご利用方法

4. 各種お問い合わせ先 P149

1. ご利用ガイドについて

1. ご利用ガイドについて

このたびはArcstar Universal Oneサービスをご契約いただき、誠に有難うございます。

Arcstar Universal Oneサービスでは、お客さまが安心かつ快適にご利用いただけるよう、さまざまなサービス及びサポートメニューをご用意させていただいております。

本ご利用ガイド(以降本書)では、「サービス概要」「サービスのご利用方法」などをご案内させていただきます。

※本書は上記をまとめたガイドブックとなっております。ご不明な点や、本書では対処できない事象の場合は、本書記載の「各種お問い合わせ先」をご参照のうえ、各種窓口までお問い合わせください。

サービスご利用中、本書はお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

各拠点のネットワーク技術担当者様等には、必要に応じて代表契約者様から本書を配布ください。

最新版のご利用ガイドは、NTTドコモビジネス ビジネスポータル <https://b-portal.ntt.com/> からダウンロードいただけます。

ログインID、パスワードは、代表契約者様にて管理をお願いします。

ご利用の際には、本書とあわせて「重要事項説明」についてもご確認ください。

● 本書の扱いについて

- 本書の一部または全部をNTTドコモビジネス株式会社の許可なく複写・複製・転載することを禁じます。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。
- 本書における記述は、情報を提供する目的で記載したもので、保証するものではありません。

● 商標および登録商標について

- OCNは、NTTドコモビジネス株式会社の商標です。
- FOMA、Xiは、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows2000、WindowsXP、WindowsVista、Windows7、Windows10、Internet Explorerは、米国及びその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標です。
 - Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
 - Internet Explorerの正式名称は、Microsoft® Internet Explorer Internet browserです。
- フレッツ、フレッツ・ADSL、フレッツ 光ネクストは東日本電信電話株式会社/西日本電信電話株式会社の登録商標です。
-  とフリーダイヤルは登録商標です。
- その他、記載された商品名及び会社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本文中の各社登録商標または商標には、一部®マーク等は表示していません。

● 警告表示

本書では以下の絵表示を使用しています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 ご注意	警告・注意を促す内容であることを告げているものです。記号の中やその周囲には具体的な警告・注意内容が示されています。
	従っていただきたい内容であることを告げるものです。記号の中やその周囲には具体的な指示内容が示されています。
	説明するうえでポイントとなる内容であることを告げているものです。記号の中や周囲には具体的な指示内容が示されています。

2. サービス概要

2. サービス概要

2-1. サービス概要

特徴

- ・オフィスからクラウドまであらゆるものをシームレスにつなぐ、ビジネスバックボーン。
 - ・ギャランティアクセスからベストエフォートアクセスまで、幅広いアクセス回線ラインナップ。
 - ・アクセス回線の冗長化提供をプランメニューとして標準装備。
 - ・お客さま宅内のエンドポイント機器(ターミナル)をレンタル提供。
- 故障時のアクセス回線自動切替や、お客さま拠点間の疎通監視など、信頼性向上のサービスを提供。

サービス概要

- ・レイヤー 2 (以降L2)、レイヤー 3 (以降L3)の両方が選択可能。
 - ・L2、L3のそれぞれにおいて、プレミアムプラン、ギャランティプラン、バーストプラン、ベストエフォートプランを提供。
 - ・クラウドサービスまでシームレスに接続可能。
 - ・海外拠点までシームレスに接続可能。
- ※各サービスのサービス詳細及び提供時期については別途NTT ドコモビジネス営業担当までお問い合わせください。



故障に強いアクセス回線冗長化標準装備
すぐを選ぶ品質・価格別のシンプルメニュー

※プランイメージはL3で記載

2. サービス概要

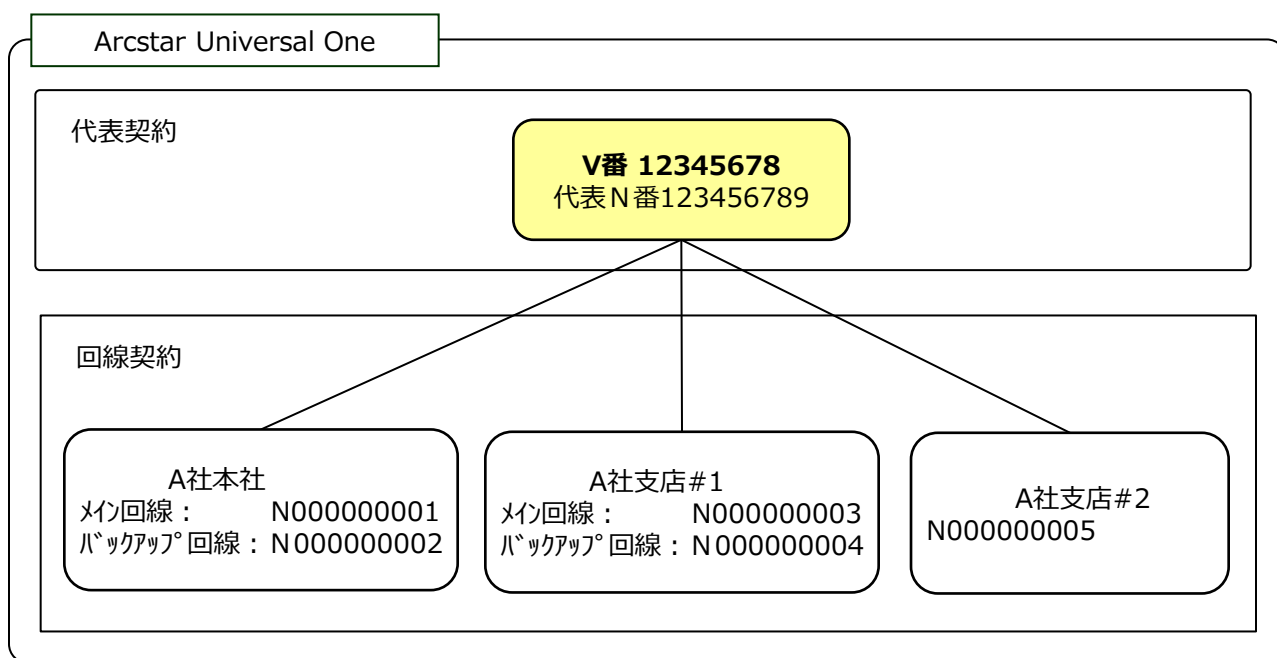
2-2. サービス提供形態

管理IDについて

- 複数の回線契約により1つのVPN(仮想閉域網)を構築します。
- VPNを識別するお客さま番号として、VPN番号(以下V番)と、代表N番号(以下代表N番)があります。
- 回線を識別するお客さま番号として、N番号(以下N番)があります。

代表契約者について

- VPNを統括する管理者として、代表契約者を1VPNごとに、1名ご指定いただきます。



2. サービス概要

2-3. 代表契約者さまで管理いただく内容

管理いただく内容

• VPNのセキュリティ確保のため、NTT ドコモビジネスは代表契約者さまのご承認なしに、契約の異動(新設・変更・廃止等)のお申込みは受け付けいたしかねます。したがって、代表契約者さまは、以下にお示しするVPN内の現況を把握いただき、拠点の新設・変更・廃止等についてのお申込み毎にご承認をいただきます。

- VPNに参加する回線契約・オプションサービス契約の管理
- 新設・変更・廃止等のお申込みの管理
- ご契約回線毎のネットワーク情報の管理

※ 1 のVPN内でネットワーク情報が重複・包含した場合は、通信に影響を及ぼす場合がありますのでご留意下さい。

- トラフィックレポートのID・パスワードの管理

2. サービス概要

2-4. 本サービスでの各種用語について

全体

契約関連	VPNグループ	Arcstar Universal Oneによって構成されるお客さまのVPN(仮想専用網)のネットワーク全体を指します。
	VPNグループ拠点	Arcstar Universal Oneサービスによって構成されるお客さまのVPN(仮想専用網)のネットワークの各回線を設置する拠点を指します。
	代表契約者	お客さまの中で、VPNに参加する回線の管理等、VPNを統括する管理を行っていただく方を指します。
	回線契約者	VPNグループ拠点の回線の契約等の管理を行っていただく方を指します。
端末関連	Universal One ターミナル I 型、I 型エントリー Communication ターミナル I 型	L3利用時にお客さま宅内に設置し、エンド-エンド監視等の高付加価値提供の起点となる装置を指します。
	Universal One ターミナル(L2アダプター)	L2利用時にお客さま宅内に設置し、エンド-エンド監視等の高付加価値提供の起点となる装置を指します。
	専用コンバーター	L2ベストエフォートアクセス利用時にお客さま宅内に設置する装置を指します。
	オンサイト工事	ターミナルの取り付け作業ないし設定変更作業において、派遣工事担当者が回線設置場所はお伺いし、作業を行うタイプの工事を指します。
	リモート変更工事	ターミナルの設定変更作業において、派遣工事担当者が回線設置場所はお伺いせずに、遠隔で作業を行うタイプの工事を指します。
アドレス関連	網内利用アドレス	Universal Oneサービスの網内で利用するネットワークアドレスを指します。お客さま拠点で当該アドレスの利用は出来ません。
	WANネットワークアドレス	L3サービスにおいて、PEと宅内ルーター間のネットワークアドレスを指します。
	お客さま拠点サマライズネットワークアドレス	L3サービスにおいて、宅内ルーター配下に設定し、Universal Oneサービスとしてルーティングするネットワークアドレスを指します。
	お客さま拠点ネットワークアドレス	L3サービスにおいて、ターミナルに設定するお客さまLAN内のネットワークアドレスを指します。
	お客さま拠点ネットワークGWルーターIPアドレス	L3サービスにおいて、お客さまLAN内に複数のセグメントを作る場合、セグメントを分けるために設置されるルーターのWAN側に設定されるIPアドレスを指します。ターミナルからLAN配下のそれぞれのセグメントに対してパケット転送する際のネクストホップに当たります。
	LANポートIPアドレス	L3サービスにおいてターミナルのLAN側インターフェースに設定するIPアドレスを指します。お客さまLAN内の端末のデフォルトゲートウェイに当たります。※Universal Oneターミナルを2台構成した場合は、仮想IPアドレスが端末のデフォルトゲートウェイに当たります。
	仮想IPアドレス	L3サービスにおいて、ターミナルを2台構成した場合の、VRRPで利用するIPアドレスを指します。お客さまLAN内の端末のデフォルトゲートウェイに当たります。

2. サービス概要

2 – 5. アクセス回線種別について

L2 ベストエフォートアクセス

(1/1)

・以下のアクセス回線をご利用のお客様が対象になります。

レイヤ	アクセス	タイプ	品目
L2	ベストエフォート アクセス	フレッツタイプ (フレッツ一括提供型)	フレッツ 光ネクスト ファミリー・ギガラインタイプ
			フレッツ 光ネクスト ギガファミリー・スマートタイプ
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・スーパーハイスピードタイプ 集
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ
			フレッツ 光ネクスト ファミリータイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・ギガラインタイプ
			フレッツ 光ネクスト ギガマンション・スマートタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・スーパーハイスピードタイプ 集
			フレッツ 光ネクスト マンション・ハイスピードタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンションタイプ
		フレッツタイプ (フレッツ別契約型)	フレッツ 光ネクスト ファミリー・ギガラインタイプ
			フレッツ 光ネクスト ギガファミリー・スマートタイプ
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・スーパーハイスピードタイプ 集
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ
			フレッツ 光ネクスト ファミリータイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・ギガラインタイプ
			フレッツ 光ネクスト ギガマンション・スマートタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・スーパーハイスピードタイプ 集
			フレッツ 光ネクスト マンション・ハイスピードタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンションタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・スタンダードタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・ライトタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・スタンダードタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・ライトタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・24時間出張修理タイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・7-22時出張修理タイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・24時間出張修理タイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・7-22時出張修理タイプ

2. サービス概要

2 – 5. アクセス回線種別について

L3 ベストエフォートアクセス (IPoE)

(1/1)

- 以下のアクセス回線をご利用のお客様が対象になります。

レイヤ	アクセス	タイプ	品目
L3	ベストエフォート アクセス(IPoE)	フレッツタイプ (フレッツ別契約型)	フレッツ 光ネクスト ファミリー・ギガラインタイプ
			フレッツ 光ネクスト ギガファミリー・スマートタイプ
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・スーパーハイスピードタイプ 集
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ
			フレッツ 光ネクスト ファミリータイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・ギガラインタイプ
			フレッツ 光ネクスト ギガマンション・スマートタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・スーパーハイスピードタイプ 集
			フレッツ 光ネクスト マンション・ハイスピードタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンションタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・スタンダードタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・ライトタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・スタンダードタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・ライトタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・24時間出張修理タイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・7-22時出張修理タイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・24時間出張修理タイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・7-22時出張修理タイプ
		光一括提供型	光一括提供型 ファミリー1G
			光一括提供型 ファミリー200M
			光一括提供型 ファミリー100M
			光一括提供型 マンション1G
			光一括提供型 マンション200M
			光一括提供型 マンション100M

2. サービス概要

2-5. アクセス回線種別について

L3 ベストエフォートアクセス

(1/2)

・以下のアクセス回線をご利用のお客様が対象になります。

レイヤ	アクセス	タイプ	品目	
L3	ベストエフォート アクセス	フレッツタイプ (フレッツ一括提供型)	フレッツ 光ネクスト ファミリー・ギガラインタイプ	
			フレッツ 光ネクスト ギガファミリー・スマートタイプ	
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・スーパーハイスピードタイプ 集	
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ	
			フレッツ 光ネクスト ファミリータイプ	
			フレッツ 光ネクスト マンション・ギガラインタイプ	
			フレッツ 光ネクスト ギガマンション・スマートタイプ	
			フレッツ 光ネクスト マンション・スーパーハイスピードタイプ 集	
			フレッツ 光ネクスト マンション・ハイスピードタイプ	
			フレッツ 光ネクスト マンションタイプ	
			フレッツ・ADSL モアⅢ(47Mタイプ)	※1
			フレッツ・ADSL モアⅡ(40Mタイプ)	
			フレッツ・ADSL モア(12Mタイプ)	
			フレッツ・ADSL 8Mタイプ	
			フレッツ・ADSL 1.5Mタイプ	
			フレッツ・ADSL モアスペシャル	
			フレッツ・ADSL モア40	
			フレッツ・ADSL モア24	
			フレッツ・ADSL モア	
			フレッツ・ADSL 8Mプラン	
			フレッツ・ADSL 1.5Mプラン	
		フレッツタイプ (フレッツ別契約型)	フレッツ 光ネクスト ファミリー・ギガラインタイプ	
			フレッツ 光ネクスト ギガファミリー・スマートタイプ	
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・スーパーハイスピードタイプ 集	
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ	
			フレッツ 光ネクスト ファミリータイプ	
			フレッツ 光ネクスト マンション・ギガラインタイプ	
			フレッツ 光ネクスト ギガマンション・スマートタイプ	
			フレッツ 光ネクスト マンション・スーパーハイスピードタイプ 集	
			フレッツ 光ネクスト マンション・ハイスピードタイプ	
			フレッツ 光ネクスト マンションタイプ	
			フレッツ・ADSL モアⅢ(47Mタイプ)	
			フレッツ・ADSL モアⅡ(40Mタイプ)	
			フレッツ・ADSL モア(12Mタイプ)	
			フレッツ・ADSL 8Mタイプ	
			フレッツ・ADSL 1.5Mタイプ	
			フレッツ・ADSL モアスペシャル	
			フレッツ・ADSL モア40	
			フレッツ・ADSL モア24	
			フレッツ・ADSL モア	
			フレッツ・ADSL 8Mプラン	
			フレッツ・ADSL 1.5Mプラン	
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・スタンダードタイプ	
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・ライトタイプ	
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・スタンダードタイプ	
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・ライトタイプ	
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・24時間出張修理タイプ	
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・7-22時出張修理タイプ	
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・24時間出張修理タイプ	
			フレッツ 光ネクスト オフィス・マンション・7-22時出張修理タイプ	

※1：新規申込受付を終了しました。

2. サービス概要

2 – 5. アクセス回線種別について

L3 ベストエフォートアクセス

(2/2)

- 以下のアクセス回線をご利用のお客様が対象になります。

レイヤ	アクセス	タイプ	品目
L3	ベストエフォート アクセス	光一括提供型	光一括提供型 ファミリー1G
			光一括提供型 ファミリー200M
			光一括提供型 ファミリー100M
			光一括提供型 マンション1G
			光一括提供型 マンション200M
			光一括提供型 マンション100M

2. サービス概要

2-5. アクセス回線種別について

L3 ベストエフォートアクセス (ライト)

(1/2)

・以下のアクセス回線をご利用のお客様が対象になります。

レイヤ	アクセス	タイプ	品目
L3	ベストエフォート アクセス(ライト)	フレッツタイプ (フレッツ一括提供型)	フレッツ 光ネクスト ファミリー・ギガラインタイプ
			フレッツ 光ネクスト ギガファミリー・スマートタイプ
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・スーパーハイスピードタイプ 集
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ
			フレッツ 光ネクスト ファミリータイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・ギガラインタイプ
			フレッツ 光ネクスト ギガマンション・スマートタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・スーパーハイスピードタイプ 集
			フレッツ 光ネクスト マンション・ハイスピードタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンションタイプ
			フレッツ・ADSL モアⅢ(47Mタイプ)
			フレッツ・ADSL モアⅡ(40Mタイプ)
			フレッツ・ADSL モア(12Mタイプ)
			フレッツ・ADSL 8Mタイプ
			フレッツ・ADSL 1.5Mタイプ
			フレッツ・ADSL モアスペシャル
			フレッツ・ADSL モア40
			フレッツ・ADSL モア24
			フレッツ・ADSL モア
			フレッツ・ADSL 8Mプラン
			フレッツ・ADSL 1.5Mプラン
		フレッツタイプ (フレッツ別契約型)	フレッツ 光ネクスト ファミリー・ギガラインタイプ
			フレッツ 光ネクスト ギガファミリー・スマートタイプ
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・スーパーハイスピードタイプ 集
			フレッツ 光ネクスト ファミリー・ハイスピードタイプ
			フレッツ 光ネクスト ファミリータイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・ギガラインタイプ
			フレッツ 光ネクスト ギガマンション・スマートタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・スーパーハイスピードタイプ 集
			フレッツ 光ネクスト マンション・ハイスピードタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンションタイプ
			フレッツ・ADSL モアⅢ(47Mタイプ)
			フレッツ・ADSL モアⅡ(40Mタイプ)
			フレッツ・ADSL モア(12Mタイプ)
			フレッツ・ADSL 8Mタイプ
			フレッツ・ADSL 1.5Mタイプ
			フレッツ・ADSL モアスペシャル
			フレッツ・ADSL モア40
			フレッツ・ADSL モア24
			フレッツ・ADSL モア
			フレッツ・ADSL 8Mプラン
			フレッツ・ADSL 1.5Mプラン
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・スタンダードタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・ライトタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・ファミリー・スタンダードタイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・ファミリー・ライトタイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・24時間出張修理タイプ
			フレッツ 光ネクスト オフィス・ファミリー・7-22時出張修理タイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・ファミリー・24時間出張修理タイプ
			フレッツ 光ネクスト マンション・ファミリー・7-22時出張修理タイプ

※1：新規申込受付を終了しました。

2. サービス概要

2 – 5. アクセス回線種別について

L3 ベストエフォートアクセス（ライト）

(2/2)

- 以下のアクセス回線をご利用のお客様が対象になります。

レイヤ	アクセス	タイプ	品目
L3	ベストエフォート アクセス(ライト)	光一括提供型	光一括提供型 ファミリー1G
			光一括提供型 ファミリー200M
			光一括提供型 ファミリー100M
			光一括提供型 マンション1G
			光一括提供型 マンション200M
			光一括提供型 マンション100M

2. サービス概要

2 – 5. アクセス回線種別について

L2/L3 ギャランティアアクセス

(1/1)

• 以下のアクセス回線をご利用のお客様が対象になります。

レイヤ	アクセス	タイプ	品目
L2／ L3	ギャランティ アクセス	イーサタイプ(NTT東日本・西日本利用)	1Mbps～100Mbps
		イーサタイプ(NTT Com光アクセス利用)	1Mbps～1Gbps
		イーサタイプ(電力系NCC利用)	1Mbps～1Gbps
		イーサタイプ(ハウジング利用)	1Mbps～1Gbps
L2／ L3	ギャランティアアクセス (センタエンド)	イーサタイプ(NTT東日本・西日本利用)	10Mbps・100Mbps
L3	ギャランティアアクセス (フレキシブルイーサ)	イーサタイプ(NTT Com光アクセス利用)	－
		イーサタイプ (ハウジング利用)	－
L2	ギャランティアアクセス (イーサ専用)	イーサタイプ(NTT Com光アクセス利用)	1Mbps～400Gbps
		イーサタイプ(ハウジング利用)	1Mbps～400Gbps

2. サービス概要

2 – 5. アクセス回線種別について

L2/L3 バーストアクセス

(1/1)

- 以下のアクセス回線をご利用のお客様が対象になります。

レイヤ	アクセス	タイプ	品目
L2/ L3	バーストアクセス	バーストイーサタイプ	・バースト10 ・バースト100

2. サービス概要

2 – 5. アクセス回線種別について

L3 ワイヤレスアクセス

(1/1)

- 以下のアクセス回線をご利用のお客様が対象になります。

レイヤ	アクセス	ご利用形態	通信規格	契約容量
L3	ワイヤレスアクセス	メイン回線	・LTE	・1GB ・3GB ・7GB
		バックアップ回線	・3G ・LTE	－

3. サービスのご利用方法について

3 – 1. サービスご利用チャート

3-1. サービスご利用チャート

3-1-1. サービスご利用チャート

(※1)Universal Oneターミナルは、I 型とII 型を統合し、2012年11月1日よりI 型として提供します。



ご利用のプランごとに注意事項等がございますので、各項目のご確認をお願いいたします。

プレミアムプラン

メイン回線	ギャランティアクセスをご利用の場合	▶	3-3へ
バックアップ回線	ギャランティアクセスをご利用の場合	▶	3-3へ
ターミナル	L3利用 Universal Oneターミナル I 型(※1)をご利用の場合	▶	3-6へ
	L2利用 Universal Oneターミナル(L2アダプター)A型、B型、C型をご利用の場合	▶	3-7へ

ギャランティプラン

メイン回線	ギャランティアクセスをご利用の場合	▶	3-3へ
バックアップ回線	バーストアクセスをご利用の場合	▶	3-4へ
	ベストエフォートアクセスをご利用の場合	▶	3-2へ
	ワイヤレスアクセスをご利用の場合	▶	3-5へ
	お申込み無し(バックアップレス)の場合		
ターミナル	L3利用 Universal Oneターミナル I 型(※1)をご利用の場合	▶	3-6へ
	L2利用 Universal Oneターミナル(L2アダプター)A型、B型、C型をご利用の場合	▶	3-7へ

バーストプラン

メイン回線	バーストアクセスをご利用の場合	▶	3-4へ
バックアップ回線	ギャランティアクセスをご利用の場合	▶	3-3へ
	バーストアクセスをご利用の場合	▶	3-4へ
	ベストエフォートアクセスをご利用の場合	▶	3-2へ
	ワイヤレスアクセスをご利用の場合	▶	3-5へ
	お申込み無し(バックアップレス)の場合		
ターミナル	L3利用 Universal Oneターミナル I 型(※1)をご利用の場合	▶	3-6へ
	L2利用 Universal Oneターミナル(L2アダプター)A型、B型、C型をご利用の場合	▶	3-7へ

ベストエフォートプラン

メイン回線	ベストエフォートアクセスをご利用の場合	▶	3-2へ
	ワイヤレスアクセスをご利用の場合	▶	3-5へ
バックアップ回線	ベストエフォートアクセスをご利用の場合	▶	3-2へ
	ワイヤレスアクセスをご利用の場合	▶	3-5へ
ターミナル	L3利用 Universal Oneターミナル I 型(※1) / I 型エントリーをご利用の場合 または、Communication ターミナル I 型をご利用の場合	▶	3-6へ

3. サービスのご利用方法について

3 – 2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

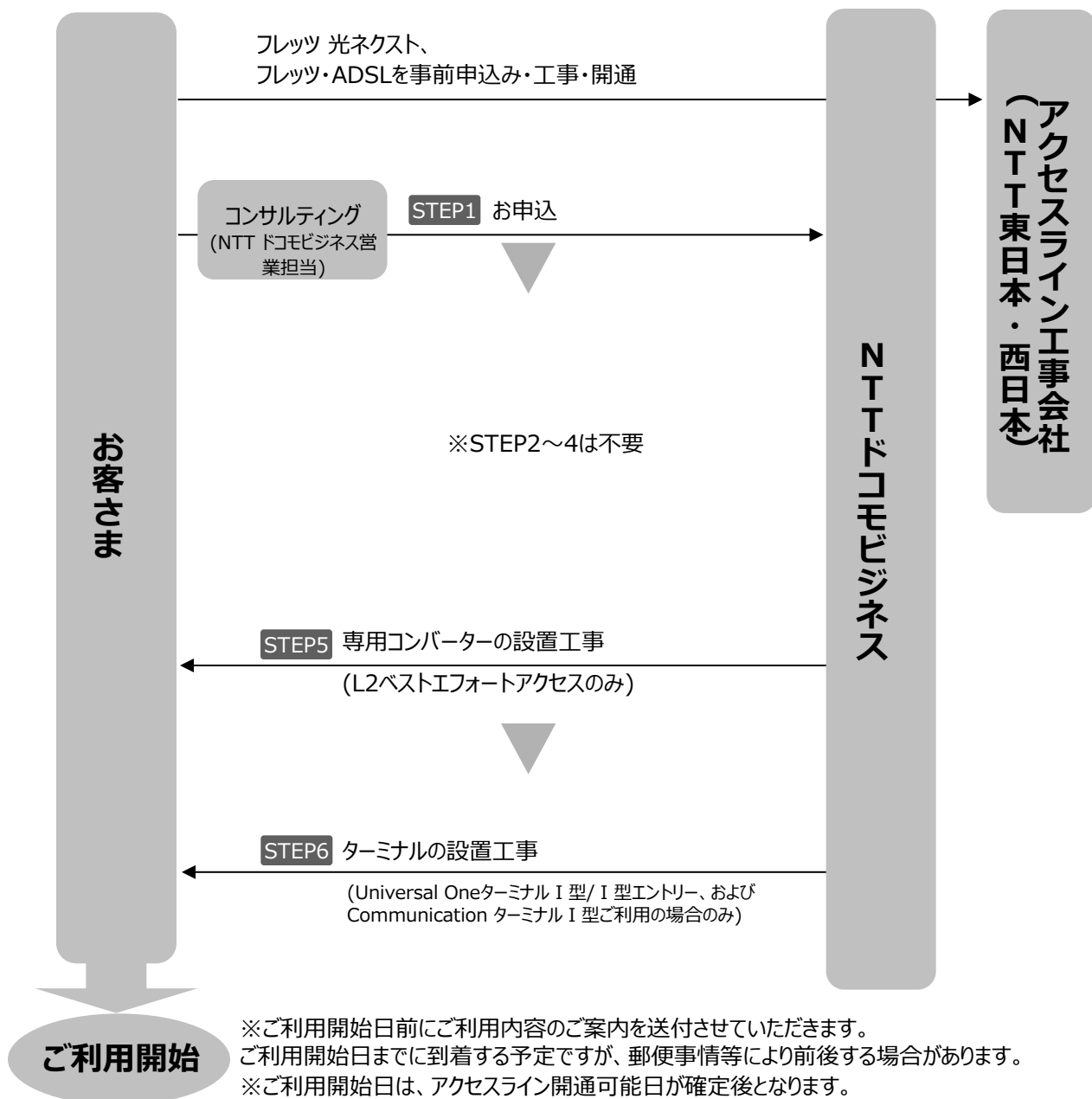
3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

概略(フレッツ別契約型)

・フレッツタイプ(フレッツ別契約型)のご利用開始までの流れは以下となります。



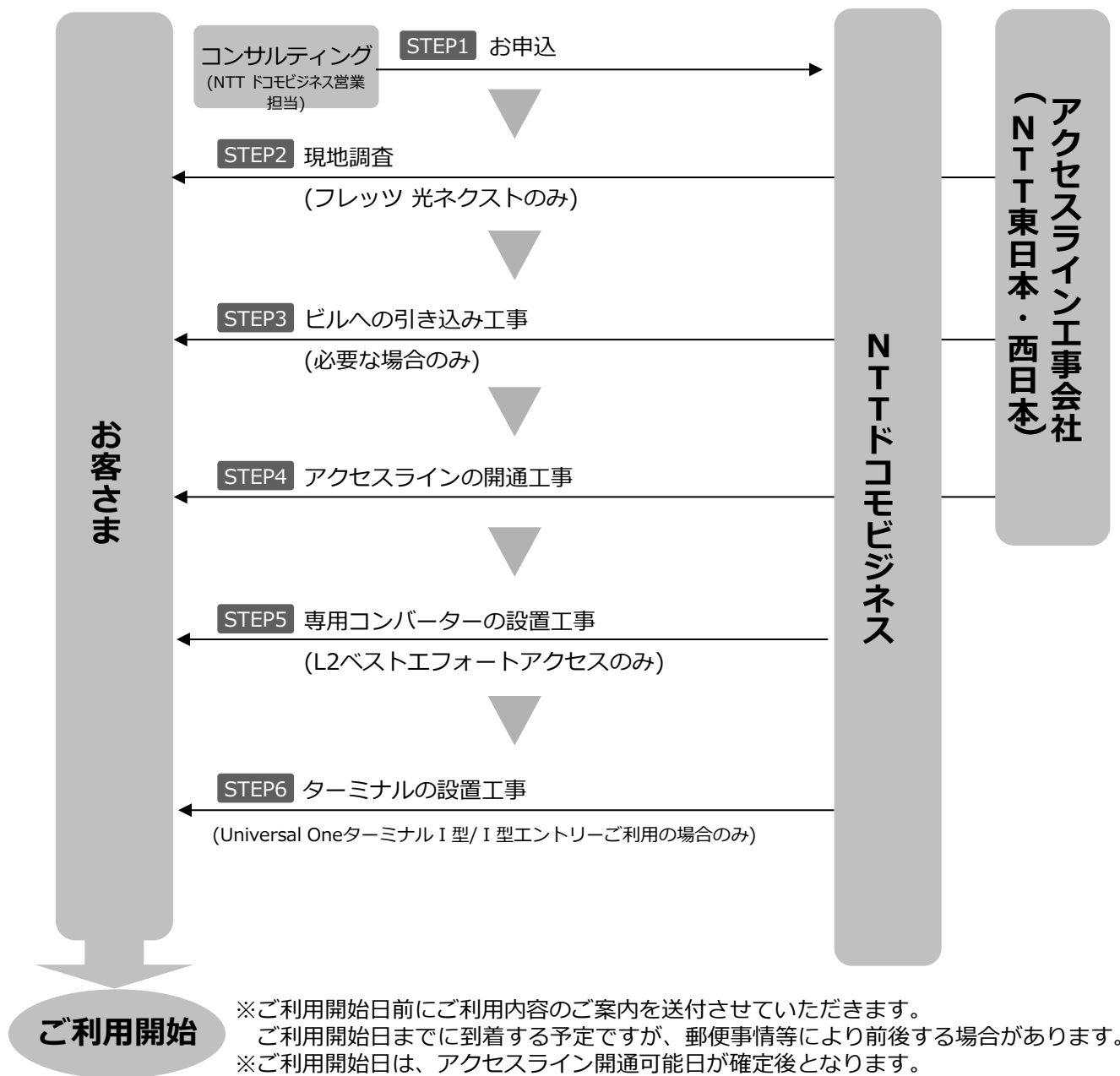
3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

概略(フレッツ一括提供型)

- ・フレッツタイプ(フレッツ一括提供型)のご利用開始までの流れは以下となります。



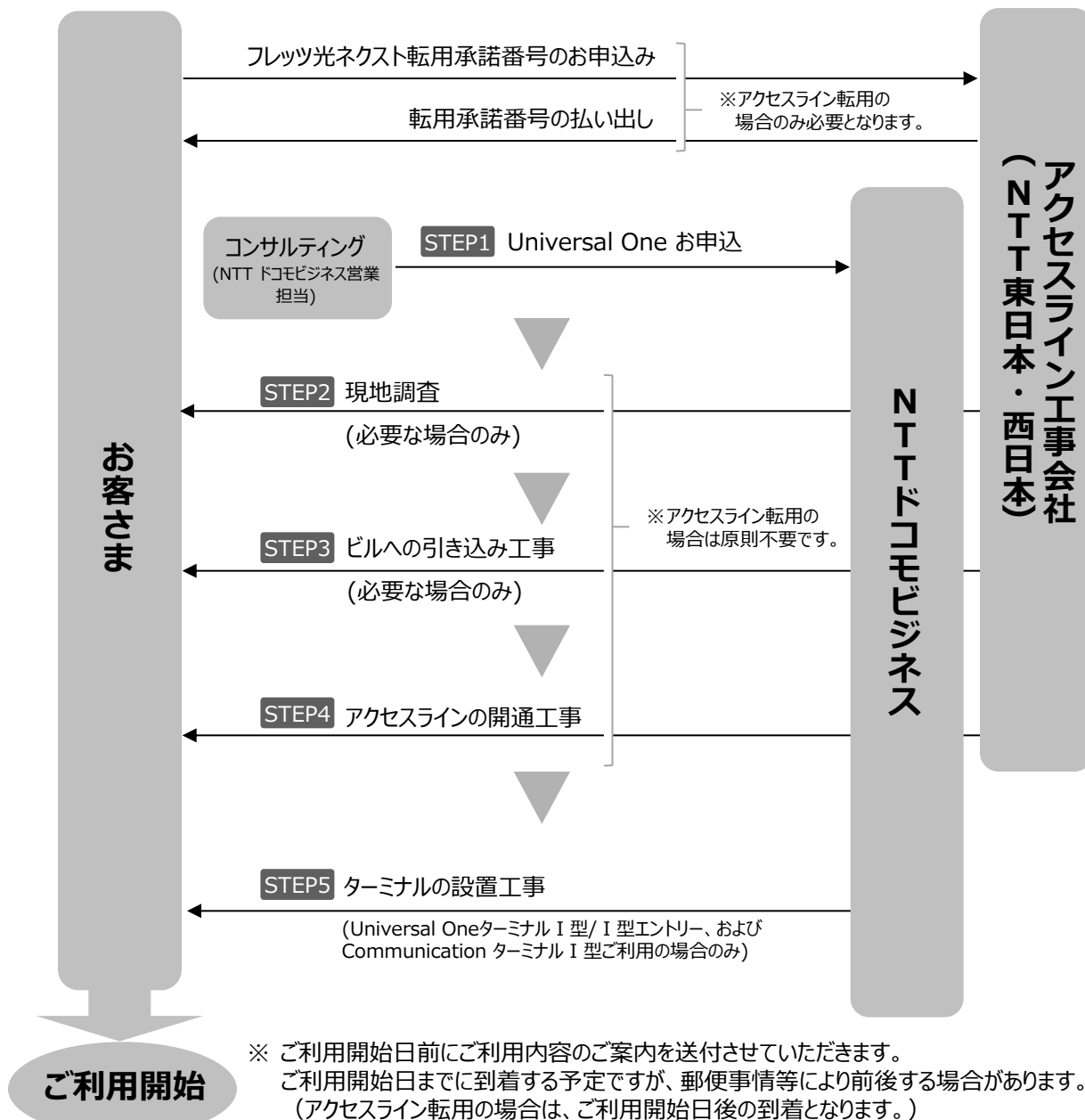
3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

概略(光一括提供型)

- ・ 光一括提供型のご利用開始までの流れは以下となります。

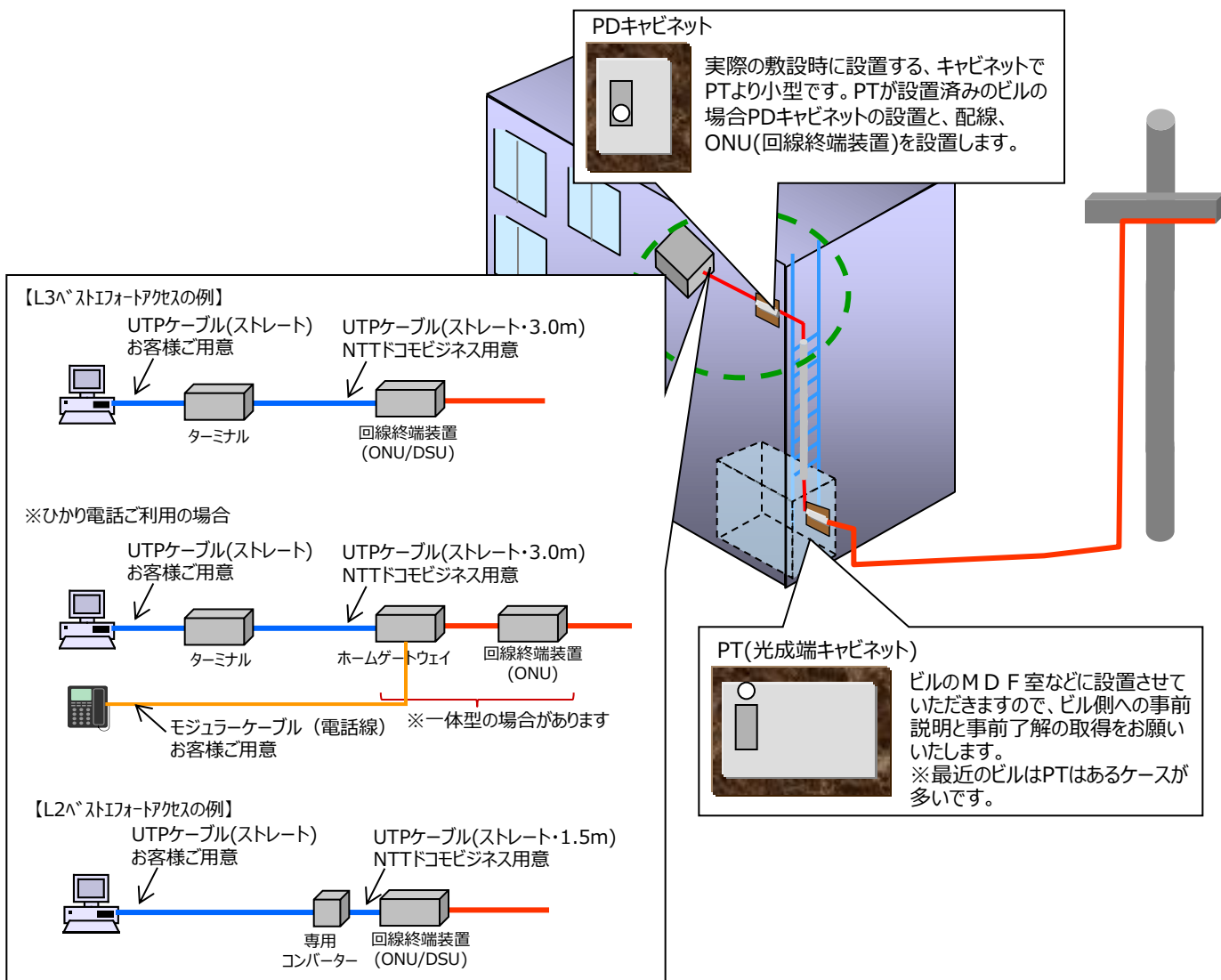


3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-1. ご利用開始までの流れ

回線引き込み形態

光ファイバー(ビル・マンションへの設置)の場合で、MDF有りの場合の諸注意



現地調査前に以下をご確認ください



回線終端装置等の設置場所をご確認ください。専用コンバーターやターミナルの設置場所は、回線終端装置等の近辺限定となります。現地立会い者様は、事前に契約者様にご確認ください。



回線終端装置等の電源が確保されているかをご確認ください。
電源AC100Vが必要となります。



ビルの入館手続き方法をご確認ください。
ビル管理会社などに事前にお問い合わせください。

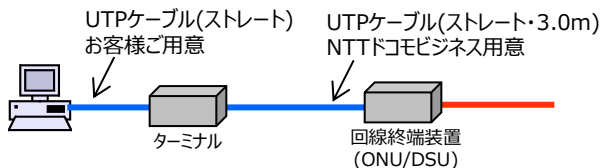
3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-1. ご利用開始までの流れ

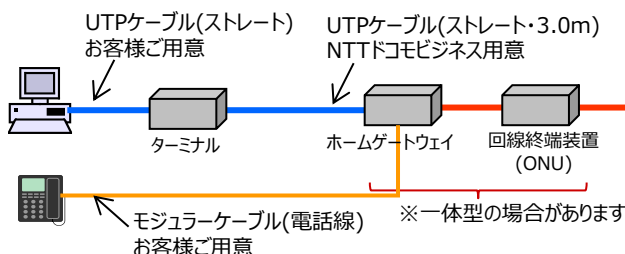
回線引き込み形態

光ファイバー(架空からの入線)の場合で、MDF無しの場合の諸注意

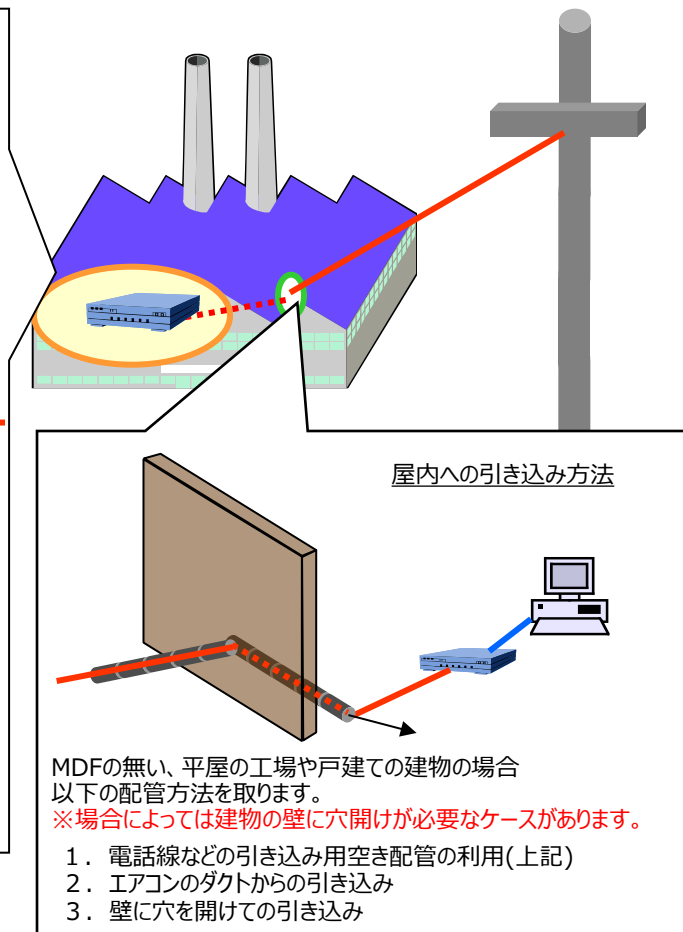
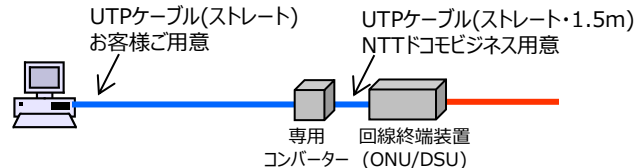
【L3ベストエフォートアクセスの例】



※ひかり電話ご利用の場合



【L2ベストエフォートアクセスの例】



現地調査前に以下をご確認ください



回線終端装置等の設置場所をご確認ください。専用コンバーターやターミナルの設置場所は、回線終端装置等の近辺限定となります。現地立会い者様は、事前に契約者様にご確認ください。



回線終端装置等の電源が確保されているかをご確認ください。
電源AC100Vが必要となります。



ビルの入館手続き方法をご確認ください。
ビル管理会社などに事前にお問い合わせください。



ご注意

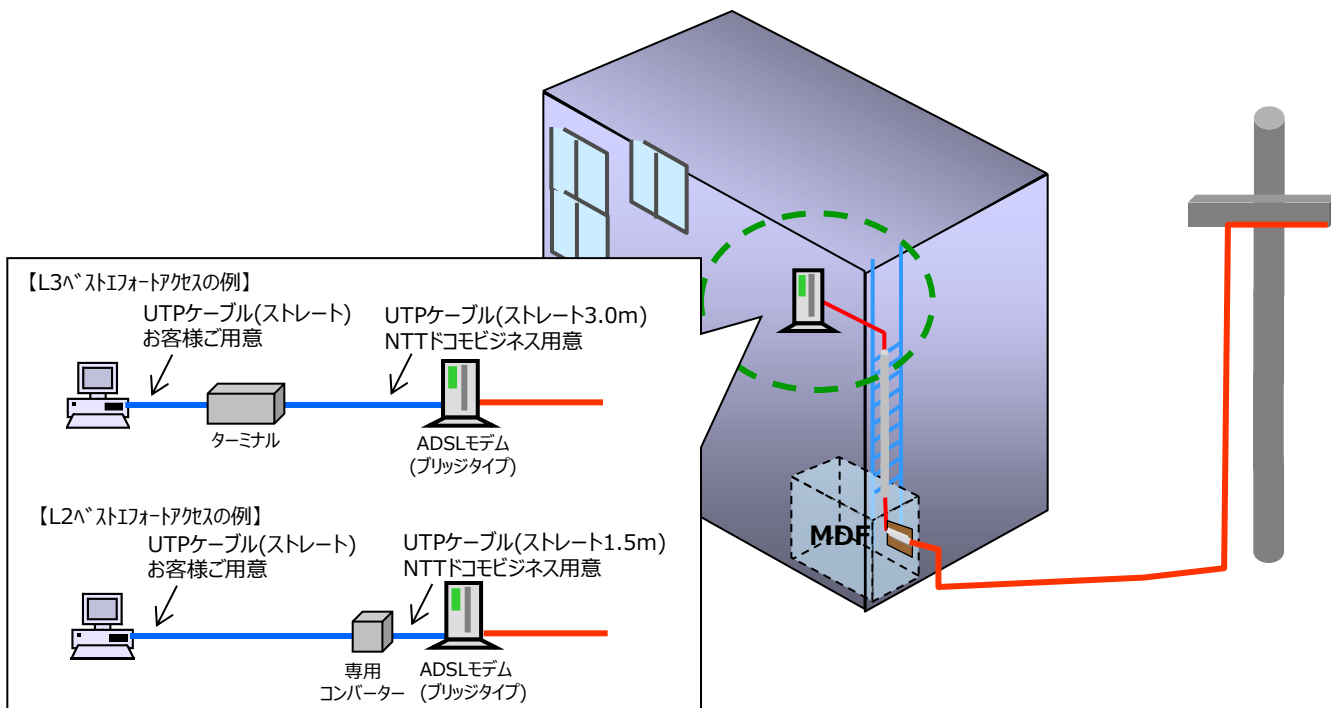
電柱から、直接建物に引き込む場合、建物の壁に穴を開ける場合があります。
その場合、建物所有者様への承諾はお客様側でお願いいたします。
ONU(回線終端装置)の設置場所は、光ファイバーの特性上大きく動かせませんので、
事前にお申込責任者、情報通信ご担当者と打合せの上設置場所をご指示願います。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-1. ご利用開始までの流れ

回線引き込み形態

ADSLご利用の場合の諸注意



現地調査前に以下をご確認ください



ADSLモデムの設置場所をご確認ください。 専用コンバーターやUniversal Oneターミナルの設置場所は、ADSLモデムの近辺限定となります。現地立会い者様は、事前に契約者様にご確認ください。



ADSLモデムの電源が取れるかご確認ください。
電源AC100Vが必要です。



ビルの入館手続き方法をご確認ください。
ビル管理会社などに事前にお問い合わせください。



ご注意

ビルによっては、MDFの端子や予備メタル線の空気が無い場合や、他の用途に予約されている場合があります。その場合はビル所有者様や管理者様への交渉をお客さまにお願いするケースや、最悪空き線が確保できない場合、提供が出来ないケースがあります。



ご注意

利用開始後(新規・変更・移転)において、提供開始日の翌日から20日以内に全く通信ができない状態(リンク未確立)となった場合は同期日内にご連絡ください。リンク未確立期間のフレッツ・ADSLのご利用料金(工事費・利用料金)は適用致しません。※速度が出ない、通信が不安定という事象は適用されません。



ご注意

本サービスで提供するADSLモデムにつきましては、ブリッジタイプとさせていただきます。提供エリアとADSLの速度によっては、ルーター機能およびIP電話機能付ADSLモデムが出荷されるケースがありますが、ルーター機能およびIP電話機能のご利用はできません。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-2. 故障かな、と思ったら

手順概略

- 本サービスご利用中に通信不具合が発生した場合に、保守窓口にご連絡する前にお客さまにご確認いただくチェック項目等について説明いたします。
- 通信不具合発生時には、以下のステップで原因切り分けを行ってください。
- ご契約時にご案内しております「Universal Oneサービスご利用内容のご案内兼内容確認票」内の「故障時連絡先」をご確認いただき、お問い合わせください。
ご不明な場合は、東京オペレーションセンタ【TEL】0120-007-003(受付時間:24時間365日)までお問い合わせください。



3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-2. 故障かな、と思ったら

STEP1 ケーブル接続(機器のランプ状態)の確認

Universal Oneターミナル I 型 / I 型エントリー、
または、Communication ターミナル I 型をご利用のお客さまは、
以下についてご確認ください。

**「お客さまのネットワーク機器」と「ターミナル」の接続状態のご確認、
および、ターミナルのランプ状態をご確認ください。
ターミナルのランプ状態は、本ガイド3-6-3をご参照ください。**

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

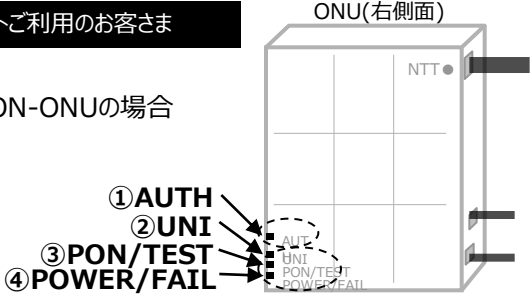
3-2-2. 故障かな、と思ったら

STEP2 フレッツ回線(機器のランプ状態)の確認

フレッツ 光ネクスト(※1)ご利用のお客さまはONUの「ランプ状態」を確認してください。

正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。 (※1) 光一括提供型をご利用のお客さまも本ページをご参照ください。
これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。

フレッツ 光ネクストご利用のお客さま
[ONU]
(例)機器名：GE-PON-ONUの場合



	ランプ名	表示色	状態の説明	対処方法(お客さまでの現地確認事項)
①	AUTH	緑(点灯) 消灯	正常 運用準備中または故障中。	— ・セルフテスト完了までお待ちください。
②	UNI	緑(点灯) 緑(点滅) 消灯	正常 正常(データ通信中) 接続されているVPN機器との間で リンクパルスが受信されていません。	— — ・他機器との間でケーブルが正しく接続されているか ご確認ください。 ・LANケーブルの断線が起きていないかケーブル交 換等でご確認ください。(下記参照)
③	PON /TEST	緑(点灯) 消灯 オレンジ(点灯) オレンジ(点滅)	正常 光回線とのリンクが切れている。 運用準備中または故障中。 ファームダウンロード中。	— ・光ファイバーケーブル断線、回線故障の可能性が あります。NTT東日本・西日本のフレッツ保守窓 口までご連絡願います。 ・セルフテスト、ファームダウンロードが完了するまでお 待ちください。
④	POWER /FAIL	緑(点灯) 消灯 赤(点灯) 赤(点滅)	電源が入ってます。 電源が切れています。 機器が故障しています。 ファームウェアのダウンロード完了。 (※しばらく待つと点灯(緑)になります。)	— ・電源アダプタが正しくコンセントに接続されているか ご確認ください。 ・NTT東日本・西日本のフレッツ保守窓口までご連 絡願います。(下記参照) —

フレッツ別契約型をご利用の場合(一元故障受付オプションをお申込の場合を除く)、上記のトラブル対処法でも症状が改善されない場合は、お客さまが契約
いただいております、NTT東日本・西日本が提供する「フレッツ回線(フレッツ・ADSL、フレッツ 光ネクスト)等」の各サービス窓口までお問い合わせ願います。

◎ フレッツ・ADSL、フレッツ 光ネクストに関するお問い合わせ先 ◎

-NTT東日本-
フレッツ・サポートセンタ
TEL : 06 0120-000-113

【受付時間】24時間365日受付
※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次対応いたします。
※故障修理などの対応時間は9:00～17:00となります。
※24時間対応のオプションサポートあり。詳しくはNTT東日本窓口までお問い合わせください。
【NTT東日本フレッツHP】 <https://flets.com/>

-NTT西日本-
故障、技術、設定などについて
TEL : 06 0120-248-995

○故障、通信速度などについて
【受付時間】24時間対応(一部時間帯は録音受付による応対となります)
○設定について
【受付時間】午前9時～午後5時(一部時間帯は録音受付による応対となります)
※24時間対応のオプションサポートあり。詳しくはNTT西日本窓口までお問い合わせください。
【NTT西日本フレッツHP】 <https://flets-w.com/>

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-2. 故障かな、と思ったら

STEP3 Ping試験の実施

**Universal Oneターミナル I 型 / I 型エントリー、
または、Communication ターミナル I 型をご利用のお客さまは、
LAN内のPCより、以下のIPアドレス宛にPing試験を実施してください。**

※Ping試験の実施方法は、次ページの「(参考)Ping試験の手順」をご参照ください。

手順1 Ping試験端末設定

Ping試験を実施するにあたり、試験端末側(PC等)のアドレス・ゲートウェイ設定を含めて、お客さまLANの設定が正しいかどうかご確認ください。

- ・端末アドレス：お客さまLANネットワークの IPアドレス
- ・端末ゲートウェイ：ターミナルのLANポートIPアドレス (ゲートウェイ設定はお客さま環境によって異なる場合があります)



手順2 ターミナルの、LAN側ポートへのPing試験(※1)

ターミナルのLAN側ポート(※2)へ、Ping試験をお願いします。

◎ 上記、手順2がNGの場合

- ・端末のアドレス設定を含めて、お客さまLANの設定が正しいかご確認ください。
- ・ご契約時にご案内しております「Universal Oneサービスご利用内容のご案内兼内容確認票」内の「故障時連絡先」をご確認いただき、お問い合わせください。ご不明な場合は、東京オペレーションセンタ TEL：0120-007-003(受付時間：24時間365日)までお問い合わせください。

(※1) お客さまにより、ターミナルのLAN側ポートに設定されているIPアドレスは異なります。LAN(LAN側)ポートIPアドレスにつきましては、システム管理者様等にお問い合わせ願います。

(※2) LAN側ポートとは、お客さまLAN側端末(HUB/PCなど)と接続している、ターミナル側の接続ポートです。

**以下、[手順3] はベストエフォートアクセスご利用のお客さまで、
インターネット接続をご利用の場合のみご確認ください。**

手順3 インターネット接続をご利用の場合

インターネット接続をご利用の際は、インターネット上へのPing試験をお願いします。

- ・インターネット上へのPing試験 (例：211.129.13.200(www.ocn.ne.jpホームページIPアドレス))

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-2. 故障かな、と思ったら

STEP3 Ping試験の実施

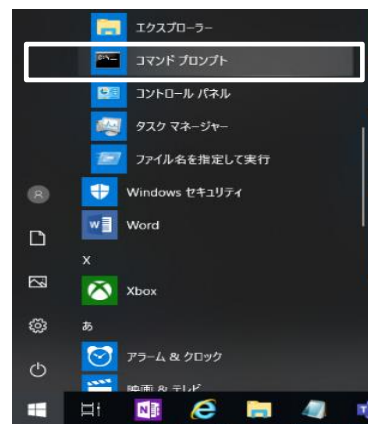
(参考)Ping試験の手順[Windows版]

■ Ping試験の手順

手順 1)

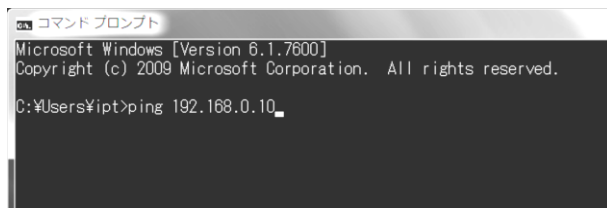
「スタート」メニューの「Windows システムツール」
→「コマンドプロンプト」をクリックする。
(Windows10の場合)

* WindowsXP/Vista/Windows7の場合は
「スタート」メニューの「すべてのプログラム」→
「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックする。



手順 2)

右図のような黒い画面が出てきたら、
C:¥> (あるいはC:¥WINDOWS>) の続きから、
“Ping_〇〇〇” (〇はスペース) と入力して改行。



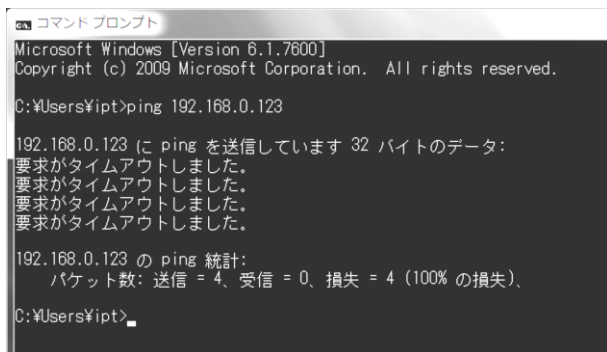
手順 3)

Pingを打った後に返されるメッセージを確認してください。

【正常メッセージ】

・211.129.*.* からの応答: バイト数
=32 時間 =210ms TTL=127
・Reply from 211.129.*.*: bytes
=32 time=210ms TTL=127
※下線部の数値は環境によって違います。

正常メッセージが出れば問題はありません。



【主なエラーメッセージ】

・要求がタイムアウトしました。 ・Request timed out.
・転送中に TTL が期限切れになりました。 ・TTL expired in transit.
・宛先ホストに到達できません。 ・Destination host unreachable.
・宛先ネットワークに到達できません。 ・Destination net unreachable.

エラーメッセージが出た場合、故障の可能性があります。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-2. 故障かな、と思ったら

STEP4

保守窓口への申告

これまでのSTEP 1～STEP 3の確認ステップ後も問題が解消されなかった場合は、以下の窓口までお問い合わせ願います。



「STEP 1 : ケーブル接続(機器のランプ状態)の確認」において、正常性が確認できた。



「STEP 2 : フレッツ回線(機器のランプ状態)の確認」において、問題がみられなかった。



「STEP 3 : Ping試験の実施」において、手順 3 がNGの場合。

サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先

ご契約時にご案内しております「Universal Oneサービスご利用内容のご案内兼内容確認票」内の「故障時連絡先」をご確認いただき、お問い合わせください。

ご不明な場合は、東京オペレーションセンタ【TEL】0120-007-003(受付時間:24時間365日)までお問い合わせください。



フレッツ別契約型をご利用の場合(一元故障受付オプションをお申込の場合を除く)、NTT東日本・西日本が提供するフレッツ回線(「フレッツ・ADSL」「フレッツ 光ネクスト」等)の故障受付/対応は、NTT東日本・西日本の各フレッツお問い合わせ窓口までご確認願います。



お問い合わせ前に以下をご確認ください！

・お客さまより、故障申告をいただいた場合、切り分け作業を行う際に問診・確認等をさせていただくことがございます。円滑なサポートをご提供するために、下記内容を事前にご確認いただきますようお願い申し上げます。

●お客さま情報

- ☐ お客さま名(ご契約社名)
- ☐ お問い合わせご担当者名/ご連絡先
- ☐ ターミナル設置拠点名
- ☐ 管理ID(V番、N番)
- ☐ 故障申告内容
- ☐ ターミナルなどのランプ状態

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-2. 故障かな、と思ったら

[参考] 機器の電源ON/OFF方法

フレッツ 光ネクストご利用のお客さま

[ONU] (例)機器名：GE-PON-ONUの場合

※詳しくはNTT東日本・西日本より送付のONU取扱説明書を参照ください。

■ 電源ON

電源ケーブルを接続してください。

電源投入後、セルフテストが行われテスト終了後使用可能な状態となります。

■ 電源OFF

電源スイッチはありません。そのまま電源ケーブルを抜いてください。

(シャットダウン処理を行う必要はありません)

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-3. 主な変更手続きと注意点



**各種変更手続きはNTT ドコモビジネス営業担当を通じて行っていただきます。
各種変更手続きをご希望の場合はまずNTT ドコモビジネス営業担当へご連絡ください。**

フレッツ一括提供型の場合

■ 設置場所移転

- ・ 設置場所を移転される場合はアクセスラインも含めた変更工事が必要です。また、ターミナル(L3)、または専用コンバーター(L2)の設定変更も必要です。
- ・ 設置場所移転は派遣工事にて行います。(ターミナル(L3)、または専用コンバーター(L2)の設定変更は、お申込み工事種別に従います。その際、ターミナル(L3)、または専用コンバーター(L2)は新たな機器を準備いたします。ご利用中の機器は、設置場所移転工事後に回収させていただきます。回収方法はお申込み工事種別に従います。

※移転先へのアクセスラインの工事内容により工事費用は異なります。

■ アクセスラインの品目変更

- ・ アクセスラインの変更を行う場合(ADSLサービス⇒光サービス、ADSLサービス内での品目変更、光サービス内でのタイプ変更など)、アクセスラインの変更工事が必要です(工事内容によって工事に時間がかかる場合があります)。また、ターミナル(L3)、または専用コンバーター(L2)の設定についても変更が必要になる場合があります。変更の必要があります場合は変更申込書でお手続きいただきます。設定変更は、お申込み工事種別に従います。

フレッツ別契約型の場合

■ 設置場所移転

- ・ 設置場所を移転される場合は基本的にターミナル (L3)、または専用コンバーター(L2)の設定変更が必要になります。
- ・ 設置場所移転は派遣工事にて行います。(ターミナル(L3)、または専用コンバーター(L2)の設定変更は、お申込み工事種別に従います。その際、ターミナル(L3)、または専用コンバーター(L2の場合)は新たな機器を準備いたします。ご利用中の機器は、設置場所移転工事後に回収させていただきます。回収方法はお申込み工事種別に従います。

※移転先において、フレッツ回線のご準備をお願いします。

■ アクセスラインの品目変更

- ・ アクセスラインの変更を行う場合(ADSLサービス⇒光サービス、ADSLサービス内での品目変更、光サービス内でのタイプ変更など)、ターミナル (L3)、または専用コンバーター(L2)の設定についても変更が必要になる場合があります。変更の必要がある場合は変更申込書でお手続きいただきます。設定変更は、お申込み工事種別に従います。

※変更後のフレッツ回線のご準備をお願いします。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-3. 主な変更手続きと注意点



各種変更手続きはNTT ドコモビジネス営業担当を通じて行っていただきます。
各種変更手続きをご希望の場合はまずNTT ドコモビジネス営業担当へご連絡ください。

光一括提供型の場合

■ 設置場所移転

- ・ 設置場所を移転される場合はアクセスラインも含めた変更工事が必要です。
また、ターミナル(L3) の設定変更も必要です。
 - ・ 設置場所移転は派遣工事にて行います。ターミナル(L3)の設定変更は、お申込み工事種別に従います。
その際、ターミナル(L3)は新たな機器を準備いたします。ご利用中の機器は、設置場所移転工事後に回収させていただきます。回収方法はお申込み工事種別に従います。
- ※移転先へのアクセスラインの工事内容により工事費用は異なります。

■ アクセスラインの品目変更

- ・ アクセスラインの変更を行う場合(光一括提供型内でのタイプ変更など)、アクセスラインの変更工事が必要です(工事内容によって工事に時間がかかる場合があります)。また、ターミナル(L3)の設定についても変更が必要になる場合があります。変更の必要があります場合は変更申込書でお手続きいただきます。設定変更は、お申込み工事種別に従います。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-4. その他の注意事項(L3)

1. 設計時の注意事項

(1) 通信品質について

通信品質について	・サーバ設置など、トラフィックの集中するセンタ拠点には、ギランティアアクセスもしくはバーストアクセスのご利用をお薦めします。
通信断について	・NTT地域会社のフレッツアクセスの仕様の関係上、一旦フレッツ回線のリンクが切れると最大10分程度再接続できない場合があります。

(2) IPアドレスについて

ご利用IPアドレスについて	本サービスでは、プライベートIPアドレス(RFC1918準拠)、及びお客様がJPNIC等のNIC機関より正規に割り当てられたグローバルIPアドレスは利用可能です。利用可能アドレス以外を利用した場合はサポートの対象外となります また、VPN内でIPアドレスは重複させる事ができません。
プラグアンドコネクト利用時のご利用IPアドレスについて	・プラグアンドコネクト利用時は、事前にプラグアンドコネクトプールアドレスとしてお預かりするIPアドレス(任意の/14)の範囲で、弊社にてIPアドレス設計致します。

(3) プロトコルについて

IPプロトコルについて	・IPv4プロトコルを提供します。※ベストエフォート(IPoE)でもIPv6プロトコルはお客様のご利用はできません。
ルーティングプロトコルについて	・ベストエフォートアクセスの弊社網内ルーターとUniversal Oneターミナル/Communication ターミナル間における利用可能ルーティングプロトコルはStaticのみとなります。 ・WAN側のルーティングの設定は弊社ネットワーク網へのデフォルトルートのみとなります(※)。LAN側へのデフォルトルートの設定は使用上できません。 (※)ベストエフォートアクセス(ライト)でインターネット接続をご利用又は、ベストエフォート(クローズ)でインターネットサービス(拠点型)をご利用の場合、デフォルトルートはOCN網宛となり、弊社ネットワーク網へは10.0.0.0/8, 172.16.0.0/12, 192.168.0.0/16宛のStaticルートとなります。
MTU上限値、MSS設定値について	・ベストエフォートアクセスで、TCP以外のアプリケーションを利用するような設計・構築をする場合には、PPPoE/IPoEにおけるMTU値(推奨値1340byte)を考慮した設定としてください。 ・MTU値を超えたパケットで通信を行った場合、フラグメント(パケット長超過によるパケットの分割)が多発し通信速度が低下したり、通信不可となったりする場合があります。 ・ベストエフォートアクセスにおけるUniversal Oneターミナル/Communication ターミナルのMSS値は、1300byteを設定しております。
PPPoEについて	・ベストエフォートアクセスの利用には、PPPoEのセッションを1セッション確保頂く必要があります。
イーサフレームについて	・本サービスで利用可能なイーサフレームのフォーマットは、「DIX Ethernet ver.2フレームフォーマット」に準拠している必要があります。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-4. その他の注意事項(L3)

(4) インターフェースについて

インターフェース条件	• Universal OneターミナルのWAN側インターフェースはオートネゴシエーションの設定となっております。フレッツ 光ネクストをご利用の際、回線終端装置(ONU) やホームゲートウェイ(HGW)の設定を変更されたお客様におきましてはオートネゴシエーションの設定にして頂く必要がございます。
------------	--

(5) アクセスメニュー別の注意事項

フレッツタイプ(フレッツ一括提供型)に関する注意事項	• 本サービスは、アクセス回線を弊社名義で手配し、従来のように弊社ネットワーク側やアクセス回線側という区別無く、一つのサービスとして提供しております。その為、アクセス回線部分については、NTT地域会社の提供する「フレッツ」と技術仕様などは全て同一となります。 • 本サービスで提供するアクセス回線は、あくまでUniversal Oneサービスのアクセス回線としてのご利用のみとさせていただきます。本アクセス回線を利用してのインターネット接続(Universal Oneサービスによるものを除きます。)などは行わないようお願い致します。弊社が発見した場合には利用を止めていただくことがございます。 • Universal Oneサービス以外のアクセスとしてご利用された場合の故障については、一元故障受付の対象外とさせていただきます。 • 本サービス利用時には、ひかり電話ないしデータコネクト等NTT地域会社の「フレッツ」のオプションサービスはご利用いただけません。 • 設置場所の移転やプラン変更を要望される場合、出来るだけ早い段階で弊社営業担当者までご連絡頂くと共に、NTT地域会社に直接移転の申込みを行わないようお願い致します。 • お客様名義でご利用中の「フレッツ」回線をフレッツ一括提供型に流用する事はできません。ご希望の際には弊社営業担当者にご相談下さい。 • 現地調査及びアクセス回線工事等の際はお客様の設置場所担当者の立会いが必要です。立会いされる方は、設置の場所目的などをご理解の上立会い願います。なお、立会いの際は、弊社名義の回線の設置場所担当者の位置付けとなり、フレッツ工事の際は、NTT地域会社の提示する工事確認書にサイン頂く必要があります。その場合、フレッツの敷設場所などお客様として問題が無い事をご確認の上サイン願います。
フレッツタイプ(フレッツ一括提供型)に関する注意事項 光サービス(F)ご利用の場合の注意点	• 本資料内「2-5. アクセス回線種別について」に記載のないアクセス回線はご利用いただけません。 • 本サービス提供においては、フレッツ回線をVPN用のアクセスとして利用していますので、NTT地域会社がフレッツ 光ネクスト ファミリー/マンションと、フレッツ 光ネクスト ハイスピードタイプ ファミリー/マンションの間に設ける物理的な通信速度の差異を必ずしも直接反映するものではありません。 • フレッツ 光ネクスト回線をご利用の場合、NTT地域会社の設備構成上、その他のプランよりも信頼性が落ちる場合がありますこと、又、将来的に信頼性向上工事を実施させて頂く際に通信断を伴う工事を行いますことにつきましても合わせてご了承願います。なお、工事の際は弊社ホームページにて事前に通知を行います(NTT地域会社によるアクセス回線の工事を除きます)。 • ご入居されている建物が既にマンションタイプ提供済みの場合のみ、アクセス回線のマンションタイプへのお申込を受け付け可能とさせていただきます。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-4. その他の注意事項(L3)

フレッツタイプ(フレッツ一括提供型)に関する注意事項 ADSLサービス(F)ご利用の場合の注意点	• NTT東日本エリアにおいて、特定加入者回線の仕様により、24時間365日のオンサイトオプション用設備が用意出来ないなどの理由で、納期が6ヶ月以上必要な場合や、提供不可となる場合があります。 • ADSLをご利用のお客様向けのADSLモデムはブリッジタイプのためのレンタルとさせていただきますが、本サービスの仕様上、ADSLの速度や地域の事情によっては、ルーター機能付モデムが送付されるケースがございます。利用の際はブリッジモードにてご利用願います。お客様の都合によりルーターモードでご利用なされた場合、ルーター機能に係る部分のサポートは対象外とさせていただきます。 • フレッツ一括提供型で提供可能なADSLサービスは、ADSL専用型に限ります。 • ADSL専用型の特性上、空線が無く提供が行えない場合等、工事の際に提供不可が判明する場合があります。 • 収容ビル〜お客様宅内のADSLモデム間までは原則NTT地域会社が設置することとしていますが、保安器または配電盤からADSLモデムまでの間の線路にお客様側設置の線路(以下「自営線路」といいます)利用をご希望の場合は、下記の条件に該当する場合は、その自営線路を無償で使用させていただきます。 － 提供を受ける自営線路の品質は地域会社の設置する線路と同等以上であること － 自営線路の保守及び工事はお客様責任で行って頂くこと • また、自営線路区間での故障等が原因による通信断等についてはお客様側責任によるものとし、損害賠償の対象外とさせていただきます。
フレッツタイプ(フレッツ一括提供型)に関する注意事項 ADSLの速度が出ない場合のキャンセル	• フレッツ一括提供型において、万が一利用開始(新規・変更・移転)後、提供開始日の翌日から20日以内に全く通信ができない状態(リンク未確立)となった場合は、同期日以内に弊社サービスセンタへご連絡ください。その事象を弊社が確認できた場合で、サービスの解除・変更・移転をご希望されたお客様につきましては、リンク未確立期間のフレッツ・ADSLのご利用料金(工事費・利用料金)は適用致しません。 ※速度が出ない、通信が不安定という事象には適用されません。
フレッツタイプ(フレッツ別契約型)に関する注意事項	• 本資料内「2-5. アクセス回線種別について」に記載のないアクセス回線はご利用いただけません。記載されていない契約タイプをご利用の場合や、本サービスのお申込み時に申請頂く契約タイプが実際の回線と異なる場合には、通信できませんのでご注意ください。 • 弊社作業員の責でない事象(フレッツ未開通、フレッツの故障、ONUやHGWの故障など)によって作業を実施出来ない場合、所定の工事費が発生します。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-4. その他の注意事項(L3)

フレッツタイプ(フレッツ別契約型)に関する注意事項 フレッツ・光ネクストに関する諸注意(ひかり電話のご利用について)	・ベストエフォートアクセスをご利用になるフレッツ光回線で、ひかり電話ないしデータコネクトを重畳利用することは推奨致しません。それらとの重畳利用によりUniversal One網通信に影響を与えた場合、Universal Oneサービスとして通信の正常性を保障できません。 ・フレッツ 光ネクストでHGWが設置される場合、HGWはブリッジモード(Universal OneターミナルにてPPPoEの終端できる設定)にてご利用頂く必要があります。
フレッツタイプ(フレッツ別契約型)に関する注意事項 フレッツ・光ネクストギガスマートタイプに関する諸注意	・HGWのインターフェース設定は下記設定にてご利用頂く必要があります。 - PPPoEブリッジ：使用する - LANポート：自動設定 - LAN側MDI/MDI-Xモード：MDI-X固定
フレッツタイプ(フレッツ別契約型)に関する注意事項 ADSLの速度が出ない場合のキャンセル	・フレッツ別契約型において、NTT地域会社にてADSL開通工事後に線路距離やその設備状況によって速度が低下して利用ができない(リンク未確立の)場合、NTT地域会社工事費用は無料となります。それには、NTT工事日より20日以内にリンク未確立の事象についてNTT地域会社へ申し出をし、リンク未確立について確認させる必要があります。そのためには、キャンセルのお申込みをNTT工事日より18日以内に弊社営業担当者までご連絡ください。 ※速度が出ない、通信が不安定という事象には適用されません。
フレッツタイプ(フレッツ別契約型)に関する注意事項 アクセス回線の変更や設置場所移転の際の注意点	・本サービスをご利用になる場合、NTT地域会社の提供するフレッツ回線を事前に設置し、利用可能な状態として頂く必要があります。 ・マンションタイプにおきましてはお客様宅までの構内配線の正常性に関しましては、ビル管理会社様などへ事前にご確認頂く様お願い致します。フレッツ回線、構内配線の不備に起因する開通不可時の再工事費用に関してはお客様負担となりますのでご了承ください。 ・フレッツ・ADSL(ルータータイプのモデム)については、初期設置状態ではUniversal Oneサービスの通信が確立できませんので、事前にルータータイプのADSLモデムについては、「ブリッジモード」に変更頂く必要があります。 ・フレッツアクセスの利用には、フレッツのセッションを1セッション確保頂く必要があります。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-4. その他の注意事項(L3)

フレッツタイプ(フレッツ別契約型)に関する注意事項	• NTT地域会社が提供するv6 オプション利用が必須となります。そのため、お申込みいただいていない場合は、弊社にて代行申込みを実施します。また、その際はNTT地域会社からフレッツv6オプションの開通案内が直接お客さまに発送される場合がございます。 • IPv6アドレスを利用したNGN内の通信仕様は、NTT東日本・西日本のフレッツ・v6オプションの仕様に準じます。詳しくは、NTT東日本・西日本のホームページをご確認ください。(以下のURLは、NTT東日本・西日本の都合により、予告無く変更される場合がございます) 【NTT東日本ホームページ】https://flets.com/v6option/ 【NTT西日本ホームページ】https://flets-w.com/opt/v6option/ • 必ず弊社へ申請いただいた本サービスに接続するフレッツ・光ネクスト回線は必ず弊社へ申請いただいた回線とCommunication ターミナルを接続ください。申請と異なったフレッツ・光ネクスト回線に接続しても通信ができませんのでご注意ください。 • ひかり電話利用の場合は、フレッツ・光ネクスト回線～ホームゲートウェイ～Communication ターミナルの順に接続（直列接続）してください。フレッツ・光ネクスト回線に対し、HUBを介して接続するなど、Communication ターミナルとホームゲートウェイを並列接続した場合は、通信ができない場合がございます。 • NTT地域会社の都合によりv6アドレスが変更になる場合がございます。その際は、弊社が検知してから、最大25分程度通信ができなくなる場合がございます。 • 他のVNE事業者にてIPoEでご利用中のフレッツ・光ネクスト回線をそのまま本サービスに接続することはできません。他のVNE事業者でのIPoE接続を閉塞したうえで、本サービスをお申し込みください。 • L2ベストエフォートおよびL3BEハイグレードでご利用中のフレッツ・光ネクスト回線を、そのまま本サービスでご利用いただくことはできません。本サービスへ移行される場合は、フレッツ・光ネクスト回線含めて廃止した後、本サービスを申込ください。
---------------------------	--

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-4. その他の注意事項(L3)

光一括提供型に関する注意事項	・本サービスは、NTT地域会社が提供する「フレッツ 光ネクスト」を弊社が調達し、ネットワークサービスと合わせて一つのサービスとして提供するプランです。その為、アクセス回線部分については、NTT地域会社の提供する「フレッツ」と技術仕様などは全て同一となります。 ・本サービスは、アクセス回線を弊社名義で手配し、従来のように弊社ネットワーク側やアクセス回線側という区別無く、一つのサービスとして提供しております。その為、アクセス回線部分については、NTT地域会社の提供する「フレッツ」と技術仕様などは全て同一となります。 ・本サービスで提供するアクセス回線は、あくまでUniversal Oneサービスのアクセス回線としてのご利用、また光一括提供型のオプションメニュー（ひかり電話、テレビオプション等）のご利用のみとさせていただきます。本アクセス回線を利用しているインターネット接続（Universal Oneサービスによるものを除きます）などは行わないようお願い致します。弊社が発見した場合には利用を止めていただくことがございます。 ・Universal Oneサービス以外のアクセスとしてご利用された場合の故障については、一元故障受付の対象外とさせていただきます。 ・設置場所の移転やプラン変更を要望される場合、出来るだけ早い段階で弊社営業担当者までご連絡頂くと共に、NTT地域会社に直接移転の申込みを行わないようお願い致します。 ・現地調査及びアクセス回線工事等の際はお客様の設置場所担当者の立会いが必要です。立会いされる方は、設置の場所目的などをご理解の上立会い願います。なお、立会いの際は、弊社名義の回線の設置場所担当者の位置付けとなり、フレッツ工事の際は、NTT地域会社の提示する工事確認書にサイン頂く必要があります。その場合、フレッツの敷設場所などお客様として問題が無い事をご確認の上サイン願います。 ・本資料内「2-5. アクセス回線種別について」に記載のないアクセス回線はご利用いただけません。 ・本サービス提供においては、アクセス回線をVPN用のアクセスとして利用していますので、ファミリー1G/200M/100M、またマンション1G/200M/100Mの間の物理的な通信速度の差異を必ずしも直接反映するものではありません。 ・光一括提供型をご利用の場合、NTT地域会社の設備構成上、ベストエフォートアクセス以外のプランよりも信頼性が落ちる場合がありますこと、又、将来的に信頼性向上工事を実施させて頂く際に通信断を伴う工事を行いますことにつきまして合わせてご了承願います。なお、工事の際は弊社ホームページにて事前に通知を行います（NTT地域会社によるアクセス回線の工事を除きます）。 ・ご入居されている建物が既にマンションタイプ提供済みの場合のみ、光一括提供型 マンション1G/200M/100Mのお申込を受け付け可能とさせていただきます。
光一括提供型に関する注意事項 L3ベストエフォート (IPoE)に関する諸注意	・お客様にてCommunication ターミナルを設置する場合で、ひかり電話利用の際は、フレッツ・光ネクスト回線～ひかり電話対応機器～Communication ターミナルの順に接続(直列接続)してください。フレッツ・光ネクスト回線に対し、HUBを介して接続するなど、Communication ターミナルとホームゲートウェイを並列接続した場合は、通信ができないことがあります。 ・NTT地域会社の都合によりv6アドレスが変更になる場合がございます。その際は、弊社が検知してから、最大25分程度通信ができなくなる場合がございます。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-4. その他の注意事項(L3)

(6)その他の注意事項

回線終端装置について	・ルーター機能付きADSLモデムやHGW機能付ONUについては、その配下に設置される弊社提供のレンタルルーターがPPPoE終端を行えるようブリッジ設定でご利用頂く必要があります。お客様側で設定変更をされた場合は、適切な設定にお戻しくださいますようお願いいたします。 ・ONU、HGW機能付きONU、ADSLモデムなどのOSバージョンアップが必要な場合、機器のリセット作業が必要となる場合は、お客様側でリセットボタンの押下など実施頂きますようお願いいたします。
接続構成について	・回線終端装置(ONU等)や光電話対応機器(HGW等)と、ターミナルとの間に、HUB等の機器を接続しないでください。サポートの対象外となります。
高トラフィック利用の制限について	・ベストエフォートアクセスは、常時高トラフィックが発生するようなご利用には適しません。 ・多拠点接続を行う場合のセンタ拠点には、ギャランティなしバーストアクセスご利用をお勧めします。センタ拠点に複数のフレッツ回線を設置する場合は、NTT地域会社内での収容によっては相互にトラフィックの影響が生じる場合があります、複数回線分の帯域が利用できるとは限りませんので、ご注意願います。 ・ベストエフォートアクセスにおける高トラフィック利用（Web会議等の利用等をいいます。）については、ふくそうを発生又は発生させる恐れがあり、当社の業務の遂行又は当社の電気通信設備に支障を及ぼし又は及ぼす恐れがあること、及び他のUniversal Oneサービス利用者に対し、重大な支障を与える又は与える恐れがあることから、推奨しません。 ※Web会議のご利用を想定される場合は、docomo business RINKもしくはギャランティアクセスを推奨いたします。 ・pingの多量送信や、ICMP/UDP/TCPを用いたネットワーク、アプリケーションの負荷試験などは行わないでください。トラフィックに関わらず、多量のセッションをUniversal One網内に発生させるような利用により、設備に著しい支障を及ぼした場合、または及ぼす可能性がある場合は、サービスの一部または全部の利用を停止させていただくことがありますので、ご注意ください。 ・フラグメント化されたIPパケットを受信した際などに、パケットの送出順序が受信時と入れ替わることがあります。具体的にはUDPによる通信を行っており順序を制御できないご利用形態の場合にご注意をお願いします。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-4. その他の注意事項(L3)

ベストエフォートアクセス(ライト)利用時のインターネット接続に関して	• ベストエフォートアクセス(ライト)のインターネット接続は、インターネットから拠点に対する通信を遮断します。その為、当インターネット接続を利用しての外部サーバ公開やリモートアクセス等を行う事は出来ません。また、上記インターネット接続を利用される場合、Universal Oneサービスにおける全拠点においてグローバルIPアドレスを利用する事は出来ませんので、ご了承ください。 • インターネット上で名前解決を実施するDNSサーバーを、NTT ドコモビジネスにてご用意しております。お客さまLANにおけるインターネット利用端末、ないしUniversal OneターミナルのDHCP機能によるDNSサーバーIPアドレス払い出しの設定に、必要に応じて下記IPアドレスを設定し、ご利用ください。 - インターネット接続用DNSサーバー IPアドレス (推奨) - 本サービスを東日本エリアにてご利用の場合 プライマリDNSサーバーIP 210.145.254.162 セカンダリDNSサーバーIP 125.170.93.226 本サービスを西日本エリアにてご利用の場合 プライマリDNSサーバーIP 125.170.93.226 セカンダリDNSサーバーIP 210.145.254.162 • インターネット接続機能のマルウェア不正通信ブロックサービスではC&Cサーバへの通信を遮断します。本機能を利用したくない場合は、下記のDNSサーバを設定しご利用ください。 - インターネット接続用DNSサーバー IPアドレス - 本サービスを東日本エリアにてご利用の場合 プライマリDNSサーバーIP 122.28.103.6 セカンダリDNSサーバーIP 125.170.93.174 本サービスを西日本エリアにてご利用の場合 プライマリDNSサーバーIP 125.170.93.174 セカンダリDNSサーバーIP 122.28.103.6 • ベストエフォートアクセス(ライト)をご利用の拠点におきましてUniversal Oneターミナル配下の「お客様拠点ネットワークサマライズアドレス」「お客様拠点ネットワークアドレス」に下記アドレスを指定することは出来ません。 【対象IPアドレス】 10.0.0.0/8 172.16.0.0/12 192.168.0.0/16 • ベストエフォートアクセス(ライト)はOCN網を利用しインターネット接続機能を提供しております。 • OCN網における計画工事・故障情報に関しましてはオペレーションサポートウェブ(https://support.ntt.com/maintenance/)をご参照ください。
アクセス監視に係る通信利用について	• アクセス回線の正常性確認やアラーム検知などの為に、帯域の一部を監視目的で弊社が利用させて頂く場合があります。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-4. その他の注意事項(L3)

2. 禁止事項

回線負荷試験の禁止について	・ 負荷発生装置等を用い、通常では起こり得ないようなパケットを大量に送信する行為については禁止となります。 例) 1. 大量のフラグメントパケットをUniversal One網に対して一方的に送信する事。 2. 応答確認を待たないで大量のパケットをUniversal One網に対して一方的に送信する事。 3. 申込書記載以外のアドレスに対するパケットの送信。 4. その他、Universal One網に対して影響を及ぼす試験行為全般。
---------------	--

3. 開通に関する注意事項

開通試験に関して	・ 開通試験につきましては、設置日当日、工事担当者にて各開通確認試験を行いますが、開通確認試験の結果、通信品質が弊社の定める基準に満たない場合には開通とならない場合があります。ただし、お客様の合意があった場合には開通とみなし、その際のサービス提供品質は開通試験時の品質が保守対応基準となります事をご了承ください。 ・ また、お客様側に起因するような原因の如何においては開通とみなし、通常通り課金を始める場合もございます事をご了承下さい。
ADSLの速度がない場合について	・ フレッツタイプ(フレッツ一括提供型)、又はフレッツタイプ(フレッツ別契約型)において、ADSLのリンク未確立の場合は、開通NGとさせて頂き、回線をご契約頂くことができません。
片開通について	・ メイン回線およびバックアップ回線の冗長構成でお申し込みを頂いた場合は、メイン回線およびバックアップ回線の通信確認後のご提供となり(電波状況により通信確認できないワイヤレス回線を除く)、いずれか一方だけの先行提供は行いません。

4. 運用・保守に関する注意事項

冗長区間の切り替わりについて	・ 弊社ネットワーク網内の冗長区間における切り替わりにより、一時的に通信断が発生する場合がございます。
保守(駆けつけ時間)	・ 駆けつけ時間はご希望の時間に添えない場合がございます。
故障情報について	・ NTTドコモビジネス公式HPより閲覧可能です。 詳細は下記URLを参照願います。 https://support.ntt.com/maintenance/service/vpn-besteffort

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-4. その他の注意事項(L3)

フレッツタイプ(フレッツ一括提供型) 特定加入者回線 (「フレッツ」アクセス部分)部分の保守に関する注意点	・NTT地域会社からアクセス部分(収容ビルより上部)の工事通知および故障通知連絡を弊社が受領した場合は、オペレーションサポートウェブにて通知させていただきます。 ・NTT地域会社収容ビルからお客様設置場所間のラストワンマイル部分の工事・故障通知については、フレッツ一括提供型の仕様として行っておりません。但し、フレッツ回線の提供元であるNTT地域会社の施策として、設置場所への案内文書投函や訪問などの事前工事通知が、NTT地域会社の委託工事会社より直接現地に実施される場合がありますので、その旨ご理解ご了承願います。 ・フレッツ一括提供型において収容ビル～お客様宅内のADSLモデム間(ADSLの場合)/収容ビル～お客様宅内の回線終端装置間(フレッツ光の場合)の故障対応時間は9時～17時となります。但し、故障が確認された時間、お客様の設置場所などの状況で実際の対応は翌日以降となる場合もあります。 ・24時間365日のオンサイト保守をご希望の場合は、「フレッツ24時間サポート」へのお申し込みが別途必要となります。 ・東日本エリアのADSLサービス品目について、既にご利用のお客様が途中で「フレッツ24時間サポート」にお申し込みの場合、収容設備の変更となるためサービス借用工事が発生します。また、「フレッツ24時間サポート」提供前後で回線速度が変化する場合があります。
光一括提供型 アクセス回線部分の保守に関する注意点	・アクセス部分(収容ビルより上部)についての、工事通知および故障通知については、オペレーションサポートウェブにNTT地域会社工事・故障情報Webへのリンクを準備しますので、こちらをご確認下さい。 ・NTT地域会社収容ビルからお客様設置場所間のラストワンマイル部分の工事・故障通知については、光一括提供型の仕様として行っておりません。但し、アクセス回線の提供元であるNTT地域会社の施策として、設置場所への案内文書投函や訪問などの事前工事通知が、NTT地域会社の委託工事会社より直接現地に実施される場合がありますので、その旨ご理解ご了承願います。 ・光一括提供型において収容ビル～お客様宅内の回線終端装置間の故障対応時間は9時～17時となります。故障修理の対応については、NTT地域会社がお客様へ直接ご連絡して対応いたします。また故障が確認された時間、お客様の設置場所などの状況で実際の対応は翌日以降となる場合もあります。 ・故障受付の際、お客様に宅内の回線終端装置の状態確認、電源の再起動(OFF/ON)をお願いする場合があります。こちらを実施いただけない場合、故障修理対応が実施できない場合があります。
一元故障受付オプションに関して	・フレッツ別契約型においてご利用いただける「フレッツ一元故障受付オプション」は、フレッツ部分も含めたUniversal Oneサービスの利用に係る故障について、弊社の保守窓口で一元的に受け付け、切分け、対応を行うサービスです。 ・ひかり電話等Universal Oneサービスの利用に関係の無いフレッツオプションサービスの故障対応は行いません。又、フレッツ部分の事前工事通知・故障通知は弊社からは行いませんので、必要に応じてNTT地域会社に工事、故障の通知先を登録頂く事を推奨します。 ・フレッツ一元故障受付オプションは、故障対応の過程で、弊社からでは無く該当のNTT地域会社から対応の連絡を行う場合があります。 ・フレッツ一元故障受付オプションは、お客様の代わりに弊社で、NTT地域会社とネットワーク故障の一次対応を代行して行うサービスです。料金に関する案件等、故障に直接該当しないお問い合わせは弊社営業担当者にお尋ね下さい。 ・他事業者が、NTT地域会社「光コラボレーションモデル」を利用して提供するフレッツ回線では、フレッツ一元故障受付オプションでの受付対応はご利用いただけません。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-5. その他の注意事項(L2)

1. 設計時の注意事項

(1) 通信品質について

通信品質について	・サーバ設置など、トラフィックの集中するセンタ拠点には、ギランティアアクセスもしくはバーストアクセスのご利用をお薦めします。
通信断について	・NTT地域会社のフレッツアクセスの仕様の関係上、一旦フレッツ回線のリンクが切れると最大5分程度再接続できない場合があります。

(2) MACアドレスについて

MACアドレスについて	・本サービスでは、専用コンバーターのLAN側MACアドレスを監視し、登録されているMACアドレスはWAN側に転送しません。 ・L2ベストエフォートアクセス/L2ギランティアアクセス/L2バーストアクセスの同時利用において、利用可能なMACアドレス数は合計で1000個までとなります。
-------------	--

(3) プロトコルについて

利用可能なL3プロトコルについて	L3以上のレイヤのプロトコルについては特に制限はありません。
イーサフレームについて	・本サービスで利用可能なイーサフレームのフォーマットは、「IEEE802.3 フレームフォーマット」、もしくは「DIX Ethernet ver.2フレームフォーマット」に準拠している必要があります。 ・VLAN機能を利用する場合には、IEEE802.1Qに準拠している必要があります。 ・次に記載するフレームの転送は保証できません。 - 各社独自規格のフレーム (802.1d/w, lacp, Cisco PAgP, Cisco CDP, Cisco ISL等) - PAUSE (宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-01」) - BPDU/802.1D (宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-00」) - LACP/802.3ad (宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-02」) - 802.1X (宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-03」) - LLDP/802.1AB (宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-0e」) - 宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-00~0F」で上記以外のフレーム - Ethernet OAMフレームでMEGLレベルが0~4のもの
フレーム長について	・本サービスでサポートしている最大フレーム長は1522byte(FCS4byteを含む)です。最大フレーム長を超えたパケットで通信を行った場合、フラグメントが多発し、通信速度の低下や通信不可が生じることがあります。 ・なお、Group-Etherから移行頂いて専用コンバーターをそのままご利用のお客様の場合は最大フレーム長は1518byte(FCS4byteを含む)となります。
MTU値について	・本サービス上でIPv4通信を行う場合、MTU値は1300byteを推奨します。 ・推奨MTU値を超えたパケットで通信を行った場合、フラグメント(パケット長超過によるパケットの分割)が発生し通信速度が低下したり、通信不可となったりする場合があります。
PPPoEについて	・ベストエフォートアクセスの利用には、PPPoEのセッションをシングルでは1セッション、デュアルでは2セッション確保頂く必要があります。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-5. その他の注意事項(L2)

(4) インターフェースについて

インターフェース条件	・専用コンバーターのLANインターフェースの設定は、10BASE-T/100BASE-TX(オートネゴシエーション、AutoMDI-X)です。 ・お客様機器のインターフェースのSpeed/DUPLEXは、Auto、100M Half 固定、10M Half 固定のいずれかの設定にしてください。推奨は、お客様側機器のインターフェースを「Auto」とする設定です。専用コンバーターに接続するお客様機器のインターフェースのDUPLEX設定がFULL固定の場合は、通信速度が遅くなる場合があります。
------------	--

(5) アクセスメニュー別の注意事項

フレッツタイプ(フレッツ一括提供型)に関する注意事項	・フレッツ一括提供型はNTT地域会社が提供する「フレッツ 光ネクスト」および「フレッツ・ADSL」を弊社が調達し、ネットワークサービスと合わせて一元的にサービス提供するプランです。 ・本サービスは、アクセス回線を弊社名義で手配し、従来のように弊社ネットワーク側やアクセス回線側という区別無く、一つのサービスとして提供しております。その為、アクセス回線部分については、NTT地域会社の提供する「フレッツ」と技術仕様などは全て同一となります。 ・本サービスで提供するアクセス回線は、あくまでUniversal Oneサービスのアクセス回線としてのご利用のみとさせていただきます。本アクセス回線を利用したインターネット接続などは行わないようお願い致します。 ・Universal Oneサービス以外のアクセスとしてご利用された場合の故障については、一元故障受付の対象外とさせていただきます。 ・本サービス利用時には、ひかり電話やデータコネクト等、NTT地域会社の「フレッツ」のオプションサービスはご利用いただけません。 ・設置場所の移転やプラン変更を要望される場合、出来るだけ早い段階で弊社営業担当者までご連絡頂くと共に、NTT地域会社に直接移転の申込みを行わないようお願い致します。 ・お客様名義でご利用中の「フレッツ」回線をフレッツ一括提供型に流用する事はできません。
フレッツタイプ(フレッツ一括提供型)に関する注意事項 光サービス(F)ご利用の場合の注意点	・本資料内「2-5. アクセス回線種別について」に記載のないアクセス回線はご利用いただけません。 ・本サービス提供においては、フレッツ回線をVPN用のアクセスとして利用していますので、NTT地域会社がフレッツ 光ネクスト ファミリー/マンションと、フレッツ 光ネクスト ハイスピードタイプ ファミリー/マンションの間に設ける物理的な通信速度の差異を必ずしも直接反映するものではありません。 ・フレッツ 光ネクスト回線をご利用の場合、NTT地域会社の設備構成上、その他のプランよりも信頼性が落ちる場合がありますこと、又、将来的に信頼性向上工事を実施させて頂く際に通信断を伴う工事を行いますことにつきましても合わせてご了承願います。なお、工事の際は弊社ホームページにて事前に通知を行います（NTT地域会社によるアクセス回線の工事を除きます）。 ・ご入居されている建物が既にマンションタイプ提供済みの場合のみ、アクセス回線のマンションタイプへのお申込を受け付け可能とさせていただきます。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-5. その他の注意事項(L2)

フレッツタイプ(フレッツ一括提供型)に関する注意事項 ADSLサービス(F)ご利用の場合の注意点	• NTT東日本エリアにおいて、特定加入者回線の仕様により、24時間365日のオンサイトオプション用設備が用意出来ないなどの理由で、納期が6ヶ月以上必要な場合や、提供不可となる場合があります。 • ADSLをご利用のお客様向けのADSLモデムはブリッジタイプのためのレンタルとさせていただきますが、本サービスの仕様上、ADSLの速度や地域の事情によっては、ルーター機能付モデムが送付されるケースがございます。利用の際はブリッジモードにてご利用願います。お客様の都合によりルーターモードでご利用なさった場合、ルーター機能に係る部分のサポートは対象外とさせていただきます。 • フレッツ一括提供型で提供可能なADSLサービスは、ADSL専用型に限ります。 • ADSL専用型の特性上、空線が無く提供が行えない場合等、工事の際に提供不可が判明する場合があります。 • 収容ビル〜お客様宅内のADSLモデム間までは原則NTT地域会社が設置することとしていますが、保安器または配電盤からADSLモデムまでの間の線路にお客様側設置の線路(以下「自営線路」といいます)利用をご希望の場合は、下記の条件に該当する場合は、その自営線路を無償で使用させていただきます。 － 提供を受ける自営線路の品質は地域会社の設置する線路と同等以上であること － 自営線路の保守及び工事はお客様責任で行って頂くこと また、自営線路区間での故障等が原因による通信断等についてはお客様側責任によるものとし、損害賠償の対象外とさせていただきます。
フレッツタイプ(フレッツ一括提供型)に関する注意事項 ADSLの速度が出ない場合のキャンセル	• フレッツ一括提供型において、万が一利用開始(新規・変更・移転)後、提供開始日の翌日から20日以内に全く通信ができない状態(リンク未確立)となった場合は、同期日以内に弊社サービスセンタへご連絡ください。その事象を弊社が確認できた場合で、サービスの解除・変更・移転をご希望されたお客様につきましては、リンク未確立期間のフレッツ・ADSLのご利用料金(工事費・利用料金)は適用致しません。 ※速度が出ない、通信が不安定という事象には適用されません。
フレッツタイプ(フレッツ別契約型)に関する注意事項	• 本資料内「2-5. アクセス回線種別について」に記載のないアクセス回線はご利用いただけません。記載されていない契約タイプをご利用の場合や、本サービスのお申込み時に申請頂く契約タイプが実際の回線と異なる場合には、通信できませんのでご注意ください。 • 弊社作業員の責でない事象(フレッツ未開通、フレッツの故障、ONUやHGWの故障など)によって作業を実施出来ない場合、所定の工事費が発生します。 • シングルセッションでアクセス回線にフレッツ光ネクストをご利用の場合、「フレッツ・v6オプション」をNTT地域会社にお申込の上、フレッツ回線IDとアクセスキーをUniversal One申込時に記載頂く必要があります。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-5. その他の注意事項(L2)

フレッツタイプ(フレッツ別契約型)に関する注意事項	・フレッツ 光ネクストでHGWが設置される場合、HGWはブリッジモード(Universal OneターミナルにてPPPoEの終端できる設定にて)ご利用頂く必要があります。
フレッツ・光ネクストに関する諸注意(ひかり電話のご利用について)	・ベストエフォートアクセスをご利用になるフレッツ光回線で、ひかり電話ないしデータコネクトを重畳利用することはできません。それらとの重畳利用によりUniversal One網通信に影響を与えた場合、Universal Oneサービスとして通信の正常性を保障できません。
フレッツタイプ(フレッツ別契約型)に関する注意事項 ADSLの速度が出ない場合のキャンセル	・フレッツ別契約型において、NTT地域会社にてADSL開通工事後に線路距離やその設備状況によって速度が低下して利用ができない(リンク未確立の場合、NTT地域会社工事費用は無料となります。それには、NTT工事日より20日以内にリンク未確立の事象についてNTT地域会社へ申し出をし、リンク未確立について確認させる必要があります。そのためには、キャンセルのお申込みをNTT工事日より18日以内に弊社営業担当者までご連絡ください。 ※速度が出ない、通信が不安定という事象には適用されません。
フレッツタイプ(フレッツ別契約型)に関する注意事項 アクセス回線の変更や設置場所移転の際の注意点	・本サービスをご利用になる場合、NTT地域会社の提供するフレッツ回線を事前に設置し、利用可能な状態として頂く必要があります。 ・マンションタイプにおきましてはお客様宅までの構内配線の正常性に関しましては、ビル管理会社様などへ事前にご確認頂くようお願い致します。フレッツ回線、構内配線の不備に起因する開通不可時の再工事費用に関してはお客様負担となりますのでご了承ください。 ・フレッツ・ADSL(ルータータイプのモデム)については、初期設置状態ではUniversal Oneサービスの通信が確立できませんので、事前にルータータイプのADSLモデムについては、「ブリッジモード」に変更頂く必要があります。 ・フレッツアクセスの利用には、フレッツのセッションを1セッション確保頂く必要があります。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-5. その他の注意事項(L2)

(6)その他の注意事項

専用コンバーターについて	- 専用コンバーターに対してパケットを多量に流すと、機器の性能上、通信の瞬断が発生することがあります。 - 本サービスで提供する専用コンバーターでは、LAN側に到達したフレームを網側へ転送する機能のみとなります。MACアドレステーブルにあるものは網側へ転送されません。また、DHCPサーバ機能、ルーティングプロトコル等L3機能はありません。
回線終端装置について	- ルーター機能付きADSLモデムやHGW機能付ONUについては、その配下に設置される弊社提供の専用コンバーターがPPPoE終端を行えるようブリッジ設定でご利用頂く必要があります。お客様側で設定変更をされた場合は、適切な設定にお戻しくださいますようお願いいたします。 - ONU、HGW機能付きONU、ADSLモデムなどのOSバージョンアップが必要な場合、機器のリセット作業が必要となる場合は、お客様側でリセットボタンの押下など実施頂きますようお願いいたします。
高トラフィック利用の制限について	- ベストエフォートアクセスは、常時高トラフィックが発生するようなご利用には適しません。 - 多拠点接続を行う場合のセンタ拠点には、ギャランティなしバーストアクセスご利用をお勧めします。センタ拠点に複数のフレッツ回線を設置する場合は、NTT地域会社内での収容によっては相互にトラフィックの影響が生じる場合があります、複数回線分の帯域が利用できるとは限りませんので、ご注意願います。 - ベストエフォートアクセスにおける高トラフィック利用（Web会議等の利用等をいいます。）については、ふくそうが発生又は発生させる恐れがあり、当社の業務の遂行又は当社の電気通信設備に支障を及ぼし又は及ぼす恐れがあること、及び他のUniversal Oneサービス利用者に対し、重大な支障を与える又は与える恐れがあることから、推奨しません。 ※Web会議のご利用を想定される場合は、docomo business RINKもしくはギャランティアアクセスを推奨いたします。 - pingの多量送信や、ICMP/UDP/TCPを用いたネットワーク、アプリケーションの負荷試験などは行わないでください。トラフィックに関わらず、多量のセッションをUniversal One網内に発生させるような利用により、設備に著しい支障を及ぼした場合、または及ぼす可能性がある場合は、サービスの一部または全部の利用を停止させていただくことがありますので、ご注意ください。 - フラグメント化されたIPパケットを受信した際などに、パケットの送出順序が受信時と入れ替わることがあります。具体的にはUDPによる通信を行っており順序を制御できないご利用形態の場合にご注意をお願いします。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-5. その他の注意事項(L2)

アクセス監視に係る通信利用について	• アクセス回線の正常性確認やアラーム検知などの為に、帯域の一部を監視目的で弊社が利用させて頂く場合があります。
VLANタグ利用について	• 本サービスでは、802.1Q (VLANタグ)を利用することは可能です。(但し、VLANタグを多重することは出来ません。)802.1Qを利用した場合も専用コンバーターが転送できる最大フレームサイズは1522byte(FCSを含む)に変わりありません。
ギャランティ回線との相互通信について	• L2ベストエフォート回線は最大透過フレームサイズが1522byteとなるため、その他の回線からの通信の最大フレームサイズも1522byteにする必要があります。

2. 禁止事項

禁止アドレス	• L2ベストエフォートとL2ギャランティの接続区間にて、以下のグローバルIPアドレスを利用して試験を行いますので、お客様ご利用のIPアドレスとの重複がないようお願いします。 開通試験で利用するグローバルIPアドレス：「61.213.169.51」「61.213.169.52」
回線負荷試験の禁止について	• 負荷発生装置等を用い、通常では起こり得ないようなパケットを大量に送信する行為については禁止となります。 例) 1. 大量のフラグメントパケットをUniversal One網に対して一方的に送信する事。 2. 応答確認を待たないで大量のパケットをUniversal One網に対して一方的に送信する事。 3. 申込書記載以外のアドレスに対するパケットの送信。 4. その他、Universal One網に対して影響を及ぼす試験行為全般

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-5. その他の注意事項(L2)

3. 開通に関する注意事項

工事に関して	・現地調査、及び工事の際はお客様の設置場所担当者の立会いが必要です。立会いされる方は、設置の場所目的等をご理解の上立会い願います。 ・立会いの際は、株式会社NTT PCコミュニケーションズ名義の回線の設置場所担当者の位置付けとなり、フレッツ工事の際は、NTT地域会社の提示する工事確認書にサイン頂く必要があります。その場合、フレッツの敷設場所等お客様として問題が無い事をご確認の上サイン願います。
フレッツタイプ(フレッツ別契約型)における開通試験に関して	・お客様側で手配するフレッツ回線はUniversal Oneサービスが開通する「6営業日前」には工事を完了させてください。アクセス回線とUniversal Oneサービスを同日に開通することは避けて下さい。(Universal Oneサービスの開通日当日にフレッツが開通していなかったり、ONUの設置や屋内配線工事が完了していなかったりするケースがあります。これらの開通トラブルが発生した場合、Universal Oneサービスは開通できません) ・開通試験時に、申告時のアクセス回線種別と実際のアクセス回線種別が異なり、開通試験ができない場合は、再度、専用コンバーターの設定等、調整が必要となります。その際の専用コンバーター設置時には、フレッツ回線のリンク断が発生します。 ・開通工事日前日のSOセンタ受付時間(9:00-17:00)以降の工事キャンセル(延期)が発生した際に、アクセス回線の未開通、リンク未確立、アクセス回線種別の申告違い等、お客様に起因する場合には、工事に要した費用(派遣工事代)も追加で発生することがあります。なお、開通時に生じた変更申込については、通常の変更申込相当の料金を頂く場合がございます。変更スケジュールについては所定の納期となりますので予めご注意ください。
開通試験に関して	・開通試験につきましては、設置日当日、工事担当者にて各開通確認試験を行います。開通確認試験の結果、通信品質が弊社の定める基準に満たない場合には開通とならない場合があります。ただし、お客様の合意があった場合には開通とみなし、その際のサービス提供品質は開通試験時の品質が保守対応基準となります事をご了承ください。 ・また、お客様側に起因するような原因の如何においては開通とみなし、通常通り課金を始める場合もございます事をご了承下さい。
ADSLの速度がない場合について	・フレッツタイプ(フレッツ一括提供型)、又はフレッツタイプ(フレッツ別契約型)において、ADSLのリンク未確立の場合は、開通NGとさせて頂き、回線をご契約頂くことができません。
専用コンバーターのお客様設置工事について	・専用コンバーターをお客様にて設置し、開通して頂きます。 ・Universal Oneサービスの料金は、申込書にご記入頂いた「ご利用開始希望日」から課金を始めさせて頂きます。 ・専用コンバーターの設定変更が必要となる場合は、変更した機器を再送させて頂く場合がございます。 ・専用コンバーターのオンサイト工事が必要となった場合には、オンサイト工事の実施時間帯に応じた工事費を請求させて頂く場合がございます。 ・専用コンバーターの受取りの時間指定は、受け付けておりません。 ・専用コンバーターの設置に関するお問い合わせは平日営業日9:00～17:00で受け付けます。

3-2. ベストエフォートアクセスのご利用方法

3-2-5. その他の注意事項(L2)

4. 運用・保守に関する注意事項

フレッツタイプ(フレッツ一括提供型) 特定加入者回線 ([「フレッツ」アクセス 部分])部分の保守 に関する注意点	• NTT地域会社からアクセス部分(収容ビルより上部)の工事通知および故障通知連絡を弊社が受領した場合は、オペレーションサポートウェブにて通知させていただきます。 • NTT地域会社収容ビルからお客様設置場所間のラストワンマイル部分の工事・故障通知については、フレッツ一括提供型の仕様として行っておりません。但し、フレッツ回線の提供元であるNTT地域会社の施策として、設置場所への案内文書投函や訪問などの事前工事通知が、NTT地域会社の委託工事会社より直接現地に実施される場合がありますので、その旨ご理解ご了承願います。 • フレッツ一括提供型において収容ビル～お客様宅内のADSLモデム間(ADSLの場合)/収容ビル～お客様宅内の回線終端装置間(フレッツ光の場合)の故障対応時間は9時～17時となります。但し、故障が確認された時間、お客様の設置場所などの状況で実際の対応は翌日以降となる場合もあります。 • 24時間365日のオンサイト保守をご希望の場合は、「フレッツ24時間サポート」へのお申し込みが、別途必要となります。 • 東日本エリアのADSLサービス品目で、既にご利用のお客様が途中で「フレッツ24時間サポート」にお申し込みの場合、収容設備の変更となるためサービス借用工事が発生します。また、「フレッツ24時間サポート」提供前後で回線速度が変化する場合があります。
冗長区間の切り 替わりについて	• 弊社ネットワーク網内の冗長区間における切り替わりにより、一時的に通信断が発生する場合がございます。
保守(駆けつけ時 間)	• 駆けつけ時間はご希望の時間に添えない場合がございます。
故障情報について	• NTT ドコモビジネス公式HPより閲覧可能です。 詳細は下記URLを参照願います。 https://support.ntt.com/maintenance/service/vpn-besteffort
一元故障受付オ プションに関して	• フレッツ別契約型においてご利用いただける「フレッツ一元故障受付オプション」は、フレッツ部分も含めたUniversal One サービスの利用に係る故障について、弊社の保守窓口で一元的に受け付け、切分け、対応を行うサービスです。 • ひかり電話ないしデータコネクト等Universal Oneサービスの利用に関係の無いフレッツオプションサービスの故障対応は行いません。又、フレッツ部分の事前工事通知・故障通知は弊社からは行いませんので、必要に応じてNTT地域会社に工事、故障の通知先を登録頂く事を推奨します。 • フレッツ一元故障受付オプションは、故障対応の過程で、弊社からでは無く該当のNTT地域会社から対応の連絡を行う場合があります。 • フレッツ一元故障受付オプションは、お客様の代わりに弊社で、NTT地域会社とネットワーク故障の一次対応を代行して行うサービスです。料金に関する案件等、故障に直接該当しないお問い合わせは弊社営業担当者にお尋ね下さい。

3. サービスのご利用方法について

3-3. ギャランティアアクセスのご利用方法

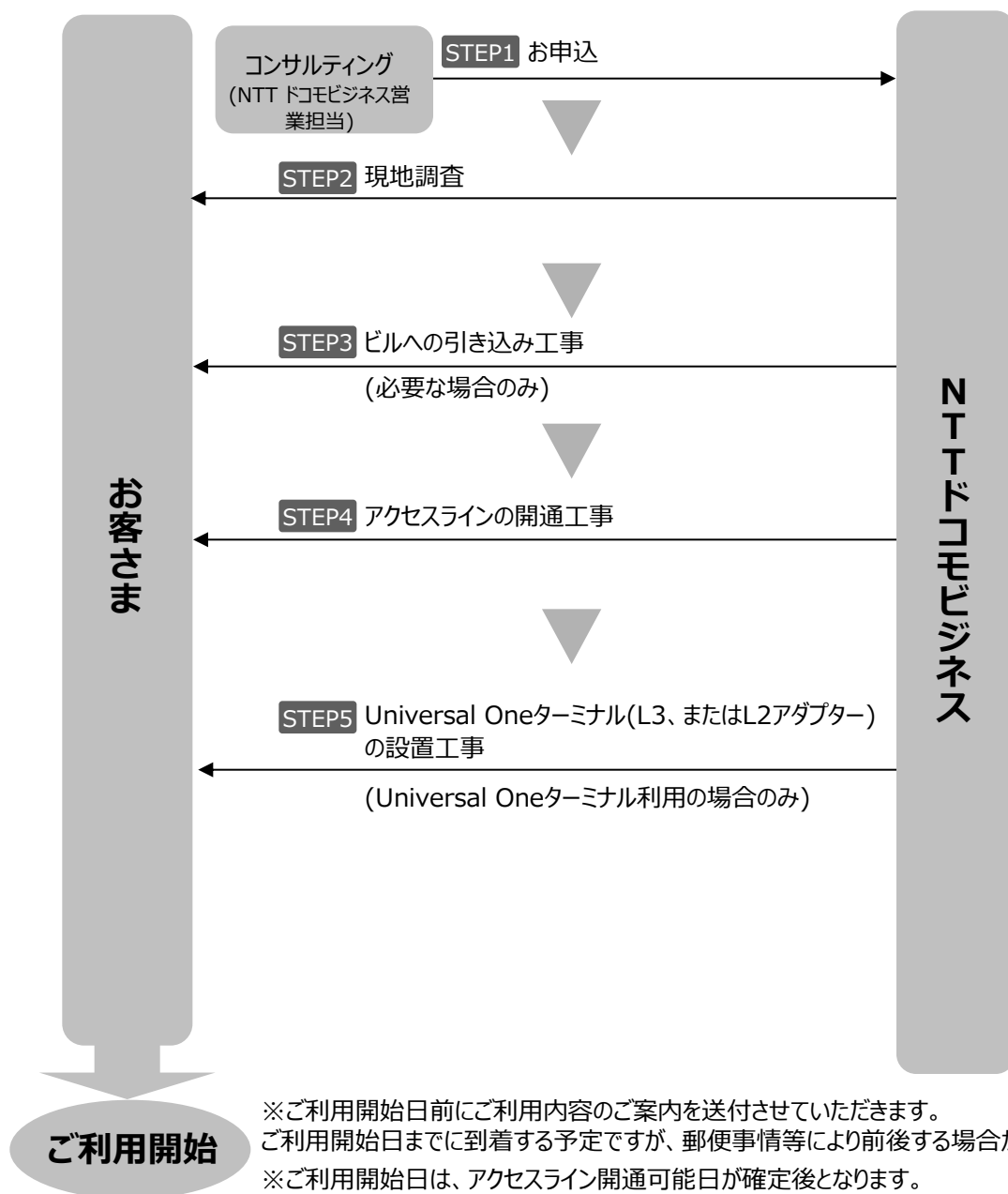
3-3. ギャランティアクセスのご利用方法

3-3-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

概略

- ギャランティアクセスのご利用開始までの流れは以下となります。
- 回線種別によっては、現地調査や引き込み工事、アクセスラインの開通工事作業をお客さま拠点に敷設される回線毎に実施する場合があります。



3-3. ギャランティアアクセスのご利用方法

3-3-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ詳細と注意点

- ・アクセス部分の開通には、お客様の立会いが必須です。ご契約責任者の方は、実際にお立会いいただく現地担当者様に(1)今回の回線設置内容の把握、(2)回線終端装置(ONU/DSU)の設置場所の把握、(3)ビルの入館方法の事前確認などが必要である事をご説明いただき、現地担当者様のアサインをお願いします。

STEP1 お申込み

STEP2 現地調査

- ・現地調査当日は現地担当者様の立会いが必須です。当日は、ONU等(回線終端装置)の設置場所の確認、設置場所までの配線ルートについて確認させていただきますので、ご利用目的およびご利用場所についてお分かりになる現地担当者様をアサインください。
- ・現地調査で作業担当者がビルに入室・入館する際に、ビル側への入館申請が必要なケースが増えております。事前に入館申請の方法、時期などについてビル管理会社などにご確認願います。
- ・入館申請はお客さまに行っていただく必要がありますが、入館申請にあたり入館予定者の氏名、連絡先などが必要な場合は、申込書にその旨記載いただくか、現地調査・工事実施前にNTT comまでご連絡願います。
- ・追って作業担当者をご連絡いたします。作業担当者名が未定の場合は代表者名となります。
- ・契約者様が全体のスケジュールを勘案して開通日の調整や変更をされる場合、日程変更をなされた事を現地担当者様にご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・PT(光成端キャビネット)を設置する場合は、ビル内共用部に設置しますので、ビル側への承諾をお客さま側でお取りいただく必要があります。
- ・電柱から、直接建物に引き込む場合、建物の壁に穴を開ける場合があります。その場合、建物所有者様への承諾はお客さま側でお願いいたします。
- ・光回線の敷設には配管が必要です。配管の有無については現地調査時に確認させていただきますが、ビル内の配管が無い場合、配管はお客さま(ビル)側にてご用意いただく必要が有ります。お客さま側でご用意いただく配管や取付板が指定期日までに工事できない場合、光ケーブル敷設工事が実施できない恐れがあります。必ずご指定の日までに施工を完了するようお願いいたします。
- ・現地調査の際に指定いただいたご利用場所(ONU/DSU等設置場所)が変更となる場合には、配管やキャビネット取付板の設置位置により光ケーブルルートが変わる場合があります。その際は、再度現地調査を行い、光ケーブルルートの再確認が必要となります。またその施工時期によりご提供時期が遅れる場合があります。ご利用場所(ONU/DSU等設置場所)は、事前に契約者様と現地担当者様でご確認のうえ、ご指示願います。
- ・ギャランティ(イーサ専用)アクセスをご利用であり、100G品目のデュアルアクセスオプションについては、他事業者からのダークファイバ調達が必要ですが、他事業者の都合によりダークファイバの提供が受けられない場合があります。

STEP3 ビルの引き込み工事

- ・新規に光回線を敷設するビルなどの場合、ビルへの引き込み工事が必要な場合が対象です。

3-3. ギャランティアクセスのご利用方法

3-3-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ詳細と注意点

STEP4 アクセスラインの工事

- アクセスラインの納期については、NTTドコモビジネス営業担当者より、お客様にご連絡いたします。
- 当初の工事希望日に対応できない場合があります。その場合は、全体の工事希望日程をNTT ドコモビジネス営業担当者と再度調整いただきます。
- アクセスライン工事日はご利用開始希望日の数日前とさせていただきます。工事日の確定はNTT ドコモビジネス営業担当者とお客さま間で行います。アクセスライン工事会社の現地作業員と直接調整なさらないようお願いいたします。
- 工事の際は現地担当者様の立会いが必須です。現地担当者様の立会いが可能な日をお選びください。
- 当日は現地調査時に立ち会われた方(光回線の場合)、若しくは設置場所の工事施工位置をお分かりの方をアサインください。
- 入館時の諸注意につきましては、現地調査と同様ご対応をお願い致します。
- アクセスラインの工事後、アクセスライン工事会社の担当者として工事を実施した担当者からサインを求められますが、設置に問題が無い場合は確認のサインをお願いします。
- ギャランティアクセスイーサタイプ(NTTコム光利用)やギャランティアクセス(イーサ専用)をご利用の場合は、回線終端装置が2台設置される場合があります。
- 箱や取扱説明書については、破棄せずに保管願います。
- L3をご利用の場合、Universal Oneターミナルではなく、お客さま自営ルーターをご利用のお客さまで、WANネットワークのルーティングプロトコルにBGPをご利用のお客さまは、お客さま側の設定が完了しましたら、下記窓口までご連絡願います。ご連絡をいただいてから、BGP確立確認を実施いたします。Universal Oneターミナルをご利用のお客さまは、Universal Oneターミナルの設置工事時に試験を実施するため、お客さままでのご連絡は不要です。

- コムエンジニアリング L3開通担当 -

(受付時間)9:00~17:00
※土日祝日と年末年始は除く。

TEL : ☎ 0120-047-530

3-3. ギャランティアクセスのご利用方法

3-3-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

アクセス回線開通までの流れと注意点

STEP5 Universal Oneターミナル(L3、またはL2アダプター)の設置工事

- Universal Oneターミナル(L3、またはL2アダプター)を利用する場合、Universal Oneターミナル(L3、またはL2アダプター)の設置を行います。
- アクセスラインの工事希望日以降の日付を別に指定いただきます。
- 箱や取扱説明書については、破棄せずに保管願います。



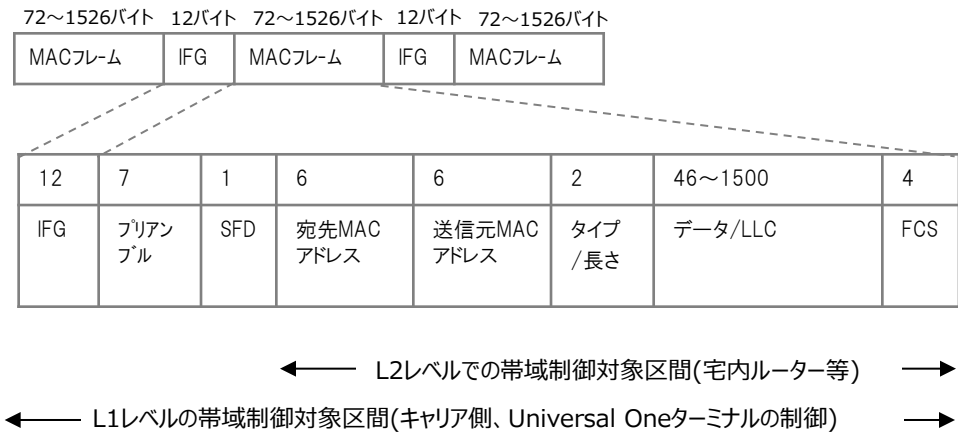
- お客さまネットワーク機器やお客さま端末とUniversal Oneターミナル(L3、またはL2アダプター)間のケーブル設置についてはお客さま側での作業をお願い致します。
- 拠点間の通信確認についてはお客さま側にて作業をお願い致します。

3-3. ギャランティアクセスのご利用方法

3-3-2. 各種設定について

自営ルーターの設定

- L3をご利用の場合、お客さま自営ルーターをご利用の場合に、WANネットワークでBGPをご利用の場合、BGPの設定は以下でお願いします。
 - ネットワーク側のAS番号 : 9598
 - Hold-Timer : 40秒以上を推奨
※また、keepaliveが3秒未満(holdtimeが9秒未満)の場合は接続出来ません。
 - 4byte ASの対応はしていません。
- お客さま自営ルーターをご利用の場合、WAN側のインターフェースで契約帯域以下にシェーピングしていただくをお願いします。ルーターでシェーピングを行わない場合、契約帯域を超過するトラフィックが発生した場合に、スループットが低下する恐れがあります。
- イーサタイプのアクセス回線をご利用の場合は、アクセス回線の区間がプリアンプルとインターフレームギャップ(以下IFG)を含んだシェーピングであることを考慮した設計をお願いします。実際のシェーピング設定数値は、お客さまトラフィック状況に依存します。フレーム廃棄が頻発し、お客さま通信に影響が出る場合は、imixトラフィック等の基準値から適切なシェーピング値を設定してください。(Universal Oneターミナル(L3)をご利用の場合は、Universal Oneターミナル(L3)にてL1レベルのシェーピング(プリアンプルとIFGを含んだシェーピング)を実施いたします。)



3-3. ギャランティアアクセスのご利用方法

3-3-3. 故障かな、と思ったら

STEP1 保守窓口への申告

NTT ドコモビジネスからプロアクティブな故障通知を行います。お客さまにて故障にお気づきの場合は、以下の窓口までお問い合わせ願います。

サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先

ご契約時にご案内しております「Universal Oneサービスご利用内容のご案内兼内容確認票」内の「故障時連絡先」をご確認いただき、お問い合わせください。

ご不明な場合は、東京オペレーションセンタ【TEL】0120-007-003(受付時間:24時間365日)までお問い合わせください。



お問い合わせ前に以下をご確認ください！

・お客さまより、故障申告をいただいた場合、切り分け作業を行う際に問診・確認等をさせていただく場合がございます。円滑なサポートをご提供するために、下記内容を事前にご確認いただきますようお願い申し上げます。

●お客さま情報

- ☐ お客さま名(ご契約社名)
- ☐ お問い合わせご担当者名／ご連絡先
- ☐ 事業所名
- ☐ 管理ID(V番、N番)
- ☐ 故障申告内容
- ☐ レンタル機器(Universal Oneターミナル等)のランプ状態 ※レンタル機器ご利用の場合のみ

3-3. ギャランティアクセスのご利用方法

3-3-4. その他の注意事項(L3)

1. 設計時の注意事項

(1) IPアドレスについて

ご利用IPアドレスについて	・プライベートIPアドレス(RFC1918準拠)、及びお客様がJPNIC等のNIC機関より正規に割り当てられたグローバルIPアドレスは利用可能です。利用可能アドレス以外を利用した場合はサポートの対象外となります ・VPN内でIPアドレスは重複させる事ができません。
プラグアンドコネクト利用時のご利用IPアドレスについて	プラグアンドコネクト利用時は、事前にプラグアンドコネクトプールアドレスとしてお預かりするIPアドレス(任意の/14)の範囲で、弊社にてIPアドレス設計致します。
ワイヤレスバックアップ、ベストエフォートバックアップご利用時のご利用IPアドレスについて	ギャランティプラン、バーストプランにて、バックアップにワイヤレスアクセス、ベストエフォートアクセスをご利用の場合は、バックアップ通信時には、当該拠点にて0.0.0.0/0のアドレスをご利用時はグローバルIPアドレス向け拠点との通信が行えません。

(2) プロトコルについて

IPプロトコルについて	L3では、IPv4プロトコルを提供します(IP v 6は別途対応予定)。
ルーティングプロトコルについて	・ギャランティアクセスの弊社網内ルーターとお客様ルーター間における利用可能ルーティングプロトコルはBGP、Staticのみとなります。弊社網内ルーターとUniversal Oneターミナル間における利用可能ルーティングプロトコルはBGPのみとなります。 ・BGPにて経路上限数設定型を選択した場合で、申込経路数を超過した時点で、PE側よりBGPピアが切断され、該当拠点において通信が出来なくなります。
MTU上限値/MSS設定値について	・本サービスでサポートしているMTU値は1500byteです。 ・MTU値を超えたパケットで通信を行った場合、フラグメント(パケット長超過によるパケットの分割)が多発し通信速度が低下したり、通信不可となったりする場合があります。
イーサフレームについて	本サービスで利用可能なイーサフレームのフォーマットは、「DIX Ethernet ver.2フレームフォーマット」に準拠している必要があります。

(3) その他の注意事項

アクセス監視に係る通信利用について	アクセス回線の正常性確認やアラーム検知などの為に、帯域の一部を監視目的で弊社が利用させて頂く場合があります。
契約帯域	ギャランティアクセス、バーストアクセスのイーサタイプにおいて、品目で定める契約帯域はIFGを含み、イーサフレームのプリアンブルからフレームチェックシーケンスまでを制御範囲と規定します。また契約帯域は、非同期通信であるイーサ通信のアクセス区間の伝送装置による送受信レート差分などを加味したうえ、弊社基準に照らした設計となります。

3-3. ギャランティアクセスのご利用方法

3-3-4. その他の注意事項(L3)

2. 禁止事項

回線負荷試験の禁止について	・負荷発生装置等を用い、通常では起こり得ないようなパケットを大量に送信する行為については禁止となります。 例) 1. 大量のフラグメントパケットをUniversal One網に対して一方的に送信する事。 2. 応答確認を待たないで大量のパケットをUniversal One網に対して一方的に送信する事。 3. 申込書記載以外のアドレスに対するパケットの送信。 4. その他、Universal One網に対して影響を及ぼす試験行為全般。
---------------	---

3. 開通に関する注意事項

片開通について	メイン回線およびバックアップ回線の冗長構成でお申し込みをいただいた場合は、メイン回線およびバックアップ回線の通信確認後のご提供となり(電波状況により通信確認できないワイヤレス回線を除く)、いずれか一方だけの先行提供は行いません。
---------	--

4. 運用・保守に関する注意事項

冗長区間の切り替わりについて	弊社ネットワーク網内の冗長区間における切り替わりにより、一時的に通信断が発生する場合がございます。
保守(駆けつけ時間)	駆けつけ時間はご希望の時間に添えない場合がございます。
保守(工事通知)	一部の工事通知については、お客様サポートWebのご利用ガイドにて通知させていただきます。
故障情報について	・原則メール、および電話にて通知させていただきます。 ・多回線故障が発生した場合、NTT ドコモビジネス公式HPの下記URLに掲載します。 https://support.ntt.com/maintenance/aop/100

3-3. ギャランティアアクセスのご利用方法

3-3-5. その他の注意事項(L2)

1. 設計時の注意事項

(1) MACアドレスについて

MACアドレスについて	L2ベストエフォートアクセス/L2ギャランティアアクセス/L2バーストアクセスの同時利用において、利用可能なMACアドレス数は合計で1000個までとなります。
-------------	---

(2) プロトコルについて

利用可能なL3プロトコルについて	L3以上のレイヤのプロトコルについては特に制限はありません。
イーサフレームについて	・本サービスで利用可能なイーサフレームのフォーマットは、「IEEE802.3 フレームフォーマット」、もしくは「DIX Ethernet ver.2フレームフォーマット」に準拠している必要があります。 ・VLAN機能を利用する場合には、IEEE802.1Qに準拠している必要があります。 ・次に記載するフレームの転送は保証できません。 - 各社独自規格のフレーム (802.1d/w、Iacp、Cisco PAgP、Cisco CDP、Cisco ISL等) - PAUSE (宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-01」) - BPDU/802.1D (宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-00」) - LACP/802.3ad (宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-02」) - 802.1X (宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-03」) - LLDP/802.1AB (宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-0e」) - 宛先MACアドレスが「01-80-c2-00-00-00~0F」で上記以外のフレーム - Ethernet OAMフレームでMEGLレベルが0~4のもの
フレーム長について	本サービスでサポートしている最大フレーム長は1522byte(FCS4byteを含む)です。最大フレーム長を超えたパケットで通信を行った場合、フラグメントが多発し、通信速度の低下や通信不可が生じることがあります。

(3) その他の注意事項

アクセス監視に係る通信利用について	アクセス回線の正常性確認やアラーム検知などの為に、帯域の一部を監視目的で弊社が利用させて頂く場合があります。
契約帯域	ギャランティアアクセス、バーストアクセスのイーサタイプにおいて、品目で定める契約帯域はIFGを含み、イーサフレームのプリアンブルからフレームチェックシーケンスまでを制御範囲と規定します。また契約帯域は、非同期通信であるイーサ通信のアクセス区間の伝送装置による送受信レート差分などを加味したうえ、弊社基準に照らした設計となります。

3-3. ギャランティアクセスのご利用方法

3-3-5. その他の注意事項(L2)

2. 禁止事項

回線負荷試験の禁止について	・負荷発生装置等を用い、通常では起こり得ないようなパケットを大量に送信する行為については禁止となります。 例) 1. 大量のフラグメントパケットをUniversal One網に対して一方的に送信する事。 2. 応答確認を待たないで大量のパケットをUniversal One網に対して一方的に送信する事。 3. 申込書記載以外のアドレスに対するパケットの送信。 4. その他、Universal One網に対して影響を及ぼす試験行為全般
---------------	--

3.運用・保守に関する注意事項

冗長区間の切り替わりについて	・弊社ネットワーク網内の冗長区間における切り替わりにより、一時的に通信断が発生する場合がございます。
シングル回線の提供について (イーサ専用)	設備故障等の発生がサービス中断となりますので、お客様にて冗長構成を確保願います。また、シングル構成のため故障発生個所が多岐に渡るため、故障復旧に時間を要することが想定されます。目標復旧時間に向けて迅速な復旧措置を行います。長時間故障については予めご了承願います。
デュアルアクセスオプション提供について (イーサ専用)	100G品目におけるデュアルアクセスオプションについては、他事業者からのダークファイバ調達が必要ですが、他事業者の都合によりダークファイバの提供が受けられない場合がありますので、必ずしも、完全な分散提供を保証するものではありません。
工事通知について (イーサ専用)	シングル回線のご提供においては、計画工事に伴い通信断が発生する場合には、工事実施日より40日前に通知いたします。弊社指定の日時に通信断が発生しますので、お客様にて予め冗長先への切替えをお願い致します。
保守(駆けつけ時間)	・駆けつけ時間はご希望の時間に添えない場合がございます。
保守(工事通知)	一部の工事通知については、お客様サポートWebのご利用ガイドにて通知させていただきます。
故障情報について	・原則メール、および電話にて通知させていただきます。 ・また、webでの確認はNTT ドコモビジネス公式HPの下記URLに掲載します。 https://support.ntt.com/maintenance/aop/100
故障通知について (イーサ専用)	通信故障原因が回線契約IDの老番側でも、ビジネスポータル表示は回線契約IDの若番側が表示されます。 故障区間及び故障原因の詳細については、保守窓口へお問い合わせください。

3. サービスのご利用方法について

3 – 4. バーストアクセスのご利用方法

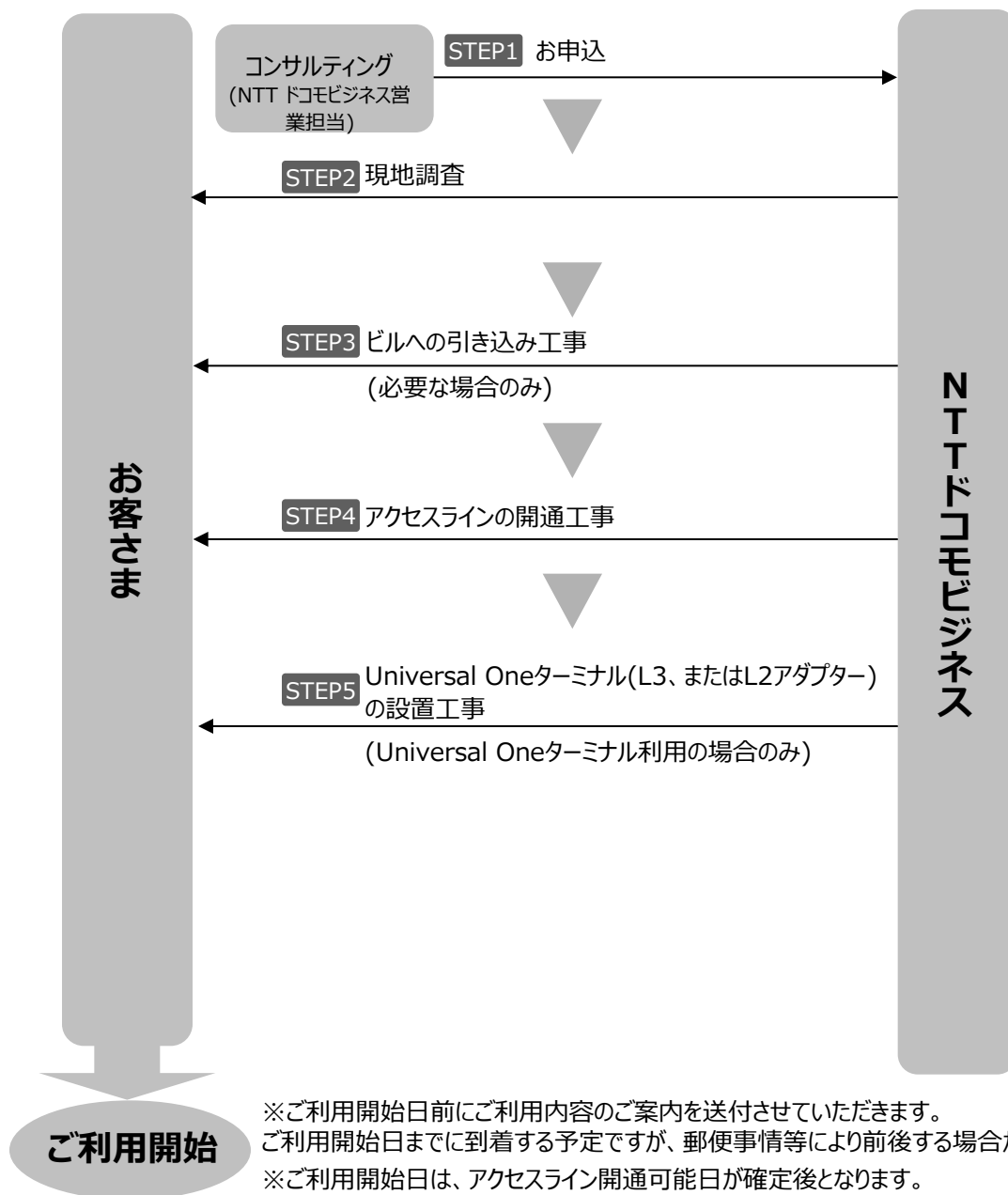
3-4. バーストアクセスのご利用方法

3-4-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

概略

- ・ バーストアクセスのご利用開始までの流れは以下となります。



3-4. バーストアクセスのご利用方法

3-4-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ詳細と注意点

- アクセス部分の開通には、お客様の立会いが必須です。ご契約責任者の方は、実際にお立会いいただく現地担当者様に(1)今回の回線設置内容の把握、(2)回線終端装置(ONU/DSU)の設置場所の把握、(3)ビルの入館方法の事前確認などが必要である事をご説明いただき、現地担当者様のアサインをお願いします。

STEP1 お申込み

STEP2 現地調査

- 現地調査当日は現地担当者様の立会いが必須です。当日は、ONU等(回線終端装置)の設置場所の確認、設置場所までの配線ルートについて確認させていただきますので、ご利用目的およびご利用場所についてお分かりになる現地担当者様をアサインください。
- 現地調査で作業担当者がビルに入室・入館する際に、ビル側への入館申請が必要なケースが増えております。事前に入館申請の方法、時期などについてビル管理会社などにご確認願います。
- 入館申請はお客さまに行っていただく必要がありますが、入館申請にあたり入館予定者の氏名、連絡先などが必要な場合は、申込書にその旨記載いただくか、現地調査・工事実施前にNTT comまでご連絡願います。
- 追って作業担当者をご連絡いたします。作業担当者名が未定の場合は代表者名となります。
- 契約者様が全体のスケジュールを勘案して開通日の調整や変更をされる場合、日程変更をなされた事を現地担当者様にご連絡いただきますようお願いいたします。
- PT(光成端キャビネット)を設置する場合は、ビル内共用部に設置しますので、ビル側への承諾をお客さま側でお取りいただく必要があります。
- 電柱から、直接建物に引き込む場合、建物の壁に穴を開ける場合があります。その場合、建物所有者様への承諾はお客さま側をお願いいたします。
- 光回線の敷設には配管が必要です。配管の有無については現地調査時に確認させていただきますが、ビル内の配管が無い場合、配管はお客さま(ビル)側にてご用意いただく必要が有ります。お客さま側でご用意いただく配管や取付板が指定期日までに工事できない場合、光ケーブル敷設工事が実施できない恐れがあります。必ずご指定の日までに施工を完了するようお願いいたします。
- 現地調査の際に指定いただいたご利用場所(ONU/DSU等設置場所)が変更となる場合には、配管やキャビネット取付板の設置位置により光ケーブルルートが変わる場合があります。その際は、再度現地調査を行い、光ケーブルルートの再確認が必要となります。またその施工時期によりご提供時期が遅れる場合があります。ご利用場所(ONU/DSU等設置場所)は、事前に契約者様と現地担当者様でご確認のうえ、ご指示願います。

STEP3 ビルの引き込み工事

3-4. バーストアクセスのご利用方法

3-4-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ詳細と注意点

STEP4 アクセスラインの工事

- アクセスラインの納期については、NTTドコモビジネス営業担当者より、お客様にご連絡いたします。
- 当初の工事希望日で対応できない場合があります。その場合は、全体の工事希望日程をNTT ドコモビジネス営業担当者と再度調整いただきます。
- アクセスライン工事日はご利用開始希望日の数日前とさせていただきます。工事日の確定はNTT ドコモビジネス営業担当者とお客さま間で行います。アクセスライン工事会社の現地作業員と直接調整なさらないようお願いいたします。
- 工事の際は現地担当者様の立会いが必須です。現地担当者様の立会いが可能な日をお選びください。
- 当日は現地調査時に立ち会われた方(光回線の場合)、若しくは設置場所の工事施工位置をお分かりの方をアサインください。
- 入館時の諸注意につきましては、現地調査と同様ご対応をお願い致します。
- アクセスラインの工事後、アクセスライン工事会社の担当者として工事を実施した担当者からサインを求められますが、設置に問題が無い場合は確認のサインをお願いします。
- ギャランティアアクセスイーサタイプ(NTTコム光利用)やギャランティアアクセス(イーサ専用)をご利用の場合は、回線終端装置が2台設置される場合があります。
- 箱や取扱説明書については、破棄せずに保管願います。
- L3をご利用の場合、Universal Oneターミナル(L3)ではなく、お客さま自営ルーターをご利用のお客さまで、WANネットワークのルーティングプロトコルにBGPをご利用のお客さまは、お客さま側の設定が完了しましたら、下記窓口までご連絡願います。ご連絡をいただいてから、BGP確立確認を実施いたします。Universal Oneターミナル(L3)をご利用のお客さまは、Universal Oneターミナル(L3)の設置工事時に試験を実施するため、お客さままでのご連絡は不要です。

- コムエンジニアリング L3開通担当 -

(受付時間)9:00~17:00
※土日祝日と年末年始は除く。

TEL : ☎ 0120-047-530

3-4. バーストアクセスのご利用方法

3-4-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

アクセス回線開通までの流れと注意点

STEP5 Universal Oneターミナル(L3、またはL2アダプター)の設置工事

- Universal Oneターミナル(L3、またはL2アダプター)を利用する場合、Universal Oneターミナル(L3、またはL2アダプター)の設置を行います。
- アクセスラインの工事希望日以降の日付を別に指定いただきます。
- 箱や取扱説明書については、破棄せずに保管願います。



- ・お客さまネットワーク機器やお客さま端末とUniversal Oneターミナル(L3、またはL2アダプター)間のケーブル設置についてはお客さま側での作業をお願い致します。
- ・拠点間の通信確認についてはお客さま側にて作業をお願い致します。

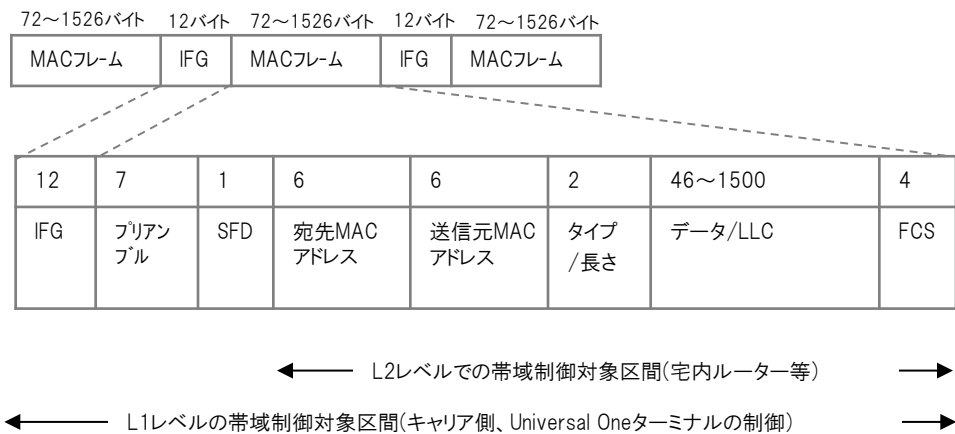
3-4. バーストアクセスのご利用方法

3-4-2. 各種設定について

自営ルーターの設定

- L3をご利用の場合、お客さま自営ルーターをご利用の場合で、WANネットワークでBGPをご利用の場合、BGPの設定は以下でお願いします。
 - ネットワーク側のAS番号 : 9598
 - BGP keep alive : 40秒以上を推奨
 - 4byte ASの対応はしていません。
- お客さま自営ルーターをご利用の場合、WAN側のインターフェースで契約帯域以下にシェーピングしていただくようお願いします。ルーターでシェーピングを行わない場合、契約帯域を超過するトラフィックが発生した場合に、スループットが低下する恐れがあります。
- イーサタイプのアクセス回線をご利用の場合は、アクセス回線の区間がプリアンプルとインターフレームギャップ(以下IFG)を含んだシェーピングであることを考慮した設計をお願いします。実際のシェーピング設定数値は、お客さまトラフィック状況に依存します。フレーム廃棄が頻発し、お客さま通信に影響が出る場合は、imixトラフィック等の基準値から適切なシェーピング値を設定してください。(Universal Oneターミナル(L3)をご利用の場合は、Universal Oneターミナル(L3)にてL1レベルのシェーピング(プリアンプルとIFGを含んだシェーピング)を実施いたします。)

契約回線5Mbps、トラフィックをimix(354バイト)とした場合の計算例
L2レベルでのルーター設定値(bps)
=(imix基準値-FCS)/(imix基準値+IFG+プリアンプル+SFD)*契約帯域
=(354-4)/(354+20)*5,000,000
=4,679,144 bps



3-4. バーストアクセスのご利用方法

3-4-3. 故障かな、と思ったら

STEP1 保守窓口への申告

NTT ドコモビジネスからプロアクティブな故障通知を行います。お客さまにて故障にお気づきの場合は、以下の窓口までお問い合わせをお願いします。

サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先

ご契約時にご案内しております「Universal Oneサービスご利用内容のご案内兼内容確認票」内の「故障時連絡先」をご確認いただき、お問い合わせください。

ご不明な場合は、東京オペレーションセンタ【TEL】0120-007-003(受付時間:24時間365日)までお問い合わせください。



お問い合わせ前に以下をご確認ください！

・お客さまより、故障申告をいただいた場合、切り分け作業を行う際に問診・確認等をさせていただく場合がございます。円滑なサポートをご提供するために、下記内容を事前にご確認いただきますようお願い申し上げます。

●お客さま情報

- ☐ お客さま名(ご契約社名)
- ☐ お問い合わせご担当者名／ご連絡先
- ☐ 事業所名
- ☐ 管理ID(V番、N番)
- ☐ 故障申告内容
- ☐ レンタル機器(Universal Oneターミナル等)のランプ状態 ※レンタル機器ご利用の場合のみ

3－4．バーストアクセスのご利用方法

3－4－4．その他の注意事項

- ・ レイヤー3のお客様：3－3－4．その他の注意事項(L3)をご確認ください。
- ・ レイヤー2のお客様：3－3－5．その他の注意事項(L2)をご確認ください。

3. サービスのご利用方法について

3 – 5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

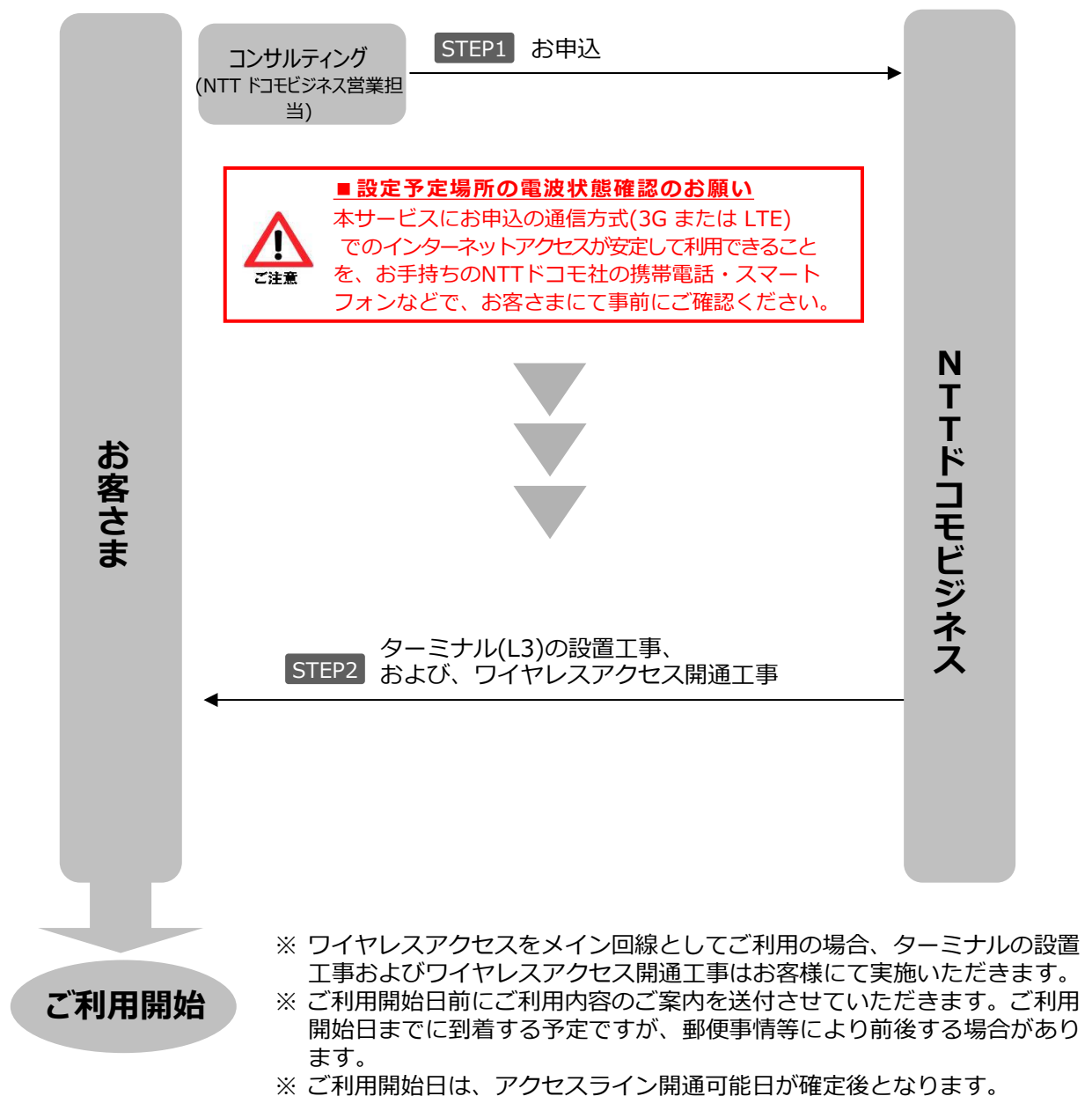
3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

概略

- ・ワイヤレスアクセスのご利用開始までの流れは以下となります。



3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-1. ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ

ご利用開始までの流れ詳細と注意点

STEP1 お申込み

- ・お申込みの前に、事前にワイヤレスの電波確認をお願いします。
次ページのワイヤレスアクセスの特性を十分にご納得の上、ご利用願います。

【電波確認方法】

ターミナル(L3)の設定予定場所にて、本サービスにお申込の通信方式(3G または LTE)でのインターネットアクセスが安定して利用できることを、お手持ちのNTTドコモの携帯電話・スマートフォンなどで、お客さまにて事前にご確認ください。



※電波確認(インターネットアクセス確認)に伴うパケット通信料は、お客様ご負担となりますのでご了承ください。

※携帯電話・スマートフォンからの、インターネットアクセス方法については、携帯電話・スマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

STEP2 アクセスラインの工事

【メイン回線としてご契約の場合】

- ・ターミナル(L3)の設置工事はお客さまにて実施願います。
- ・本サービスのご利用に必要な機器は、お申込みいただいた「ご利用場所住所」に送付いたします。
- ・お申込み戴いた「ご利用開始希望日」より、サービスのご利用開始とさせていただきます。

【バックアップ回線としてご契約の場合】

- ・ターミナル(L3)の設置工事と同日に実施します。

3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-1. ご利用開始までの流れ

ワイヤレスの特性

・ ワイヤレスアクセスの無線特性について、以下のとおりご注意くださいようお願い申し上げます。

- 本サービスの提供エリアは、日本国内のNTTドコモの無線通信サービスの提供エリアに準じます。NTTドコモの無線通信サービスの提供エリア外ではご利用いただけません。
- 無線端末を設置する場所により、電波状態は大きく変化します。
本サービスは、端末設置場所の電波状態を現在～将来的に保証するサービスではありません。
無線端末の設置場所の環境及び、NTTドコモの移動無線通信サービスの提供状況により、電波状態は大きく変化します。
特定の固定された利用場所において、電波調査や改善などはサービスとして対応できません。
【電波状態が不安定となる場所の例】
 1. 建物の奥に行けば行くほど、電波が入りづらくなる傾向があります。
 2. トラックの駐車やシャッターの開閉など周囲の環境変化で電波が不安定となることがあります。
 3. 鉄板の上や金属製扉のラック内は、金属の影響を受けて電波が入りづらくなります。
- 電波状態により、通信速度・通信方式が変化します。
電波状態が悪化すると、通信速度も大きく落ち込む可能性があります。
- 本サービスはベストエフォート型のサービスです。
通信速度を保証するサービスではありません。
- 固定回線に比べ、遅延が大きいサービスです。
ワイヤレスアクセスは固定回線と比べると、電波状態が良好な場合でのご利用であっても遅延が大きいため、アプリケーションによってはご利用いただけない場合があります。
- 他のお客さまと共用する公衆網ですので、混雑時には通信速度の低下や接続できない場合があります。
NTTドコモの移動無線通信に係る通信網において著しく輻輳したとき、電波状況が著しく悪化した場合又はその他NTTドコモの定めに基づき、通信の全部又は一部の接続ができない場合や接続中の通信が切断される場合があります、NTTドコモビジネスは、当該場合において契約者又は第三者に発生した障害について何ら責任を負うものではありません。

● ネットワーク工事等により通信が切断されることがあり、通信の接続性を常時保証・確保するサービスではありません。また、NTTドコモビジネスネットワークに関わる通信断の際には、お客さまへ『オペレーションサポートウェブ(<https://support.ntt.com/maintenance/>)』による周知を行います。一時的な通信断の場合には実施致しませんのでご了承ください。

● 故意にバックアップ通信を長時間行う等の利用を継続された場合は、バックアップ通信の制限を行わせていただく場合があります。



ワイヤレスアクセスの特性について、十分ご理解戴いた上でのご利用をお願いします。

3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-2. 機器諸元

概観図・機器諸元

- 記載内容は、2018年11月現在のものです。
- 表記のサービス内容は予告なく変更することがあります。

・本サービスでは、以下の機器をレンタルにてご提供します。

モバイル端末

メイン回線利用・バックアップ回線利用共通で提供

ネクス社製
UX302NC



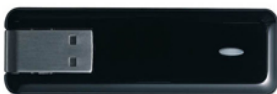
UX302NC-R



電源	【UX302NC、UX302NC-R共通内容】 USB電源
本体サイズ	【UX302NC、UX302NC-R共通内容】 高さ×幅×奥行き(突起部は除く)： 88.0mm × 30.0mm × 12.2mm
本体重量	【UX302NC】 35.5g 【UX302NC-R】 35g
動作環境	【UX302NC、UX302NC-R共通内容】 動作時温度：-10℃～50℃、動作時湿度：15%～90%

バックアップ回線利用でのみ提供

中興通迅社製(ZTE Corporation)
MF120



電源	USB電源
本体サイズ	高さ×幅×奥行き(突起部は除く)： 85.6mm × 26mm × 11.5mm
本体重量	24g
動作環境	動作時温度：0℃～55℃、動作時湿度：0%～90%

中興通迅社製(ZTE Corporation)
MF121



電源	USB電源
本体サイズ	高さ×幅×奥行き(突起部は除く)： 76mm × 24.5mm × 10mm
本体重量	25g
動作環境	動作時温度：-10℃～55℃、動作時湿度：5%～95%



ご注意

モバイル端末は、本サービス専用です。NTT ドコモビジネスからの指示があるまでは、ターミナル本体から取り外さないでください。(故障の原因になる場合がございます)



ご注意

機器の梱包類についてお客さまへのお願い

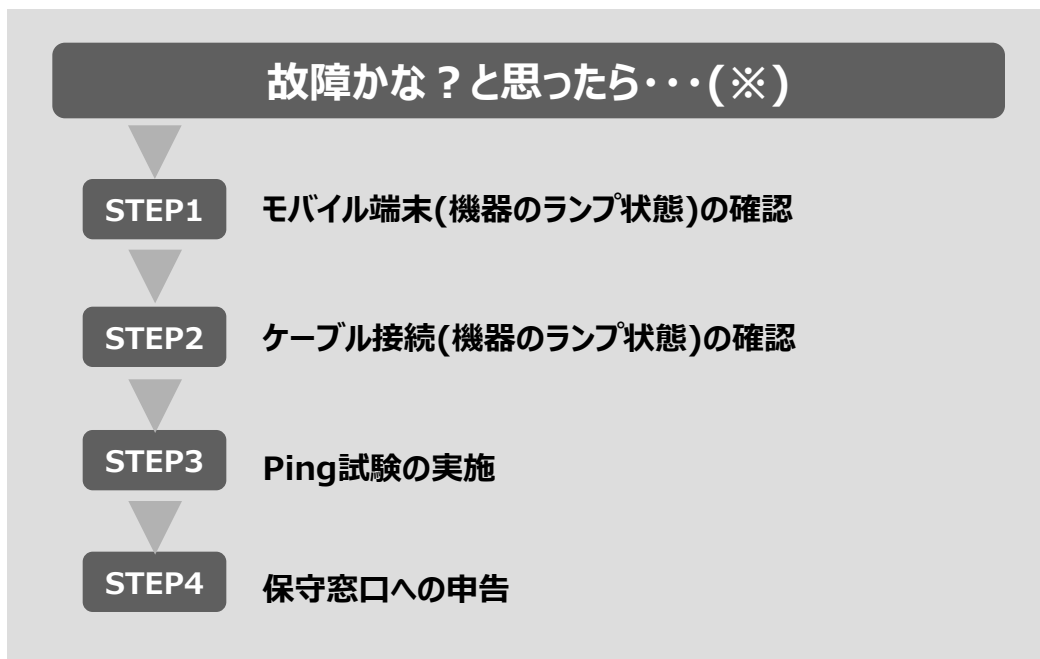
機器が梱包されていた、箱や緩衝材は廃棄せず返却時まで保管してください。機器故障や解約等のご返却時、この梱包類でご返却いただきます。梱包類を紛失した場合は、恐れ入りますがお客さまにてダンボール箱や緩衝材等をご用意いただき、破損のないよう梱包してください。返却物は弊社から提供しているレンタル品です。万が一、破損や紛失等されますと弁済金を請求させていただきます。

3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-3. 故障かな、と思ったら

手順概略

- 本サービスご利用中に通信不具合が発生した場合に、保守窓口にご連絡する前にお客さまにご確認いただくチェック項目等について説明いたします。
- 通信不具合発生時には、以下のステップで原因切り分けを行ってください。
- ご契約時にご案内しております「Universal Oneサービスご利用内容のご案内兼内容確認票」内の「故障時連絡先」をご確認いただき、お問い合わせください。
ご不明な場合は、東京オペレーションセンタ【TEL】0120-007-003(受付時間:24時間365日)までお問い合わせください。



※ワイヤレスアクセスをバックアップ回線としてご利用の場合は、STEP1のみご確認ください。STEP1以外の申告前のご確認事項は、メイン回線としてご利用いただいている回線の確認事項・内容に準拠してご確認ください。

3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-3. 故障かな、と思ったら

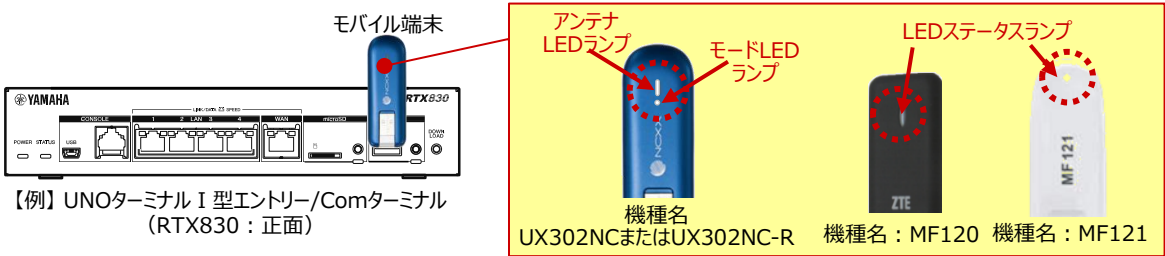
メイン回線およびバックアップ回線としてご利用時に必須

STEP1 モバイル端末(機器のランプ状態)の確認

■ターミナル本体がUNO-T I 型(NXR125/CX、NXR-230/C)、UNO-T I 型エントリー(RTX830)、Com-T I 型(RTX830)の場合

モバイル端末の、LEDランプの「ランプ状態」を確認してください。

正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。
赤枠部以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



■モバイル端末 (UX302NCまたはUX302NC-R) の場合

ランプ状態 パターン	ランプ名		状態の説明	対処方法 (お客さまでの現地確認事項)
	アンテナLED ランプ	モードLED ランプ		
パターン1	消灯	消灯	USB端末が接続されていない、または外れている。	接続されている装置との接続状態を確認。
パターン2	赤(点滅)	消灯	電波状況【圏外相当】基地局から電波が受信できない状態。	ご利用場所の電波状況を確認。
パターン3	水色／青／紫 ※1	消灯 ※1	【正常】待機中 (メイン回線で通信中) ※2	—
パターン4	緑／青／紫	青(点灯)	【正常】通信中 (バックアップ回線で通信中) ※2	—
電波受信レベル	点灯	—	【安定した電波状態】電波受信レベル 5、4	—
	点滅 (長い点灯⇔短い消灯)	—	電波受信レベル 3	—
	点滅 (同じ間隔で点灯⇔消灯)	—	電波受信レベル 2	—
	点滅 (短い点灯⇔長い消灯)	—	電波受信レベル 1	—

※1：ターミナル本体が、UNO-T I 型で2021年3月末以前から利用している場合、または、UNO-T I 型エントリーもしくはCom-T I 型を2020年5月以前から利用している場合は、アンテナLED「青／紫」、モードLEDランプ「青(点滅)」にて点灯/点滅する場合あり。
※2：ターミナル本体が、Com-T I 型(NXR-530)、または、2022年8月19日出荷以降のCom-T I 型(RTX830)もしくはUNO-T I 型エントリー(RTX830)の場合、ワイヤレスバックアップは常時接続のため、パターン3「待機中」のランプ状態はなく、メイン回線で通信中の場合もパターン4「通信中」のランプ状態になります（但し、電波状態や接続状態等により、パターン3「待機中」のランプ状態になる場合あり）。現在、メイン回線にて通信中か、バックアップ回線にて通信中か確認したい場合は、ターミナル本体のランプ状態をご確認ください。

■機種名：MF120／MF121の場合

ランプ名		状態の説明	対処方法 (お客さまでの現地確認事項)
LED ステータス ランプ	消灯	USB端末が接続されていない、または外れている。	接続されている装置との接続状態を確認。
	赤(点灯)	電波状況【圏外相当】基地局から電波が受信できない状態。	ご利用場所の電波状況を確認。
	青(点灯)	【正常】待機中	—
	青(点滅)	【正常】通信中	—

3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-3. 故障かな、と思ったら

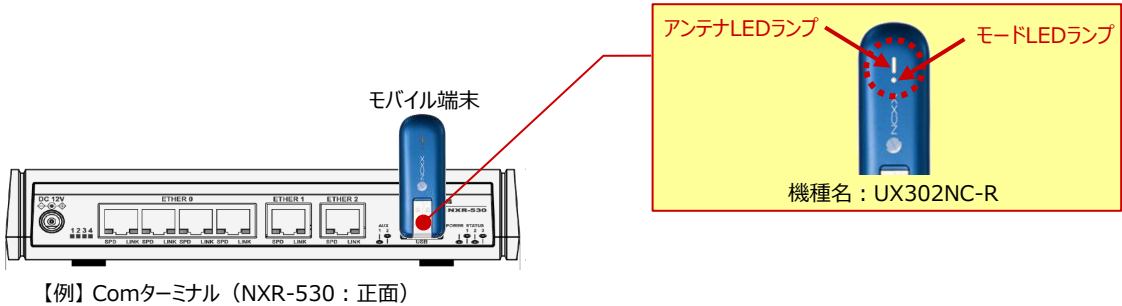
メイン回線およびバックアップ回線としてご利用時に必須

STEP1 モバイル端末(機器のランプ状態)の確認

■ターミナル本体が、UNO-T I 型(NXR-530)、または、Com-T I 型(NXR-530)の場合

モバイル端末の、LEDランプの「ランプ状態」を確認してください。

正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。
赤枠部以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



■モバイル端末 (UX302NC-R) の場合

ランプ状態 パターン	ランプ名		状態の説明	対処方法 (お客さまでの現地確認事項)
	アンテナLED ランプ	モードLED ランプ		
パターン1	消灯	消灯	USB端末が接続されていない、または外れている。	接続されている装置との 接続状態を確認。
パターン2	赤(点滅)	消灯	電波状況【圏外相当】基地局から電波が受信できない状態。	ご利用場所の電波状況を確認。
パターン3	緑／青／紫	青(点灯)	【正常】 通信中または、通信可能状態 ※1	—
電波受信 レベル	点灯	—	【安定した電波状態】電波受信レベル 5、4	—
	点滅 (長い点灯⇔短い消灯)	—	電波受信レベル 3	—
	点滅 (同じ間隔で点灯⇔消灯)	—	電波受信レベル 2	—
	点滅 (短い点灯⇔長い消灯)	—	電波受信レベル 1	—

※1：ターミナル本体がCom-T I 型(NXR-530)の場合、ワイヤレスバックアップは常時接続のため、メイン回線で通信中の場合も、モバイル端末のランプ状態は、パターン3「通信中または、通信可能状態」になります。現在、メイン回線にて通信中か、バックアップ回線にて通信中か確認した場合は、ターミナル本体のランプ状態をご確認ください。

3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-3. 故障かな、と思ったら

メイン回線としてご利用時のみ必須

STEP2

ケーブル接続(機器のランプ状態)の確認

Universal Oneターミナル I 型エントリー、
または、Communication ターミナル I 型をご利用のお客さまは、
以下についてご確認ください。

「お客さまのネットワーク機器」と「ターミナル」の接続状態のご確認、
および、ターミナルのランプ状態をご確認ください。
ターミナルのランプ状態は、本ガイド3-6-3をご参照ください。

3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-3. 故障かな、と思ったら

メイン回線としてご利用時のみ必須

STEP3 Ping試験の実施

LAN内のPCより、以下のIPアドレス宛にPing試験を実施してください。

※Ping試験の実施方法は、次ページの「(参考)Ping試験の手順」をご参照ください。

手順1 Ping試験端末設定

Ping試験を実施するにあたり、試験端末側(PC等)のアドレス・ゲートウェイ設定を含めて、お客さまLANの設定が正しいかどうかご確認ください。

- ・端末アドレス : お客さまLANネットワークの IPアドレス
- ・端末ゲートウェイ : ターミナル(L3)のLANポートIPアドレス(ゲートウェイ設定はお客さま環境によって異なる場合もあります)



手順2 ターミナル(L3)の、LAN側ポートへのPing試験(※1)

ターミナル(L3)のLAN側ポート(※2)へ、Ping試験をお願いします。

※ 上記、手順2がNGの場合

- ・端末のアドレス設定を含めて、お客さまLANの設定が正しいかどうかご確認ください。
- ・ご契約時にご案内しております「Universal Oneサービスご利用内容のご案内兼内容確認票」内の「故障時連絡先」をご確認いただき、お問い合わせください。ご不明な場合は、東京オペレーションセンタ
TEL : 0120-007-003(受付時間 : 24時間365日)までお問い合わせください。

(※1) お客さまによりターミナルのLAN側ポートに設定されているIPアドレスは異なります。LAN(LAN側)ポートIPアドレスにつきましては、システム管理者様等にお問い合わせ願います。

(※2) ワイヤレスアクセスをメイン回線としてご利用の場合、ポート名は「LAN1」です。



以下、[手順3] はワイヤレスアクセスをメイン回線としてご利用のお客さまで、インターネット接続をご利用の場合の確認方法です。

手順3 インターネット接続をご利用の場合

インターネット接続をご利用の際は、インターネット上へのPing試験をお願いします。

- ・インターネット上へのPing試験 (例 : 211.129.13.200(www.ocn.ne.jpホームページIPアドレス))

3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-3. 故障かな、と思ったら

メイン回線としてご利用時のみ必須

STEP3

Ping試験の実施

(参考)Ping試験の手順[Windows版]

手順1)

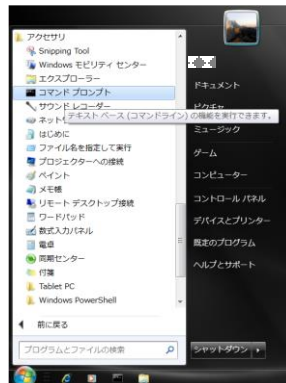
「スタート」メニューの「すべてのプログラム」→
「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックする。

(WindowsXP/Vista/Windows7の場合)

*Windows10の場合は「スタート」メニューの
「すべてのアプリ」→「windowsシステムツール」→「コマンド
プロンプト」をクリックします。

*Windows2000の場合は「スタート」メニューの
「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を
クリックします。

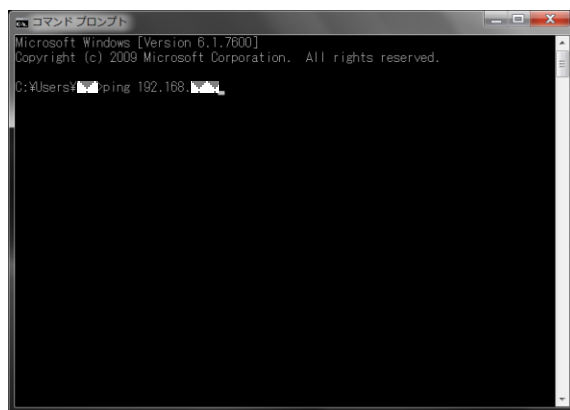
*Windows98/Me/NT4の場合は「スタート」メニューの
「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックします。



(例)Windows7の場合

手順2)

右図のような黒い画面が出てきたら、
C:¥> (あるいは C:¥WINDOWS> や
C:¥Users¥
【ユーザ名】>)の続きから、
“Ping_【IPアドレス】” (_ はスペース)
と入力して改行。



手順3)

Pingを打った後に返されるメッセージを確認してください。

【正常メッセージ】

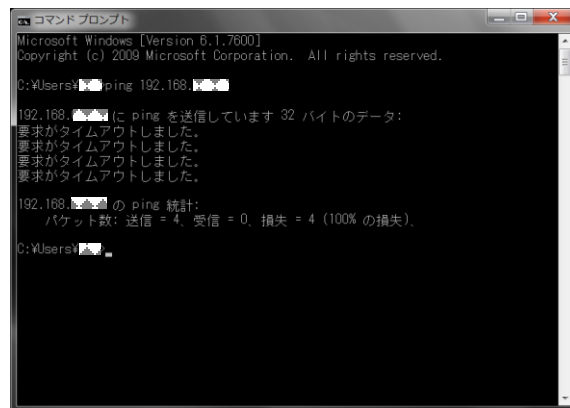
・211.129.*.*からの応答: バイト数=32 時間=210ms TTL=127
・Reply from 211.129.*.*: bytes=32 time=210ms TTL=127
※下線部の数値は環境によって違います。

正常メッセージが出れば問題はありません。

【主なエラーメッセージ】

・要求がタイムアウトしました。	・Request timed out.
・転送中に TTL が期限切れになりました。	・TTL expired in transit.
・宛先ホストに到達できません。	・Destination host unreachable.
・宛先ネットワークに到達できません。	・Destination net unreachable.

エラーメッセージが出た場合、故障の可能性があります。



3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-3. 故障かな、と思ったら メイン回線としてご利用時のみ必須

STEP4 保守窓口への申告

これまでのSTEP 1～STEP 3の確認ステップ後も問題が解消されなかった場合は、以下の窓口までお問い合わせ願います。



「STEP 1：モバイル端末(機器のランプ状態)の確認」において、正常性が確認できた。



「STEP 2：ケーブル接続(機器のランプ状態)の確認」において、正常性が確認できた。



「STEP 3：Ping試験の実施」において、手順 3 がNGとなった。

サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先

ご契約時にご案内しております「Universal Oneサービスご利用内容のご案内兼内容確認票」内の「故障時連絡先」をご確認いただき、お問い合わせください。

ご不明な場合は、東京オペレーションセンタ【TEL】0120-007-003(受付時間:24時間365日)までお問い合わせください。



お問い合わせ前に以下をご確認ください！

- ・お客さまより、故障申告をいただいた場合、切り分け作業を行う際に問診・確認等をさせていただくことがございます。円滑なサポートをご提供するために、下記内容を事前にご確認いただきますようお願い申し上げます。
- ・切り分け作業の結果機器の交換が必要と判断した場合、新たな機器をお客様に送付の上、故障した機器を後日回収に伺います。機器の再送付先および回収先のご住所を、お問い合わせ時にご指定ください。

●お客さま情報

- ☐ お客さま名(ご契約社名)
- ☐ お問い合わせご担当者名／ご連絡先
- ☐ 管理ID(V番、N番)
- ☐ 故障申告内容
- ☐ Universal Oneターミナル等のランプ状態

3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-4. その他の注意事項

1. 設計時の注意事項

(1) 通信規格・プロトコルについて

利用可能なプロトコルについて	RFC及びITU-T等に定められたTCP/UDP/ICMPプロトコルが利用可能です。その他のプロトコルについては、利用を保証しておりません。
MTU上限値、MSS設定値について	• MTU値を超えたパケットで通信を行った場合、フラグメント(パケット長超過によるパケットの分割)が多発し通信速度が低下したり、通信不可となったりする場合があります。 • 推奨MTU値は、ベストエフォートアクセスと同様に1340byteとなります。 • 推奨MTU値を超えたパケットで通信を行った場合、フラグメント(パケット長超過によるパケットの分割)が多発し通信速度が低下したり、通信不可となる場合があります。 • ワイヤレスアクセスにおけるMSS値は、1300byteを設定しております。

(2) その他の注意事項

提供エリアについて	• ご利用時にはNTTドコモのサービス提供エリアで通信を行う必要があります。
ご利用上の注意点	• 本アクセスご利用時は、遅延やゆらぎ等により特定のアプリケーションが使えない場合があります。 • 故意にバックアップ通信を長時間行う等の想定外の利用を継続した場合は、バックアップ通信の制限を行う場合があります。 • 本アクセスは、弊社からレンタル提供するモバイル端末のみご利用いただけます。 • ワイヤレス回線のみでのサービス提供は行いません。 • ターミナルまでの正常性確認などの為に、契約容量の一部(正常時の目安として80Mbyte程度/月となります。但しご利用状態により変動します)を監視目的で弊社が利用させていただきます。

2. 禁止事項

回線負荷試験の禁止について	負荷発生装置等を用い、通常では起こり得ないようなパケットを大量に送信する行為については禁止となります。 例) 1. 大量のフラグメントパケットをUniversal One網に対して一方的に送信する事 2. 応答確認を待たないで大量のパケットをUniversal One網に対して一方的に送信する事 3. 申込書記載以外のアドレスに対するパケットの送信 4. その他、Universal One網に対して影響を及ぼす行為全般
---------------	---

3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-4. その他の注意事項

3. 開通に関する注意事項

開通試験に関して	【メイン回線としてご契約の場合】 ・回線のご利用に必要な機器を、お申込み戴いた「ご利用開始希望日」の前日までに同じくお申込み戴いた「ご利用場所住所」に送付させて戴きます。 ・郵便事情等により機器の到着が遅れる場合は弊社営業担当者までお問い合わせください。 ・機器の設置工事につきましては、お客様にて実施いただきます。また、ご利用場所の変更時はお客様にて機器の移設工事を実施ください。（弊社へのお申込みは不要です。） ・お申込み戴いた「ご利用開始希望日」より、サービスのご利用及び課金開始とさせていただきます。 【バックアップ回線としてご契約の場合】 ・開通試験につきましては、設置日当日、工事担当者にて各開通確認試験を行います。開通確認試験の結果、通信品質が弊社の定める基準に満たない場合には開通とならない場合があります。ただし、お客様の合意があった場合には開通とみなし、その際のサービス提供品質は開通試験時の品質が保守対応基準となります事をご了承ください。また、お客様側に起因するような原因の如何においては開通とみなし、通常通り課金を始める場合もございます事をご了承下さい。
SIMカード、モバイル端末について	・弊社から提供するモバイル端末およびSIMカードはレンタル品です。管理については十分にご注意ください。次頁の「6. SIMカード、モバイル端末について」も合わせてお読みください。

4. 運用・保守に関する注意事項

(1) 運用について

保守運用について	【メイン回線としてご契約の場合】 ・新たな機器の送付により故障対応をさせていただきます。新たな機器の送付には2営業日程度かかります。 ・新たな機器を送付する際には、SIMカードを同梱しておりません。機器送付時に同梱しております設置ガイドの手順に従い、SIMカードの差し替えをお客様にて実施願います。
モバイル端末紛失時の緊急利用停止について	利用停止期間も月額料金が発生します
SIMカードの再発行について	・SIMカードの紛失または故障による再発行の場合は、2週間程度かかります。また、その間本サービスのご利用ができなくなります。

(2) 保守・故障通知について

保守用の設定について	開通試験、及び故障時の切り分け等のため、全てのお客様の回線に弊社保守用回線から接続が可能な設定を行います。
故障通知メールについて	【メイン回線としてご契約の場合】 ・無線通信の特性により通信、が不安定な場所等において故障通知メールが頻繁に送付される場合がございます事をご了承ください。 ・故障通知メールの送付有無につきましては、「NTTドコモビジネス ビジネスポータル」サイトよりお客様にてご変更ください。
故障情報について	【メイン回線としてご契約の場合】 ・NTT ドコモビジネス公式HPより閲覧可能です。 詳細は下記URLを参照願います。 https://support.ntt.com/vpn-besteffort-wireless

3-5. ワイヤレスアクセスのご利用方法

3-5-4. その他の注意事項

5. 安全に関する注意事項

ご注意いただきたい電子機器の例	高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。 【電子機器の例】 補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医療電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
病院等の医療機関内や医療電気機器の近くでのご利用について	・「医療電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話などの使用に関する指針」(電波環境協議会(旧不要電波問題対策協議会))に準じます。 ・手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈疾患監視病室(CCU)には、ワイヤレス回線の設置はしないでください。 ・医療電気機器が誤動作するなどの影響を与える場合がありますので、病院等の医療機関にワイヤレス回線を設置する場合はご注意ください。
医療電気機器をご使用中の方へ	・植込み型心臓ペースメーカー、及び植込み型除細動器は、携帯電話などの無線機器を使用したとき、それらの出す電波により影響を受ける可能性があります。同様にワイヤレス回線のご利用時にも電波の影響を受ける可能性がありますので、植込み型医療機器とターミナルの距離は22cm程度以上離してください。 ・植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療電気機器についても電波による影響を受ける可能性がありますので、医療電気機器製造業者などへ確認してください。

6. SIMカード、モバイル端末について

モバイル端末、SIMカードの返却について	・モバイル端末・SIMカードは、機器交換や解約等の際、ご返却いただきます。万が一、破損・紛失の場合は、弁済金を弊社から請求させて頂く場合がございます。なお、本体付属品であるモバイル端末については、サービスご利用開始日より3年超過した場合、返却は不要です。お客さまにてご不要の場合は本体と一緒にご返却ください。弊社にて処分させていただきます。
----------------------	--

7. その他注意事項

その他のご注意	一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くでワイヤレス回線を使用すると、影響を与える場合があります。ターミナルの設置場所にはご注意ください。
---------	---

3. サービスのご利用方法について

3 – 6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-1. 機器諸元

概観図・機器諸元

- 記載内容は、2023年3月現在のものです。
- 表記のサービス/仕様内容は予告なく変更することがあります。

・本サービスでは、以下の機器をレンタルにてご提供します。

Universal Oneターミナル I 型

■ センチュリー・システムズ社製 FutureNet NXR-125/CX



電源	ACアダプタ入力電圧：AC100V±10%、平行2ピン、周波数：50Hz/60Hz、平均消費電力：約8.5W(本体のみ)
本体サイズ	高さ×幅×奥行き：33mm × 174mm × 111mm
重量	340g(本体)
動作環境	温度：0～40℃ 湿度：10～90%(結露なきこと)

■ センチュリー・システムズ社製 FutureNet NXR-230/C



電源	ACアダプタ入力電圧：AC100V±10%、平行2ピン、周波数：50Hz/60Hz、平均消費電力：約11W(本体のみ)
本体サイズ	高さ×幅×奥行き：33mm × 174mm × 111mm
重量	520g(本体)
動作環境	温度：0～40℃ 湿度：10～90%(結露なきこと)

■ センチュリー・システムズ社製 FutureNet NXR-530



電源	ACアダプタ入力電圧：AC100V±10%、平行2ピン、周波数：50Hz/60Hz±3Hz、最大消費電力：約8.1W(本体のみ)
本体サイズ	高さ×幅×奥行き：33mm × 174mm × 111mm
重量	340g(本体)
動作環境	温度：0～40℃ 湿度：10～90%(結露なきこと)

⚠ 本体のお取り扱いについて

ご注意

- ターミナル本体のゴム足を下にして、水平に設置してください。また、ターミナル本体およびACアダプタは、ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
- 本体に物を置いたりして、通気孔を塞がないでください。
- 本体や他の機器を上下に重ねないでください。熱がこもり、故障等の原因になります。
- ターミナル本体または内部に、水や塩水など液体がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。
- ターミナル本体または内部に、異物やほこり等が入らない場所に設置してください。
- 直射日光が当たるところや高温多湿になるところに設置しないようにしてください。
- 電源プラグの金属部分およびその周辺にほこり等の付着物がある場合には、乾いた布でよく拭き取ってからご使用ください。時々、電極間に、ほこりやゴミが溜まっていないかご点検ください。
- 電源には、必ず付属のACアダプタをご使用ください。
- ターミナル本体の分解、改造は絶対に行わないでください。

⚠ 機器の梱包類についてお客さまへのお願い

ご注意

機器が梱包されていた、箱や緩衝材は廃棄せず返却時まで保管してください。機器故障や解約等のご返却時、この梱包類でご返却いただきます。梱包類を紛失した場合は、恐れ入りますがお客さまにてダンボール箱や緩衝材等をご用意いただき、破損のないよう梱包してください。返却物は弊社から提供しているレンタル品です。万が一、破損や紛失等されますと弁済金を請求させていただきます。

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-1. 機器諸元

概観図・機器諸元

- 記載内容は、2018年12月現在のものです。
- 表記のサービス/仕様内容は予告なく変更することがあります。

・本サービスでは、以下の機器をレンタルにてご提供します。

Universal Oneターミナル I 型エントリー

■ ヤマハ社製 RTX810



電源	AC100 V(50/60 Hz)平行2ピン、 最大11W
本体 サイズ	高さ×幅×奥行き： 42.6mm × 220mm × 160.5mm
重量	870g(本体)
動作 環境	温度：0 ～ 50℃ 湿度：15～80%(結露なきこと)

■ ヤマハ社製 RTX830



電源	AC100 V(50/60 Hz)平行2ピン、 最大11W
本体 サイズ	高さ×幅×奥行き： 43.5mm × 220mm × 160mm
重量	1100g(本体)
動作 環境	温度：0 ～ 50℃ 湿度：15～80%(結露なきこと)



ご注意

本体のお取り扱いについて

- ターミナル本体のゴム足を下にして、水平に設置してください。また、ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
- 本体や他の機器を上下に重ねないでください。熱がこもり、故障等の原因になります。
- ターミナル本体または内部に、水や塩水など液体がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。
- ターミナル本体または内部に、異物やほこり等が入らない場所に設置してください。
- 直射日光が当たるところや高温多湿になるところに設置しないようにしてください。
- 電源プラグの金属部分およびその周辺にほこり等の付着物がある場合には、乾いた布でよく拭き取ってからご使用ください。時々、電極間に、ほこりやゴミが溜まっていないかご点検ください。
- ターミナル本体の分解、改造は絶対に行わないでください。



ご注意

機器の梱包類についてお客さまへのお願い

機器が梱包されていた、箱や緩衝材は廃棄せず返却時まで保管してください。機器故障や解約等のご返却時、この梱包類でご返却いただきます。梱包類を紛失した場合は、恐れ入りますがお客さまにてダンボール箱や緩衝材等をご用意いただき、破損のないよう梱包してください。返却物は弊社から提供しているレンタル品です。万が一、破損や紛失等されますと弁済金を請求させていただきます。

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-1. 機器諸元

概観図・機器諸元

・本サービスでは、以下の機器をレンタルにてご提供します。

- 記載内容は、2022年6月現在のものです。
- 表記のサービス/仕様内容は予告なく変更することがあります。

Communication ターミナル I 型

■ ヤマハ社製 RTX830



電源	AC100V(50/60Hz)平行2ピン、 最大11W
本体 サイズ	高さ×幅×奥行き： 43.5mm × 220mm × 160mm
重量	1100g(本体)
動作 環境	温度：0 ～ 50℃ 湿度：15～80%(結露なきこと)

■ センチュリー・システムズ社製 NXR-530



電源	ACアダプタ入力電圧：AC100V±10%、平行2ピン、 周波数：50Hz/60Hz±3Hz、最大消費電力：約 8.1W(本体のみ)
本体サイズ	高さ×幅×奥行き：33mm × 174mm × 111mm
重量	340g(本体)
動作 環境	温度：0 ～ 40℃ 湿度：10～90%(結露なきこと)



ご注意

本体のお取り扱いについて

- ターミナル本体のゴム足を下にして、水平に設置してください。また、ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
- 本体や他の機器を上下に重ねないでください。熱がこもり、故障等の原因になります。
- ターミナル本体または内部に、水や塩水など液体がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。
- ターミナル本体または内部に、異物やほこり等が入らない場所に設置してください。
- 直射日光が当たるところや高温多湿になるところに設置しないようにしてください。
- 電源プラグの金属部分およびその周辺にほこり等の付着物がある場合には、乾いた布でよく拭き取ってからご使用ください。時々、電極間に、ほこりやゴミが溜まっていないかご点検ください。
- ターミナル本体の分解、改造は絶対に行わないでください。
- 電源には、必ず付属のACアダプタや電源ケーブルをご使用ください。



ご注意

機器の梱包類についてお客さまへのお願い

機器が梱包されていた、箱や緩衝材は廃棄せず返却時まで保管してください。機器故障や解約等のご返却時、この梱包類でご返却いただきます。梱包類を紛失した場合は、恐れ入りますがお客さまにてダンボール箱や緩衝材等をご用意いただき、破損のないよう梱包してください。返却物は弊社から提供しているレンタル品です。万が一、破損や紛失等されますと弁済金を請求させていただきます。

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

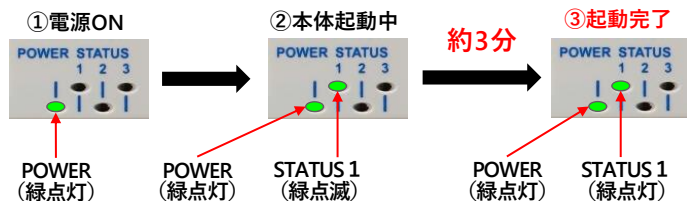
3-6-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

【1】-1. ギャランティプラン、バーストプランにおいて、ワイヤレスバックアップご利用の場合

Universal Oneターミナル I 型（メーカー機種名：NXR-530）

下図をご参照いただき、①～⑤のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

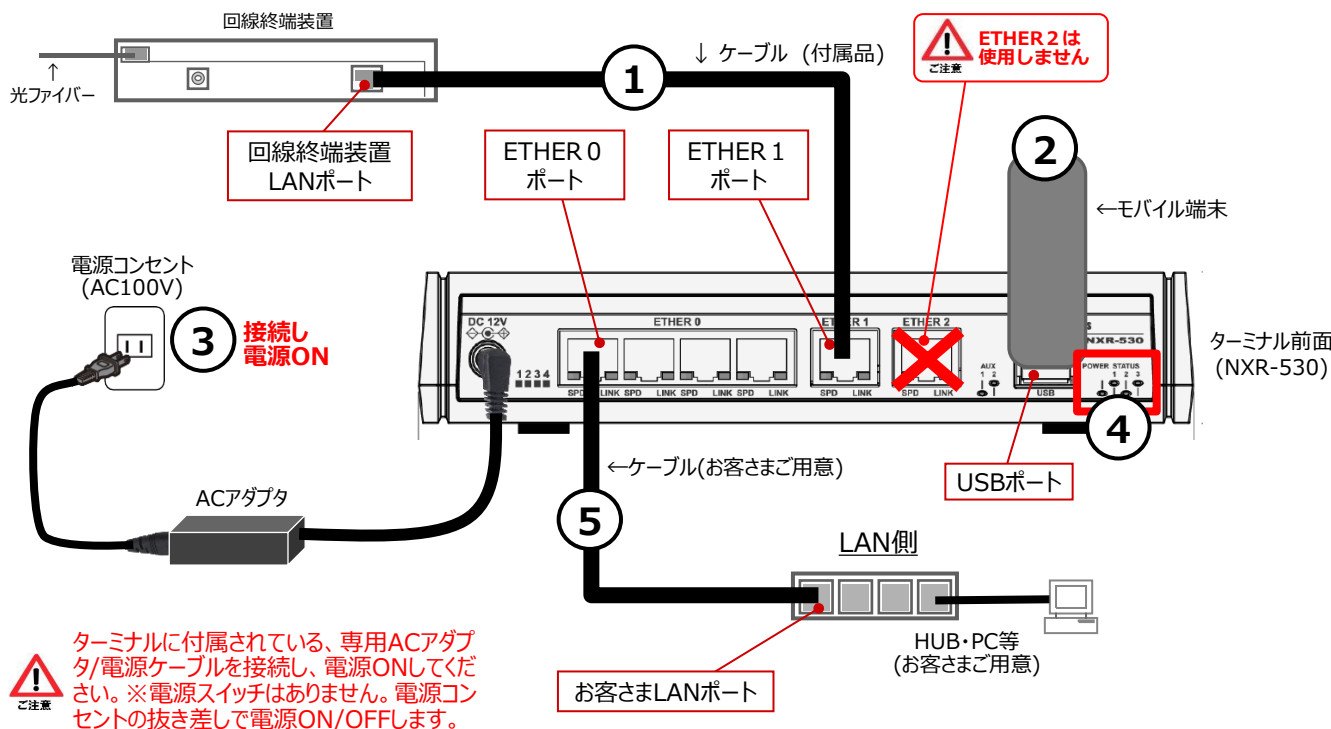
- ① 回線終端装置(ONU等)の「LANポート」と、ターミナルの「ETHER1(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ② 「モバイル端末」を、ターミナルの「USBポート」に差し込む。
- ③ 付属のACアダプタ/電源ケーブルを、本体と電源コンセントに接続し、電源ONしてください。
本製品に電源スイッチはありません。電源コンセントに接続すると電源ONになります。
- ④ 上記、①～③の接続作業完了後、機器起動完了まで「**約3分間**」そのままお待ちください。
起動が完了するまでのランプ状態は以下のとおりです。なお、起動状況により、ランプ状態が変動する場合がございます。



⚠ ご注意 起動が完了するまで、接続したケーブルの抜き差しや電源ON/OFF等を行わないでください。正常に起動完了しなかった場合は、ケーブルや電源はそのままの状態にし、本ガイド「4. 各種お問い合わせ先」に記載の、「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

- ⑤ 「お客さまLANポート」と、ターミナルの「ETHER0(LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。

※上記以外の箇所のランプ状態については、3-6-3 項参照。



ターミナルに付属されている、専用ACアダプタ/電源ケーブルを接続し、電源ONしてください。※電源スイッチはありません。電源コンセントの抜き差しで電源ON/OFFします。

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

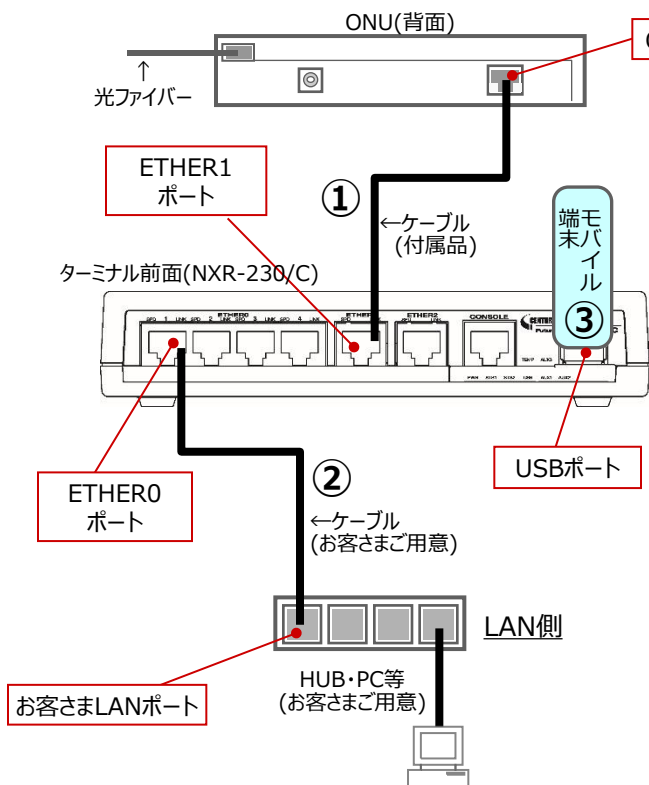
【1】-1. ギャランティプラン、バーストプラン、ベストエフォートプランにおいて、ワイヤレスバックアップご利用の場合

Universal Oneターミナル I 型（メーカー機種名：NXR-230/C）

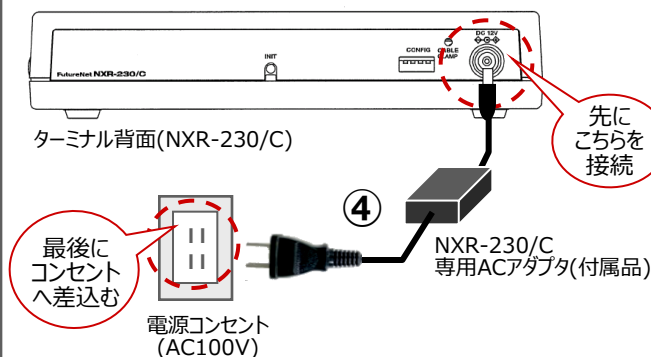
下図をご参照いただき、①～⑤のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONUの「LANポート」と、ターミナルの「ETHER1(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ② 「お客さまLANポート」と、ターミナルの「ETHER0(LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ③ 「モバイル端末」を、ターミナルの「USBポート」に差し込む。
- ④ 付属の専用ACアダプタを、ターミナルと、電源コンセントに接続。
- ⑤ 上記①～④の接続作業完了後、機器起動完了まで「5 分間」そのままお待ちください。

※ ランプ状態は 3-6-3 項参照



! 注意
すべてのケーブルの結線が完了した後、ターミナルに付属されている、専用ACアダプタを接続し、電源ONしてください。※なお、電源スイッチはありません。専用ACアダプタの抜き差しで電源ON/OFFとなります。



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

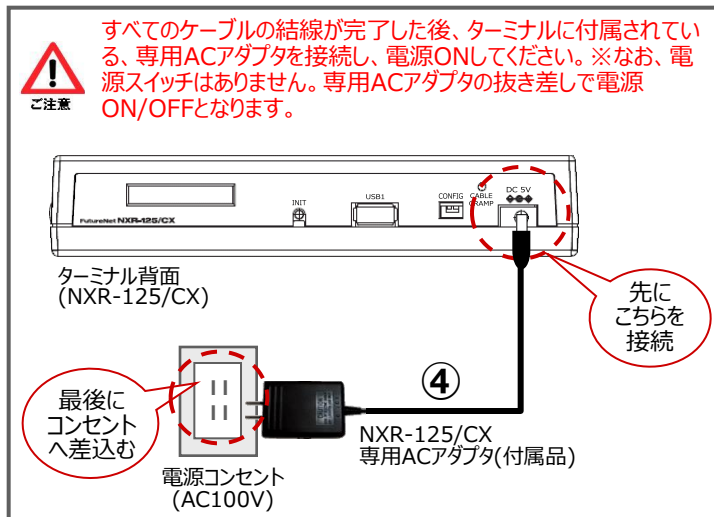
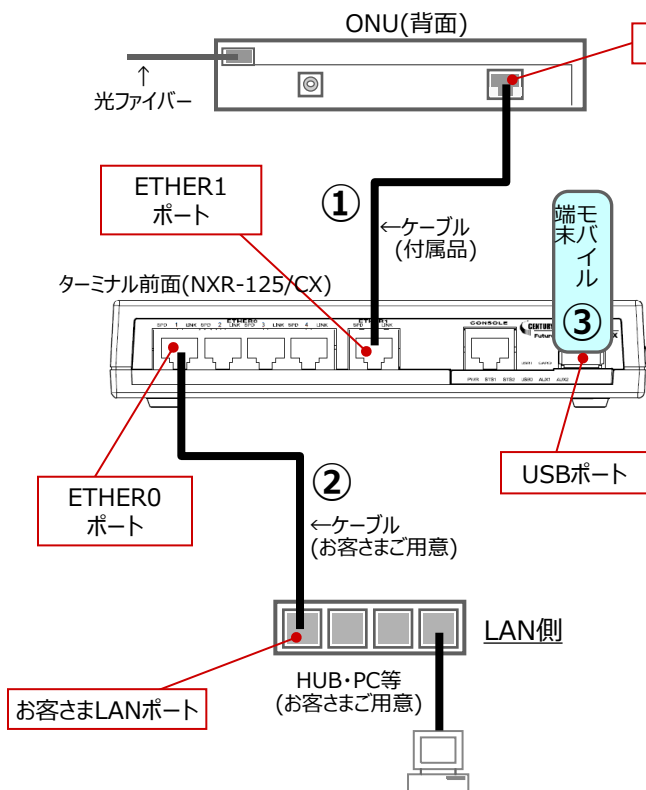
【1】-1. ギャランティプラン、バーストプラン、ベストエフォートプランにおいて、ワイヤレスバックアップご利用の場合

Universal Oneターミナル I 型（メーカー機種名：NXR-125/CX）

下図をご参照いただき、①～⑤のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONUの「LANポート」と、ターミナルの「ETHER1(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ② 「お客さまLANポート」と、ターミナルの「ETHER0(LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ③ 「モバイル端末」を、ターミナルの「USBポート」に差し込む。
- ④ 付属の専用ACアダプタを、ターミナルと、電源コンセントに接続。
- ⑤ 上記、①～④の接続作業完了後、機器起動完了まで「5分間」そのままお待ちください。

※ ランプ状態は3-6-3項参照



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

【1】-2. ベストエフォートプランにおいて、ワイヤレスバックアップご利用の場合

Universal Oneターミナル I 型（メーカー機種名：NXR-530）

下図をご参照いただき、①～⑤のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① 回線終端装置(ONU等)の「LANポート」と、ターミナルの「ETHER1(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ② 「モバイル端末」を、ターミナルの「USBポート」に差し込む。
- ③ 付属のACアダプタ/電源ケーブルを、本体と電源コンセントに接続し、電源ONしてください。
本製品に電源スイッチはありません。電源コンセントに接続すると電源ONになります。
- ④ 上記、①～③の接続作業完了後、機器起動完了まで「約10分間」そのままお待ちください。
起動が完了するまでのランプ状態は以下のとおりです。なお、起動状況や情報取得状態により、ランプ状態が変動する場合がございます。

【電源ON時】



POWER
(緑点灯)

【情報取得中】



POWER
(緑点灯) STATUS1
(緑点灯/点滅) STATUS3
(赤点滅)

約10分

【起動完了】



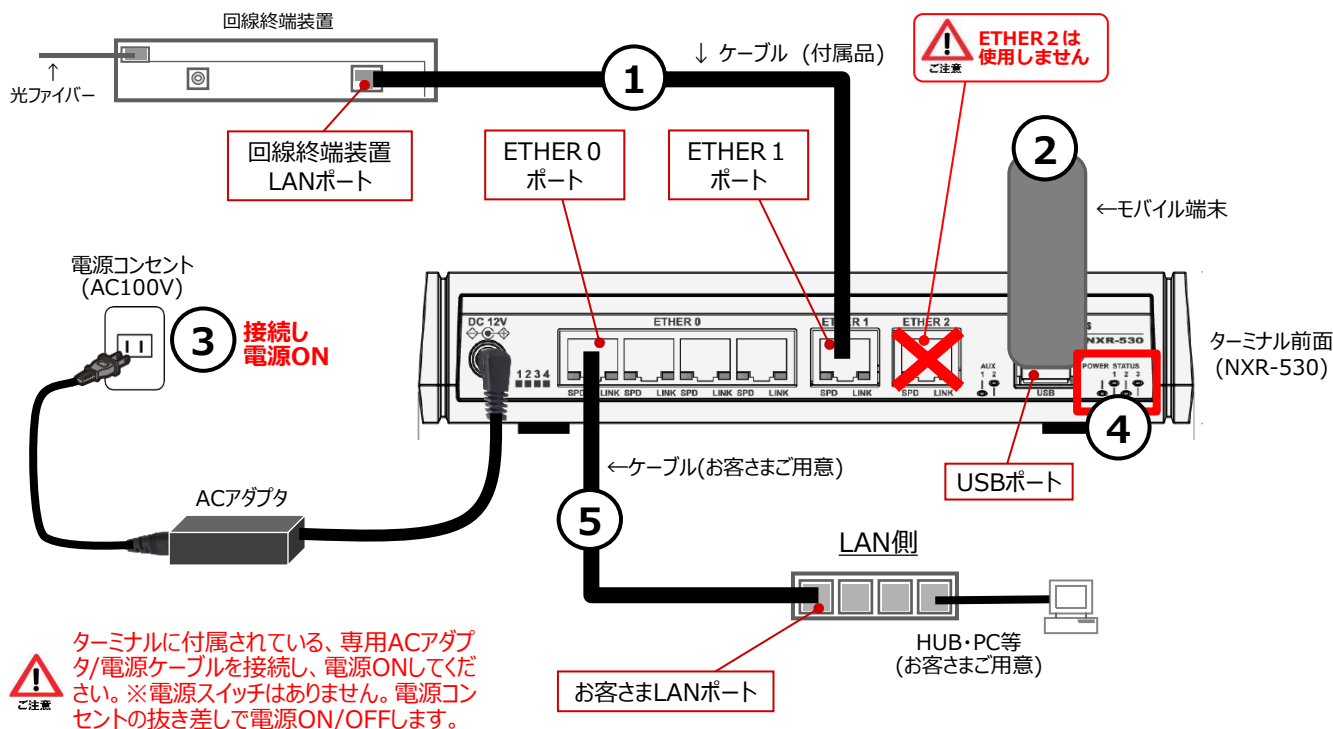
POWER
(緑点灯) STATUS1
(緑点灯) STATUS3
(消灯)



起動が完了するまで、接続したケーブルの抜き差しや電源ON/OFF等を行わないでください。正常に起動完了しない場合がございます。万が一、正常に起動完了しなかった場合は、ケーブルや電源はそのままの状態にし、本ガイド「4. 各種お問い合わせ先」に記載の、「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

※上記以外の箇所のランプ状態については、3-6-3 項参照。

- ⑤ 「お客様LANポート」と、ターミナルの「ETHER0(LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

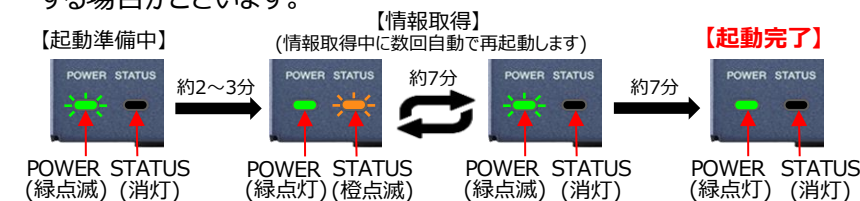
3-6-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

【1】-2. ベストエフォートプランにおいて、ワイヤレスバックアップご利用の場合

Universal Oneターミナル I 型エントリー (メーカー機種名: RTX830)
Communication ターミナル I 型 (メーカー機種名: RTX830)

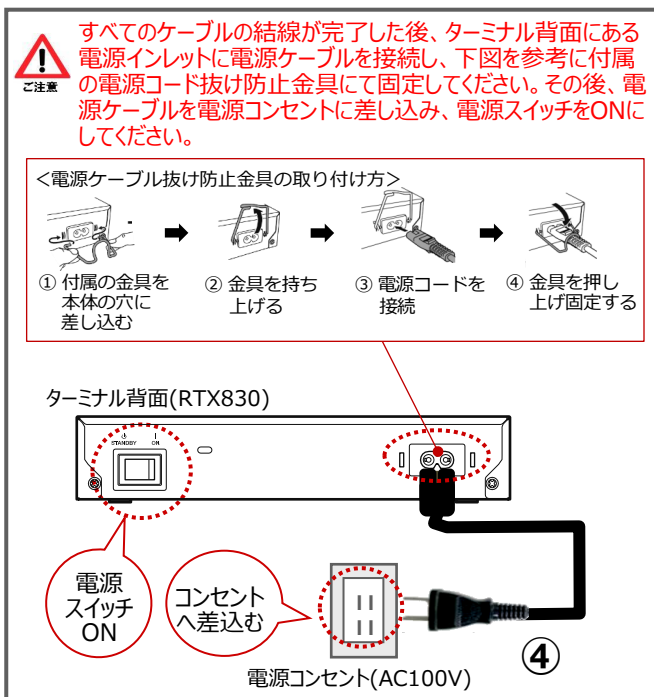
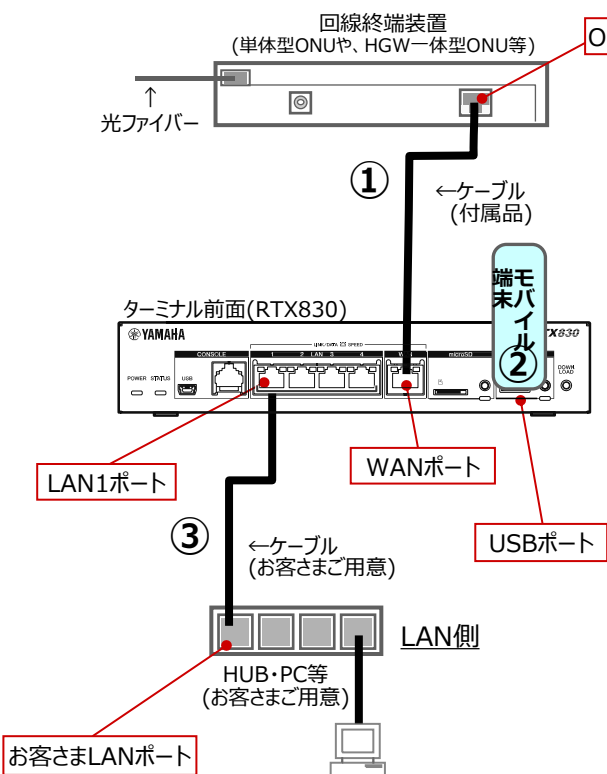
下図をご参照いただき、①～⑤のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① 回線終端装置(ONU等)の「LANポート」と、ターミナルの「WANポート」を、ケーブルで接続。
※アクセス回線にIPoEをご契約の場合で、NTT東日本・西日本のひかり電話を併用してご契約の場合は、IPv6 IPoE対応のひかり電話対応機器にターミナルを接続してください。
- ② 「モバイル端末」を、ターミナルの「USBポート」に差し込む。
- ③ 「お客さまLANポート」と、ターミナルの「LANポート」を、ケーブルで接続。
- ④ ターミナルの電源ケーブルを、ターミナル本体と電源コンセントに接続し、電源ONする。
- ⑤ 上記、①～④の接続作業完了後、機器起動完了まで「**約10分間**」そのままお待ちください。
起動が完了するまでのランプ状態は以下のとおりです。なお、起動状況や情報取得状態により、ランプ状態が変動する場合がございます。



⚠ ご注意 起動が完了するまで、接続したケーブルの抜き差しや電源ON/OFF等を行わないでください。正常に起動完了しない場合がございます。万が一、正常に起動完了しなかった場合は、ケーブルや電源はそのままの状態にし、本ガイド「4. 各種お問い合わせ先」に記載の、「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

※上記以外の箇所のランプ状態については、3-6-3 項参照。



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

【1】-2. ベストエフォートプランにおいて、ワイヤレスバックアップご利用の場合

Communication ターミナル I 型 (メーカー機種名 : NXR-530)

下図をご参照いただき、①～⑤のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① 回線終端装置(ONU等)の「LANポート」と、ターミナルの「ETHER1(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。※アクセス回線 (IPoE) を、NTT東日本・西日本のひかり電話を併用してご契約の場合は、IPv6 IPoE対応のひかり電話対応機器にターミナルを接続してください。
- ② 「モバイル端末」を、ターミナルの「USBポート」に差し込む。
- ③ 付属のACアダプタ/電源ケーブルを、本体と電源コンセントに接続し、電源ONしてください。本製品に電源スイッチはありません。電源コンセントに接続すると電源ONになります。
- ④ 上記、①～③の接続作業完了後、機器起動完了まで「**約10分間**」そのままお待ちください。起動が完了するまでのランプ状態は以下のとおりです。なお、起動状況や情報取得状態により、ランプ状態が変動する場合がございます。

【電源ON時】



POWER
(緑点灯)

※上記以外の箇所のランプ状態については、3-6-3項参照。

【情報取得中】



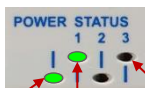
POWER
(緑点灯)

STATUS1
(緑点灯/点滅)

STATUS3
(赤点滅)

約10分

【起動完了】



POWER
(緑点灯)

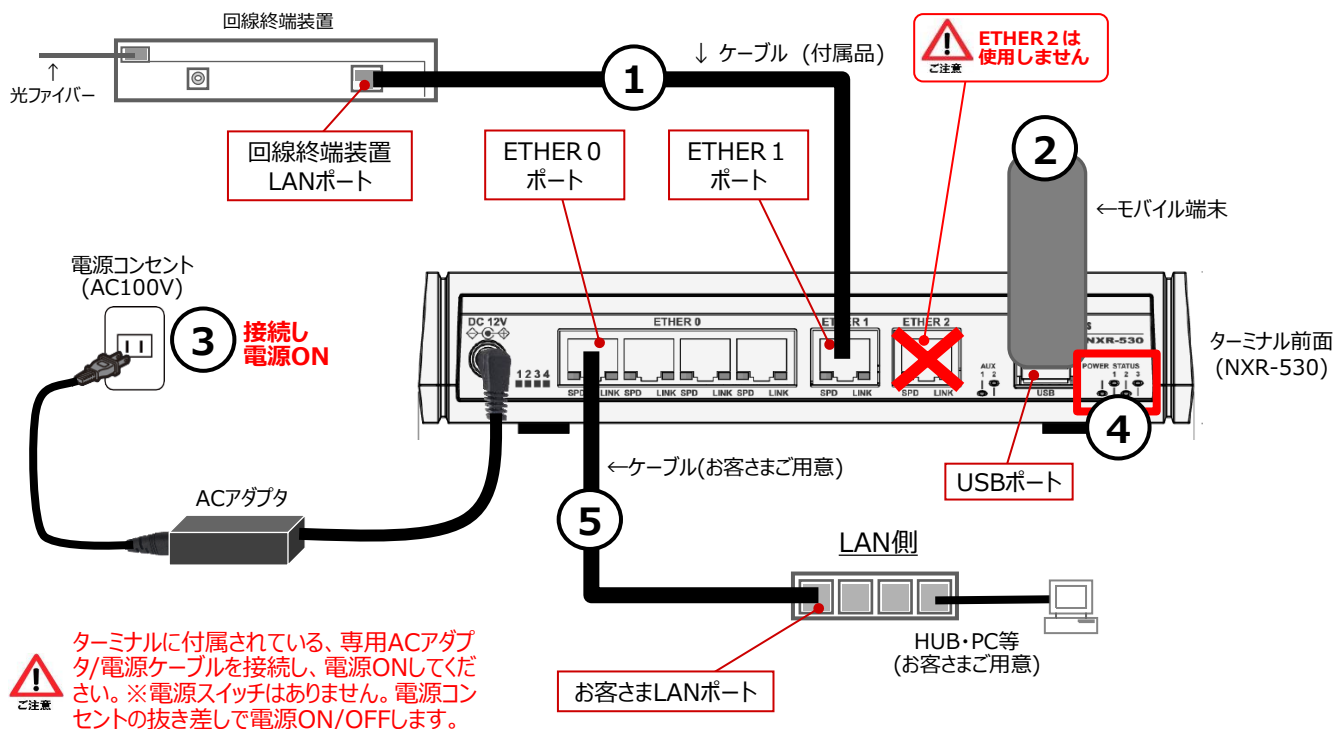
STATUS1
(緑点灯)

STATUS3
(消灯)



起動が完了するまで、接続したケーブルの抜き差しや電源ON/OFF等を行わないでください。正常に起動完了しない場合がございます。万が一、正常に起動完了しなかった場合は、ケーブルや電源はそのままの状態にし、本ガイド「4. 各種お問い合わせ先」に記載の、「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

- ⑤ 「お客様LANポート」と、ターミナルの「ETHER0(LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

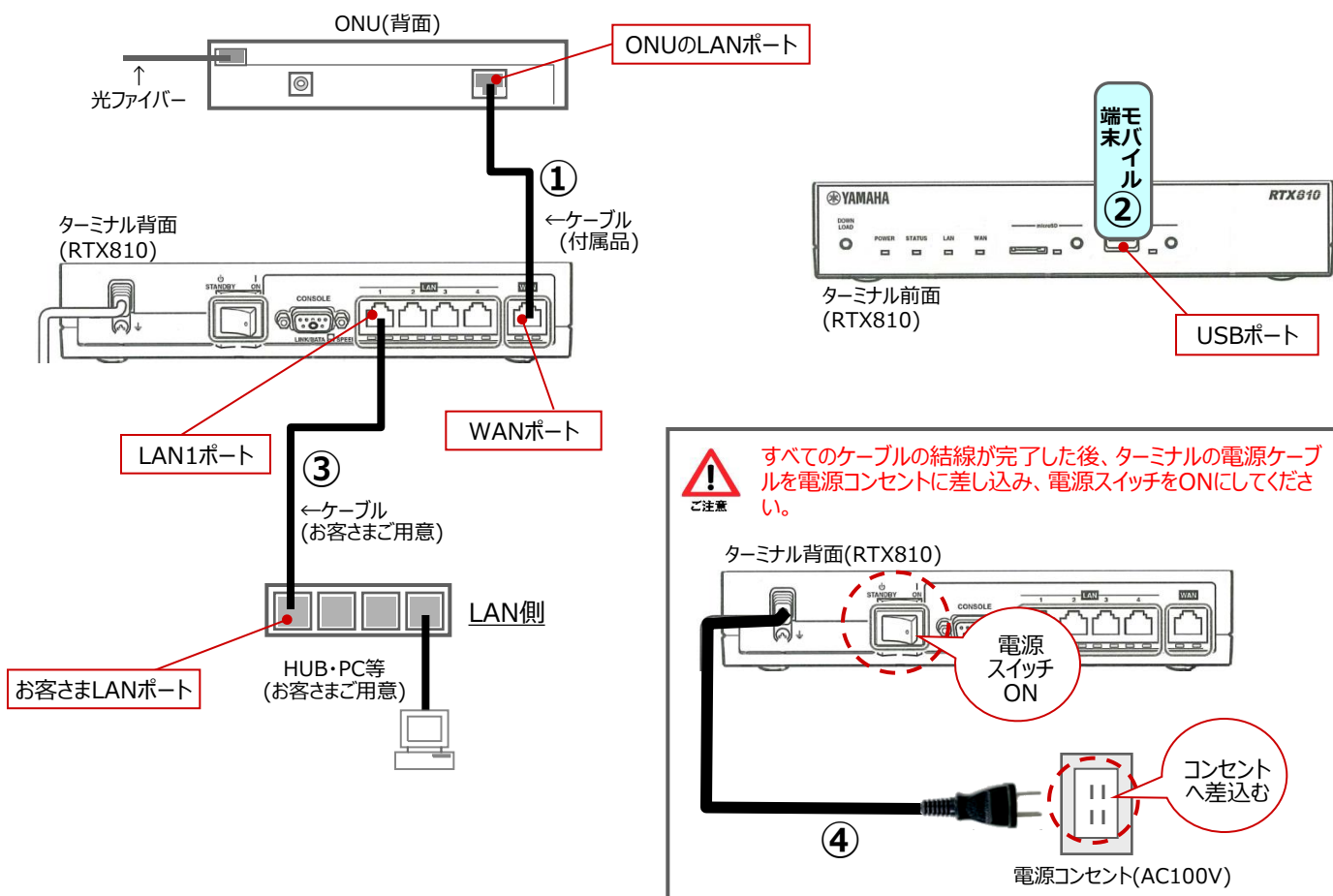
【1】-2. ベストエフォートプランにおいて、ワイヤレスバックアップご利用の場合

Universal Oneターミナル I 型エントリー (メーカー機種名 : RTX810)

下図をご参照いただき、①～⑤のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONUの「LANポート」と、ターミナルの「WANポート」を、ケーブルで接続。
- ② 「モバイル端末」を、ターミナルの「USBポート」に差し込む。
- ③ 「お客様LANポート」と、ターミナルの「LAN1ポート」を、ケーブルで接続。
- ④ ターミナルの電源ケーブルを、電源コンセントに接続。
- ⑤ 上記、①～④の接続作業完了後、機器起動完了まで「5分間」そのままお待ちください。

※ ランプ状態は3-6-3項参照



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

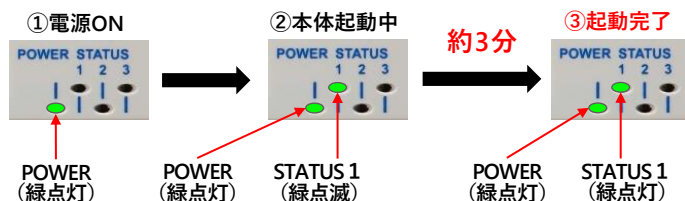
3-6-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

【2】-2. ギャランティプラン、バーストプランにおいて、バックアップ回線がない場合

Universal Oneターミナル I 型（メーカー機種名：NXR-530）

下図をご参照いただき、①～④のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

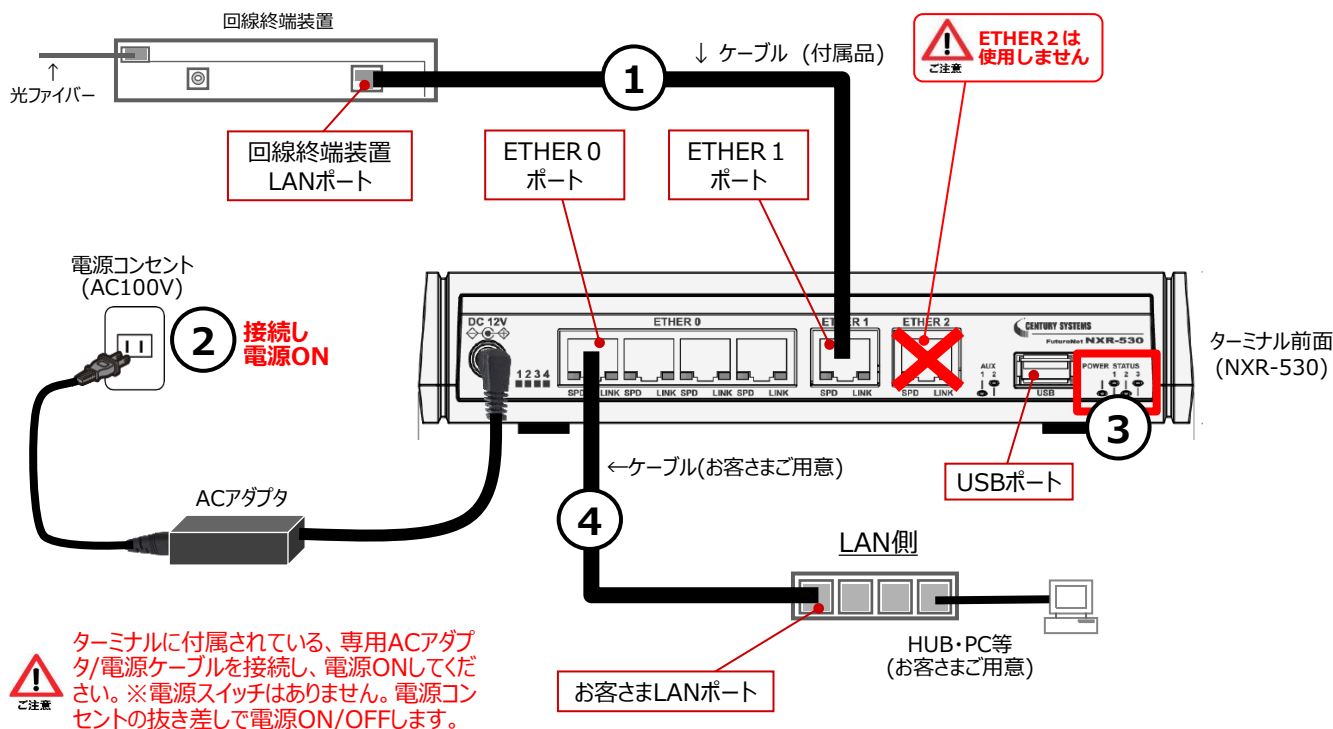
- ① 回線終端装置(ONU等)の「LANポート」と、ターミナルの「ETHER1(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ② 付属のACアダプタ/電源ケーブルを、本体と電源コンセントに接続し、電源ONしてください。
本製品に電源スイッチはありません。電源コンセントに接続すると電源ONになります。
- ③ 上記、①～③の接続作業完了後、機器起動完了まで「約3分間」そのままお待ちください。
起動が完了するまでのランプ状態は以下のとおりです。なお、起動状況や情報取得状態により、ランプ状態が変動する場合がございます。



⚠ ご注意
起動が完了するまで、接続したケーブルの抜き差しや電源ON/OFF等を行わないでください。正常に起動完了しない場合がございます。万が一、正常に起動完了しなかった場合は、ケーブルや電源はそのままの状態にし、本ガイド「4. 各種お問い合わせ先」に記載の、「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

※上記以外の箇所のランプ状態については、3-6-3項参照。

- ④ 「お客様LANポート」と、ターミナルの「ETHER0(LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

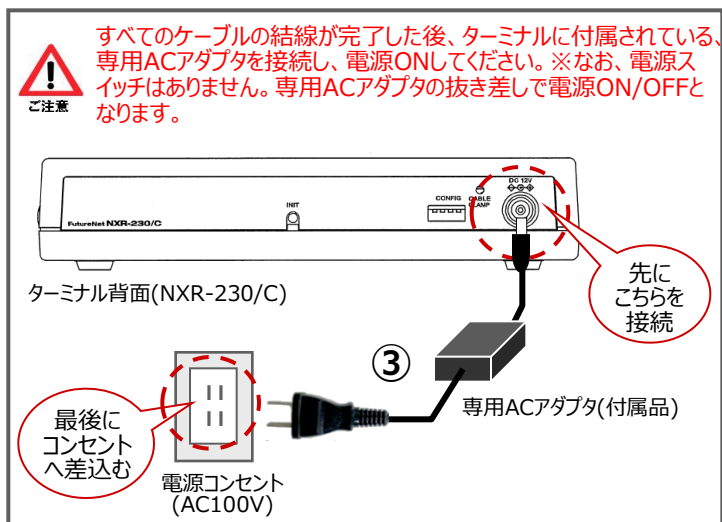
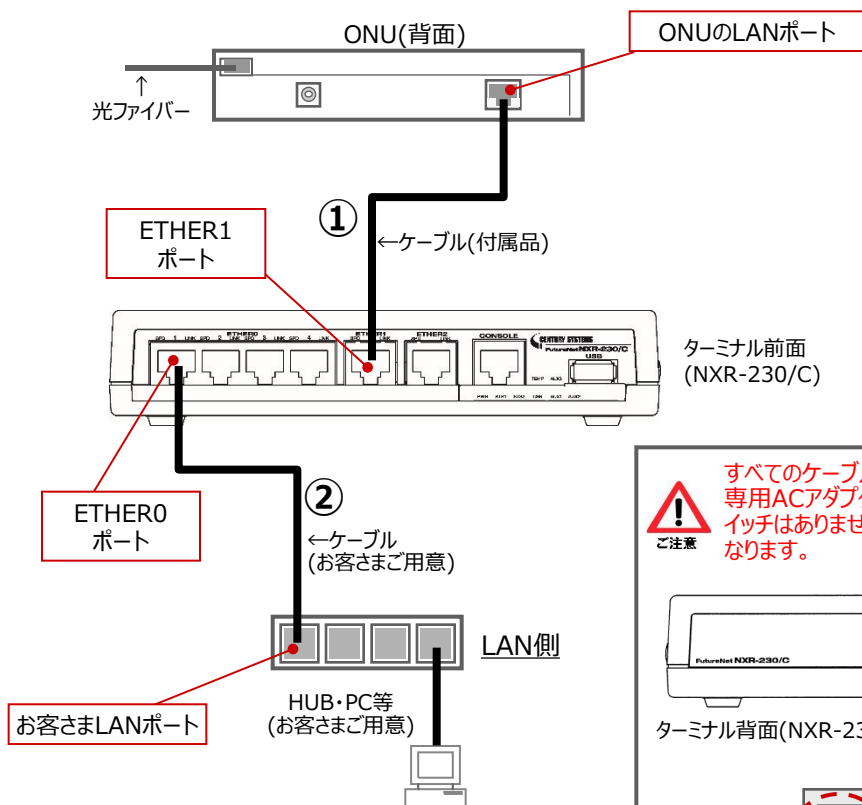
【2】-1. ギャランティプラン、バーストプラン、ベストエフォートプランにおいて、バックアップ回線がない場合

Universal Oneターミナル I 型 (メーカー機種名 : NXR-230/C)

下図をご参照いただき、①～④のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONUの「LANポート」と、ターミナルの「ETHER1(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ② 「お客様LANポート」と、ターミナルの「ETHER0(LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ③ 付属の専用ACアダプタを、ターミナルと、電源コンセントに接続。
- ④ 上記、①～③の接続作業完了後、機器起動完了まで「5分間」そのままお待ちください。

※ ランプ状態は3-6-3項参照



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

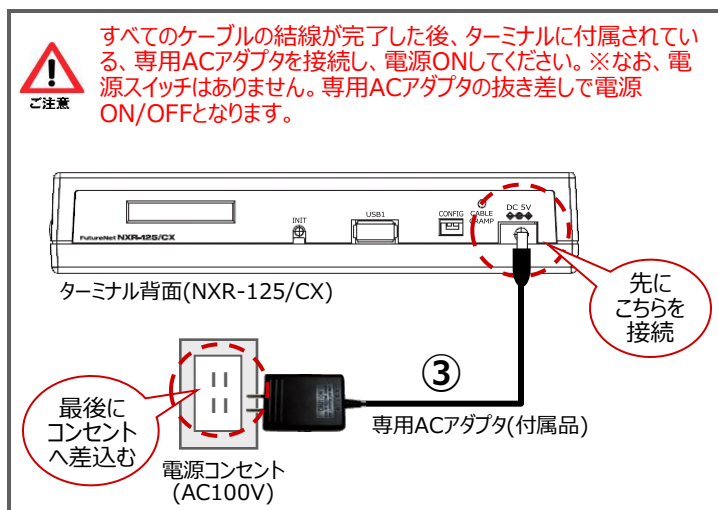
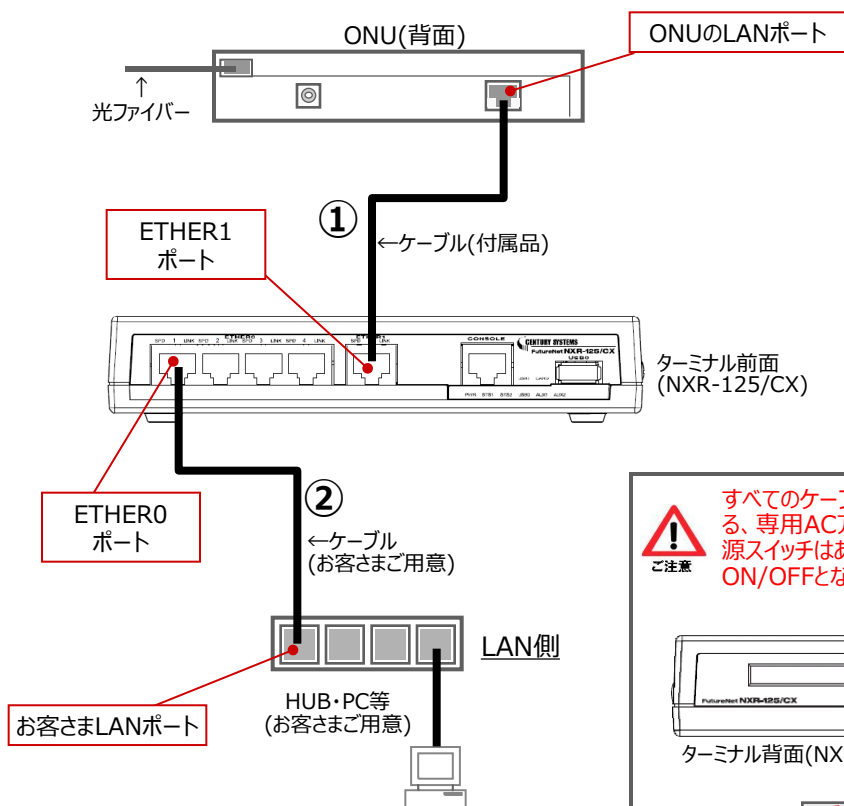
【2】-1. ギャランティプラン、バーストプラン、ベストエフォートプランにおいて、バックアップ回線がない場合

Universal Oneターミナル I 型(メーカー機種名 : NXR-125/CX)

下図をご参照いただき、①～④のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONUの「LANポート」と、ターミナルの「ETHER1(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ② 「お客様LANポート」と、ターミナルの「ETHER0(LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ③ 付属の専用ACアダプタを、ターミナルと、電源コンセントに接続。
- ④ 上記、①～③の接続作業完了後、機器起動完了まで「5分間」そのままお待ちください。

※ ランプ状態は3-6-3項参照



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

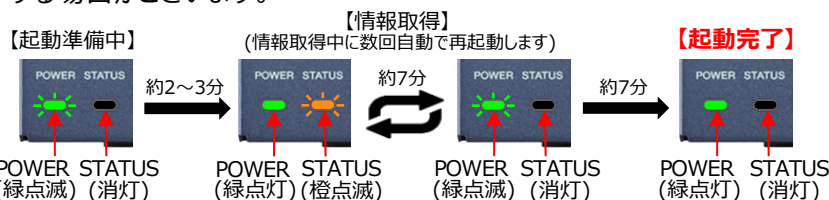
3-6-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

【2】-2. ベストエフォートプランにおいて、バックアップ回線がない場合

Universal Oneターミナル I 型エントリー (メーカー機種名: RTX830)
Communication ターミナル I 型 (メーカー機種名: RTX830)

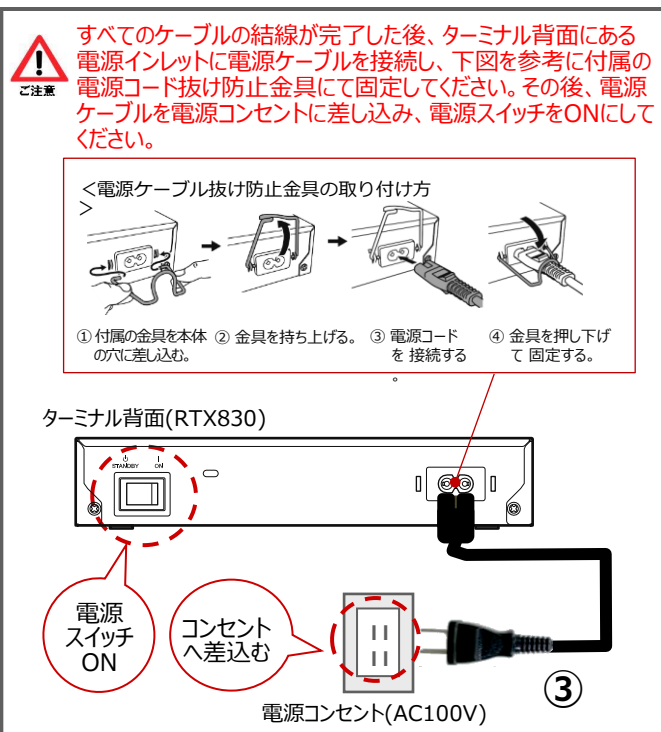
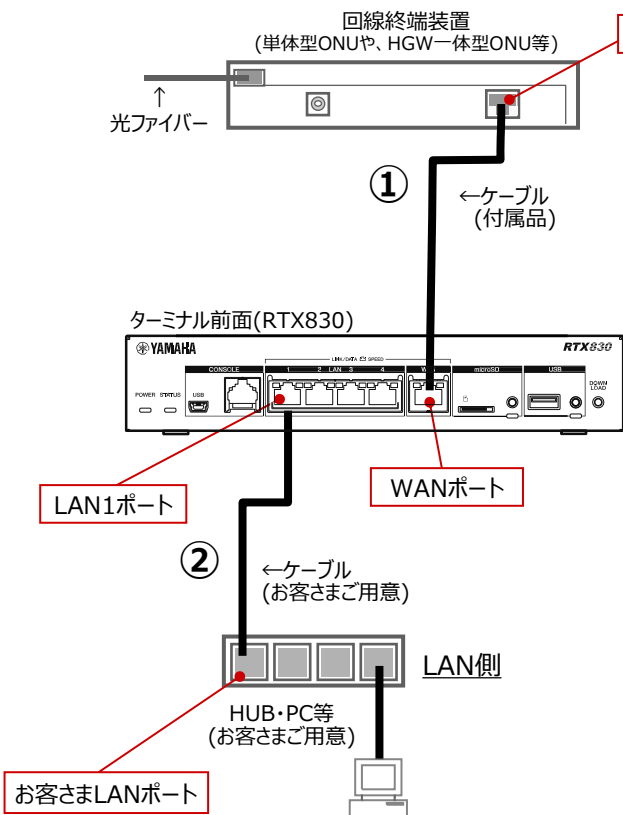
下図をご参照いただき、①～④のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① 回線終端装置(ONU等)の「LANポート」と、ターミナルの「WANポート」を、ケーブルで接続。
※アクセス回線にIPoEをご契約の場合で、NTT東日本・西日本のひかり電話を併用してご契約の場合は、IPv6 IPoE対応のひかり電話対応機器にターミナルを接続してください。
- ② 「お客さまLANポート」と、ターミナルの「LANポート」を、ケーブルで接続。
- ③ ターミナルの電源ケーブルを、ターミナル本体と電源コンセントに接続し、電源ONする。
- ④ 上記、①～③の接続作業完了後、機器起動完了まで「**10分間**」そのままお待ちください。
起動が完了するまでのランプ状態は以下のとおりです。なお、起動状況や情報取得状態により、ランプ状態が変動する場合がございます。



⚠ ご注意 起動が完了するまで、接続したケーブルの抜き差しや電源ON/OFF等を行わないでください。正常に起動完了しない場合がございます。万が一、正常に起動完了しなかった場合は、ケーブルや電源はそのままの状態にし、本ガイド「4.各種お問い合わせ先」に記載の、「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

※上記以外の箇所のランプ状態については、3-6-3項参照。



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

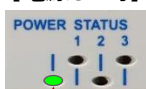
【2】-2. ベストエフォートプランにおいて、バックアップ回線がない場合

Communication ターミナル I 型 (メーカー機種名 : NXR-530)

下図をご参照いただき、①～④のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

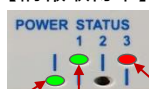
- ① 回線終端装置(ONU等)の「LANポート」と、ターミナルの「ETHER1(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。※アクセス回線 (IPoE) を、NTT東日本・西日本のひかり電話を併用してご契約の場合は、IPv6 IPoE対応のひかり電話対応機器にターミナルを接続してください。
- ② 付属のACアダプタ/電源ケーブルを、本体と電源コンセントに接続し、電源ONしてください。本製品に電源スイッチはありません。電源コンセントに接続すると電源ONになります。
- ③ 上記、①～③の接続作業完了後、機器起動完了まで「**約10分間**」そのままお待ちください。起動が完了するまでのランプ状態は以下のとおりです。なお、起動状況や情報取得状態により、ランプ状態が変動する場合がございます。

【電源ON時】



POWER
(緑点灯)

【情報取得中】



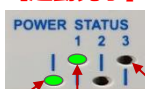
POWER
(緑点灯)

STATUS1
(緑点灯/点滅)

STATUS3
(赤点滅)

約10分

【起動完了】



POWER
(緑点灯)

STATUS1
(緑点灯)

STATUS3
(消灯)

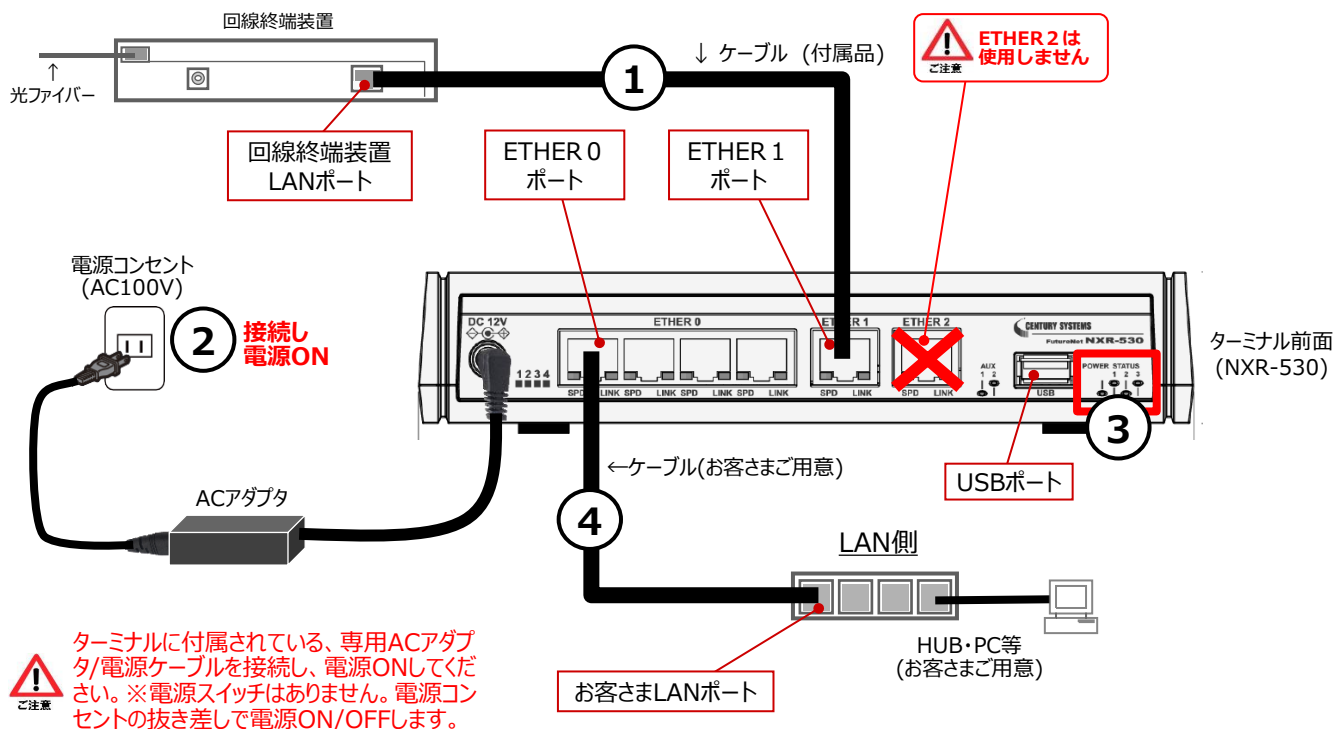


ご注意

起動が完了するまで、接続したケーブルの抜き差しや電源ON/OFF等を行わないでください。正常に起動完了しない場合がございます。万が一、正常に起動完了しなかった場合は、ケーブルや電源はそのままの状態にし、本ガイド「4.各種お問い合わせ先」に記載の、「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

※上記以外の箇所のランプ状態については、3-6-3項参照。

- ④ 「お客さまLANポート」と、ターミナルの「ETHER0(LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

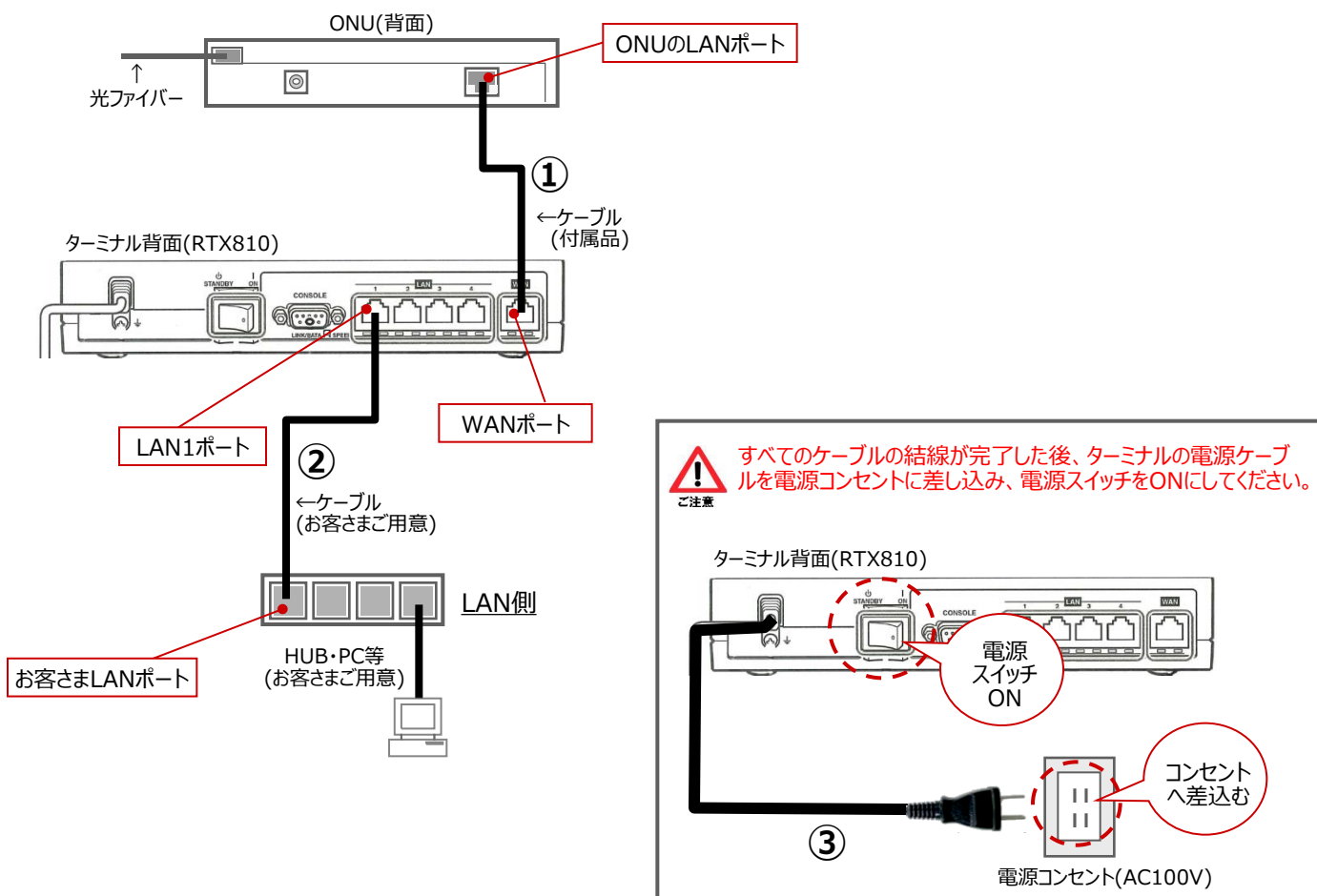
【2】-2. ベストエフォートプランにおいて、バックアップ回線がない場合

Universal Oneターミナル I 型エントリー(メーカー機種名 : RTX810)

下図をご参照いただき、①～④のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONUの「LANポート」と、ターミナルエントリーの「WANポート」を、ケーブルで接続。
- ② 「お客様LANポート」と、ターミナルの「LAN1ポート」を、ケーブルで接続。
- ③ ターミナルの電源ケーブルを、電源コンセントに接続。
- ④ 上記、①～③の接続作業完了後、機器起動完了まで「5分間」そのままお待ちください。

※ ランプ状態は3-6-3項参照



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

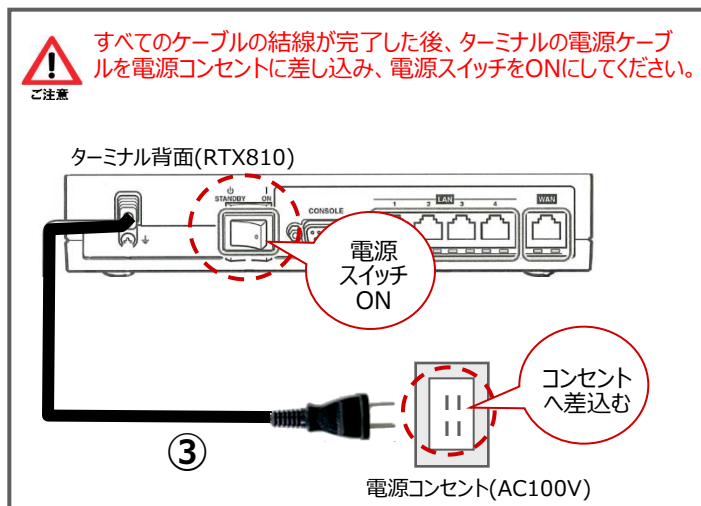
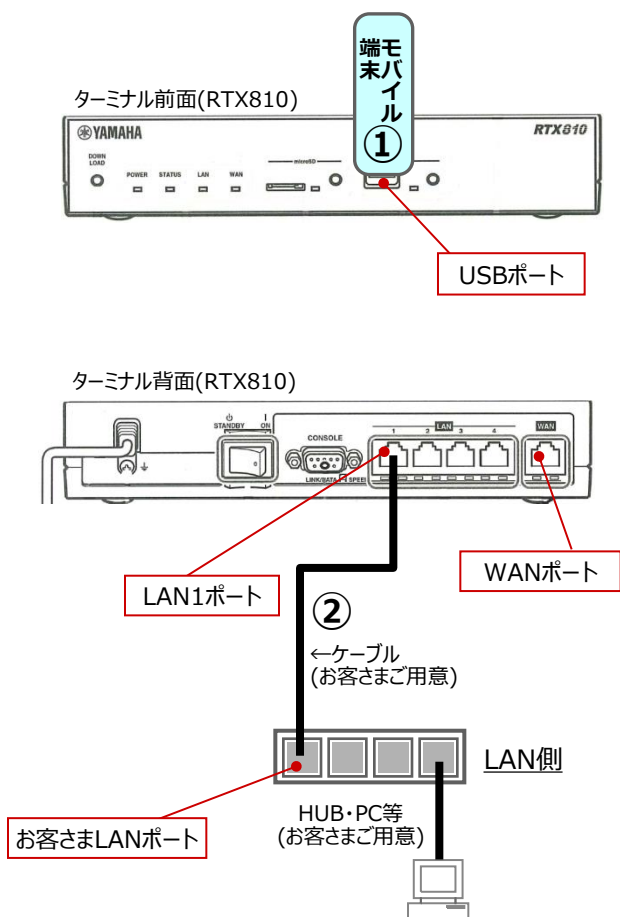
【2】-3. ベストエフォートプランにおいて、ワイヤレスアクセスをメイン回線としてご利用の場合

Universal Oneターミナル I 型エントリー(メーカー機種名 : RTX810)

下図をご参照いただき、①～④のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① 「モバイル端末」を、ターミナルエントリーの「USBポート」に差し込む。
- ② 「お客さまLANポート」と、ターミナルの「LAN1ポート」を、ケーブルで接続。
- ③ ターミナルの電源ケーブルを、電源コンセントに接続。
- ④ 上記、①～③の接続作業完了後、機器起動完了まで「5分間」そのままお待ちください。

※ ランプ状態は3-6-3項参照



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

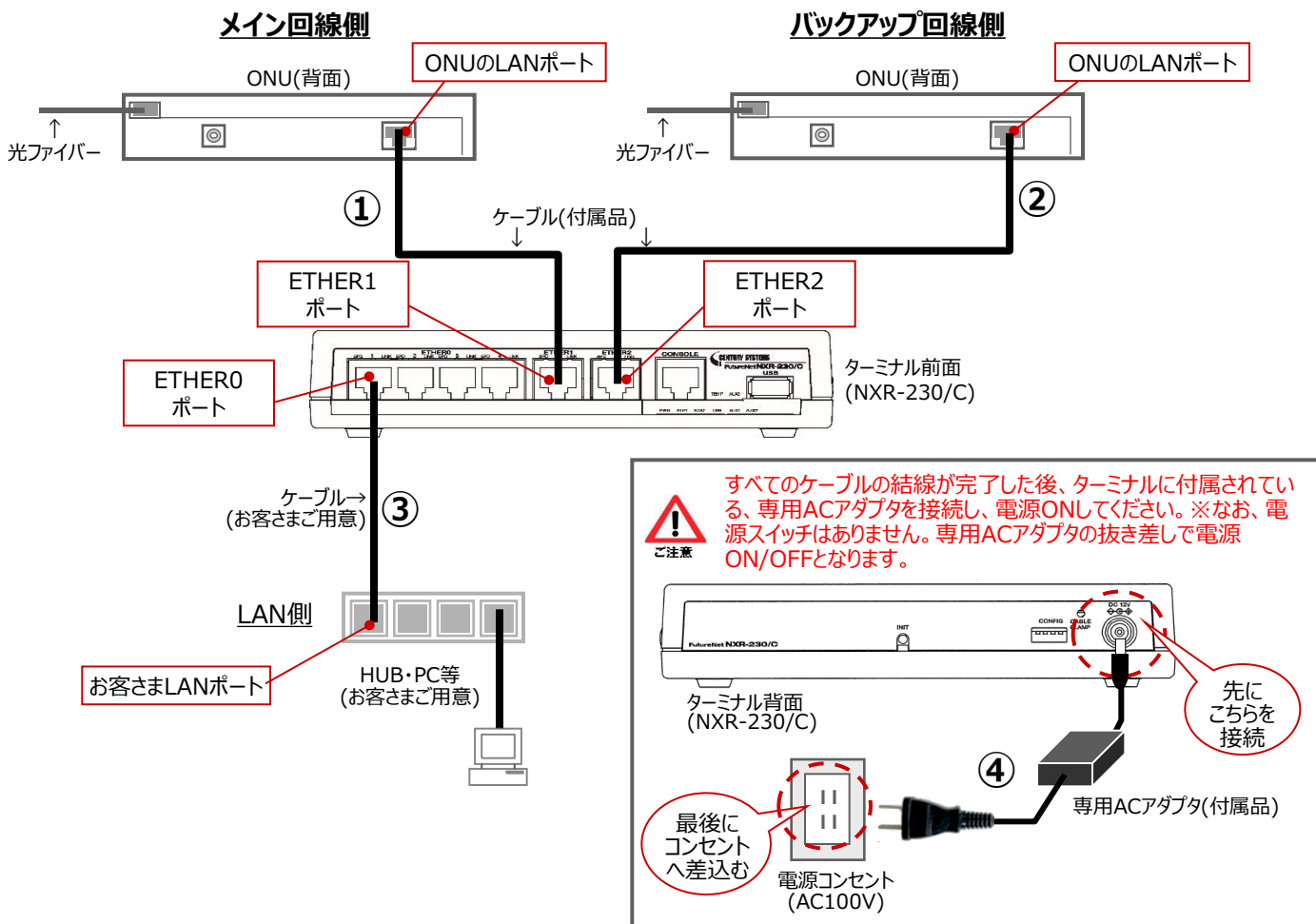
【3】ギランティプラン、バーストプラン、ベストエフォートプランにおいて、有線バックアップの場合

Universal Oneターミナル I 型（メーカー機種名：NXR-230/C）

下図をご参照いただき、①～⑤のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① メイン回線側ONUの「LANポート」と、ターミナルの「ETHER1(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ② バックアップ回線側ONUの「LANポート」と、ターミナルの「ETHER2(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ③ 「お客さまLANポート」と、ターミナルの「ETHER0(LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ④ 付属の専用ACアダプタを、ターミナルと、電源コンセントと接続。
- ⑤ 上記、①～④の接続作業完了後、機器起動完了まで「5分間」そのままお待ちください。

※ ランプ状態は3-6-3項参照



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

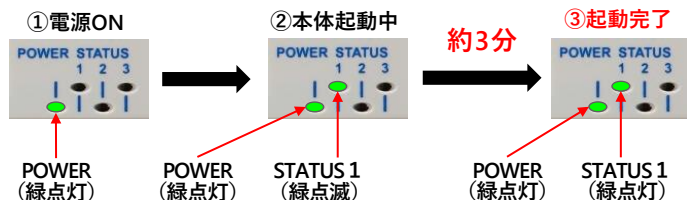
【4】プレミアムプラン(Universal Oneターミナル2台構成)ご利用の場合

Universal OneターミナルI型(メーカー機種名: NXR-530)

下図をご参照いただき、①～⑤のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① メイン回線側の回線終端装置(ONU等)の「LANポート」と、メイン回線側ターミナルの「ETHER1(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ② バックアップ回線側の回線終端装置(ONU等)の「LANポート」と、バックアップ回線側ターミナルの「ETHER2(WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ③ メイン回線側ターミナル、バックアップ回線側ターミナルともに、付属のACアダプタ/電源ケーブルを、本体と電源コンセントに接続し、電源ONしてください。本製品に電源スイッチはありません。電源コンセントに接続すると電源ONになります。

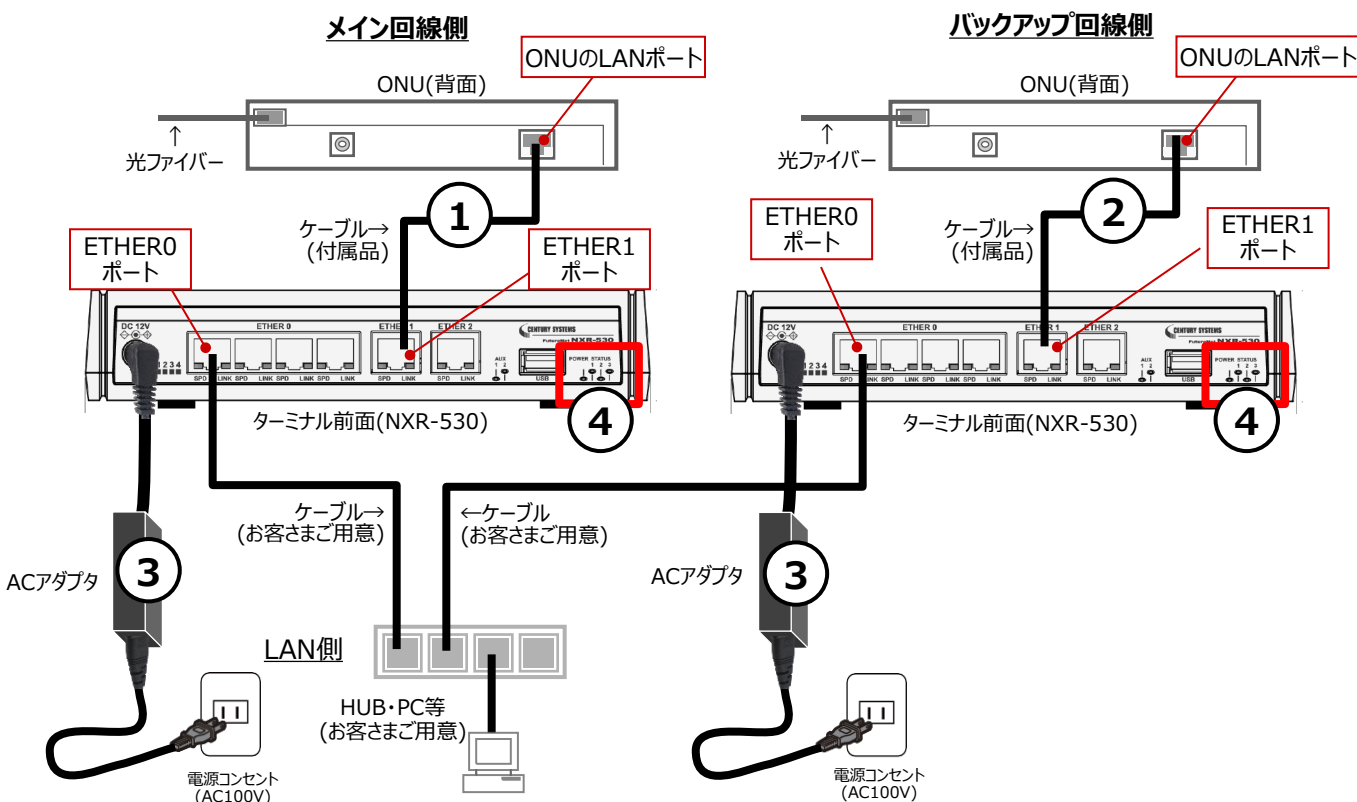
- ④ 上記、①～③の接続作業完了後、機器起動完了まで「約3分間」そのままお待ちください。
起動が完了するまでのランプ状態は以下のとおりです。なお、起動状況により、ランプ状態が変動する場合がございます。



ご注意
起動が完了するまで、接続したケーブルの抜き差しや電源ON/OFF等を行わないでください。正常に起動完了しない場合がございます。万が一、正常に起動完了しなかった場合は、ケーブルや電源はそのままの状態にし、本ガイド「4. 各種お問い合わせ先」に記載の、「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

※上記以外の箇所のランプ状態については、3-6-3項参照。

- ⑤ 「お客様LANポート」と、ターミナルの「ETHER0(LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

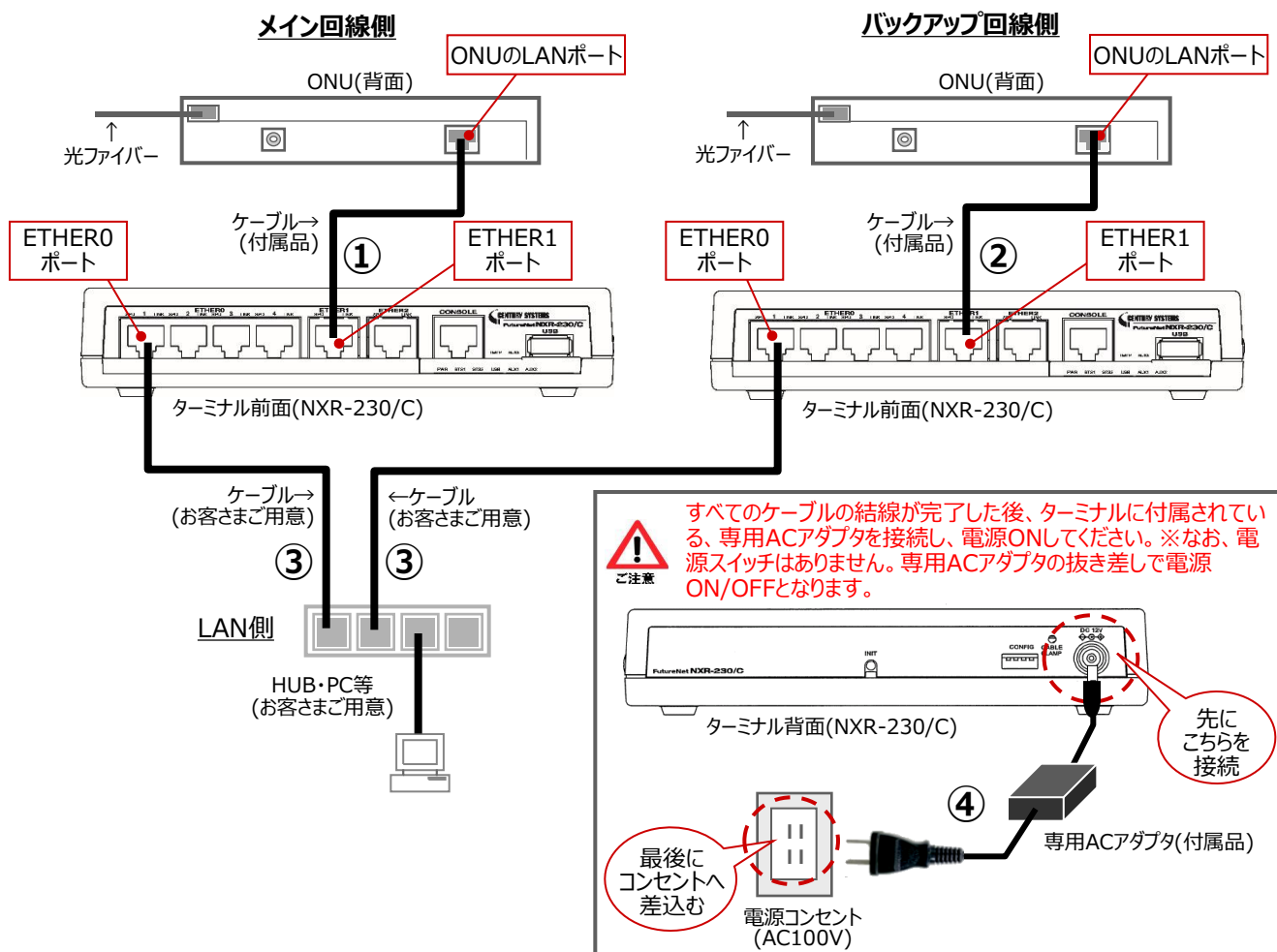
【4】プレミアムプラン(Universal Oneターミナル 2 台構成)ご利用の場合

Universal Oneターミナル I 型 (メーカー機種名: NXR-230/C)

下図をご参照いただき、①～⑤のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① メイン回線側のONUの「LANポート」と、メイン回線側のターミナルの「ETHER 1 (WAN側)ポート」を、ケーブルで接続されている。
- ② バックアップ回線側のONUの「LANポート」と、バックアップ回線側のターミナルの「ETHER 1 (WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ③ 「お客様LANポート」と、メイン回線側、および、バックアップ回線側のターミナルの「ETHER 0 (LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ④ 付属の専用ACアダプタを、ターミナルと電源コンセントに接続。
- ⑤ 上記、①～④の接続作業完了後、機器起動完了まで「5 分間」そのままお待ちください。

※ ランプ状態は 3-6-3 項参照



3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

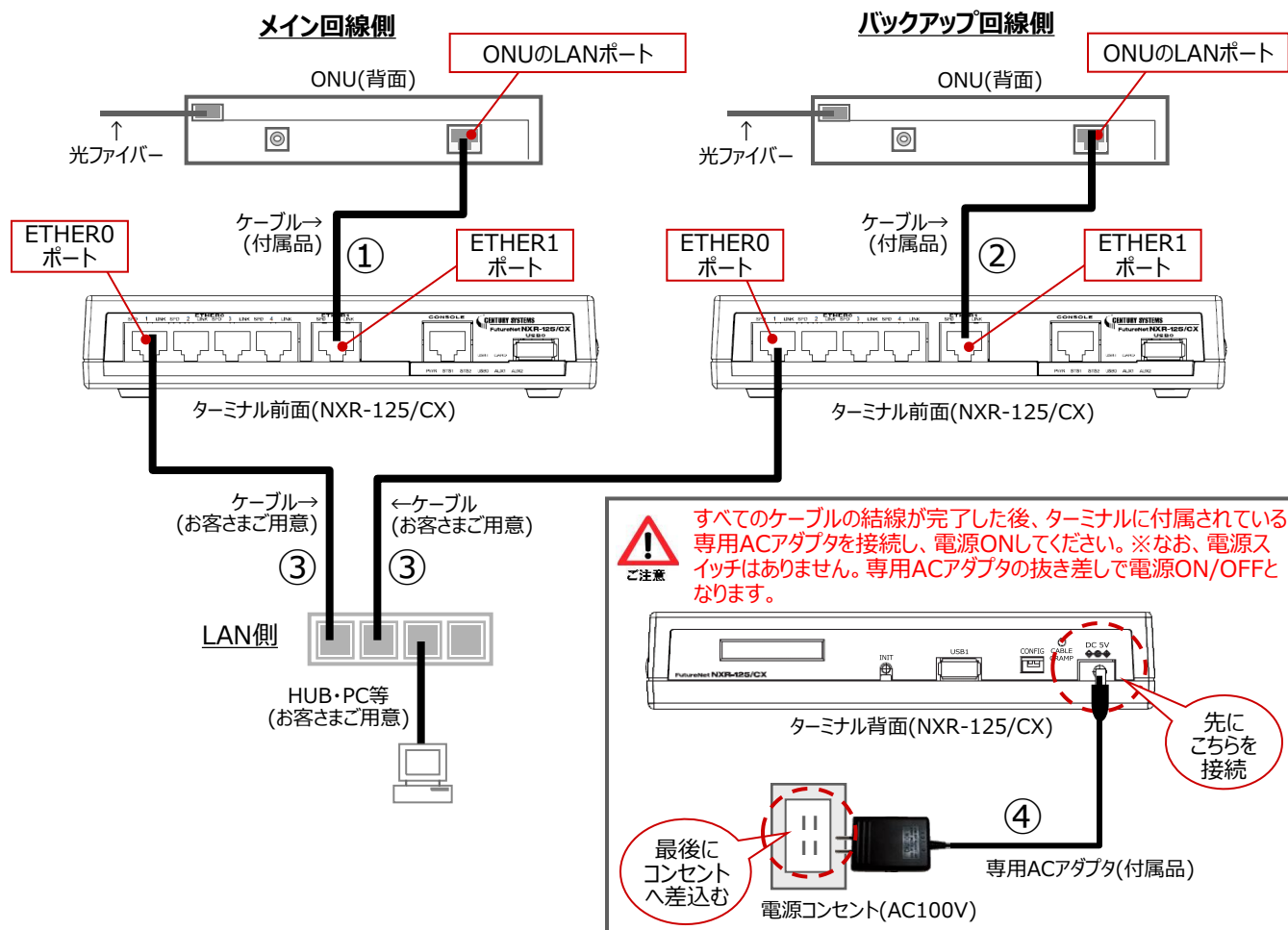
【4】プレミアムプラン(Universal Oneターミナル2台構成)ご利用の場合

Universal Oneターミナル I 型 (メーカー機種名: NXR-125/CX)

下図をご参照いただき、①～⑤のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① メイン回線側のONUの「LANポート」と、メイン回線側のターミナルの「ETHER 1 (WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ② バックアップ回線側のONUの「LANポート」と、バックアップ回線側のターミナルの「ETHER 1 (WAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ③ 「お客さまLANポート」と、メイン回線側、およびバックアップ回線側のターミナルの「ETHER 0 (LAN側)ポート」を、ケーブルで接続。
- ④ 付属の専用ACアダプタを、ターミナルと電源コンセントに接続。
- ⑤ 上記、①～④の接続作業完了後、機器起動完了まで「5 分間」そのままお待ちください。

※ ランプ状態は 3-6-3 項参照

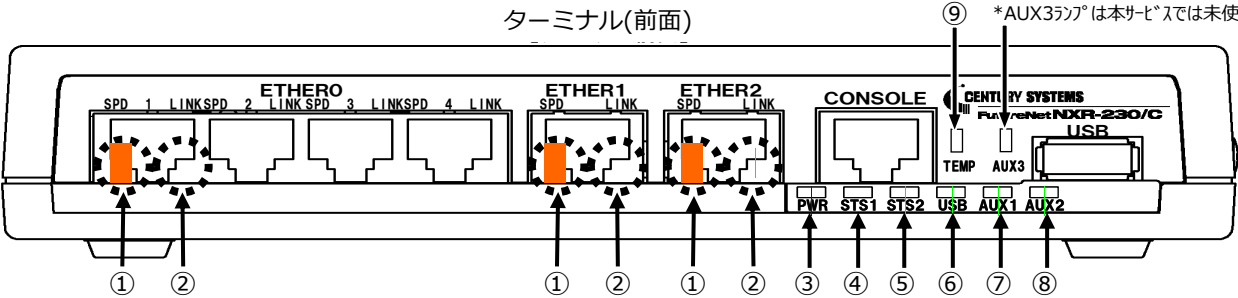


3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-3. 故障かな、と思ったら

Universal Oneターミナル I 型のランプ状態 (メーカー機種名: NXR-230/C)

ターミナルの「ランプ状態」を確認してください。正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



※ **太枠** で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

ランプ名	ランプ状態	状況	対処方法(お客さま確認事項)	
①SPD (ETHERポートの接続速度状態)	消灯	・【正常】10BASE-T	—	
	緑(点灯)	・【正常】100BASE-TX	—	
	橙(点灯)	・【正常】1000BASE-T	—	
②LINK (通信状態)	消灯	・Link Down (接続されている装置との間でLinkが確立されていません)	・接続されている装置との接続状態を確認してください。 ・接続ケーブル断線等がないか、ケーブル交換等により確認してください。	
	緑(点灯)	・【正常】Link Up : 通信可能状態		
	緑(点滅)	・【正常】Link Up : 通信中		
③PWR (電源状態)	消灯	・電源OFF状態 (電源アダプタが正しく接続されていない、または電源コンセントに電源が届いていません)	・電源アダプタが正しく電源コンセントに接続されているかを確認してください。 ・他の電源製品を接続し、電源コンセントに電源が届いているかを確認してください。	
	青(点灯)	・【正常】電源ON状態	—	
④STS1 (本体起動状態)	消灯	・【正常】本体起動状態	—	
	赤(点灯)	・【正常】本体起動中	・起動完了までお待ちください。起動完了後ランプは消灯します。	
	橙(点滅)	・ファームウェアアップデート中	・アップデート所要時間 : 約 5 分間	
⑤STS2 (本体起動状態)	緑(点灯)	・【正常】起動状態	—	
⑥USB (モバイル端末装着状態)	緑(点灯)	・【正常】モバイル端末未装着状態	—	
	消灯	・モバイル端末未装着状態 (モバイル端末が接続されていない、または外れています)	・正しく装着されているか確認してください。	
⑦AUX1／⑧AUX2 (モバイル端末電波状態)	[AUX1]	[AUX2]	[電波状態]	
	消灯	消灯	圏外相当 (基地局から電波が受信できていない)	・電波状態を、NTTドコモの携帯電話・スマートフォンなどと比較してご確認ください。但し、アンテナ設計等により、必ずしも電波状態が一致するものではありません。 ・無線通信中に表示されている電波状態は、接続直前の電波状態です。その為、実際の電波状態とは異なる場合があるのでご注意ください。
	緑(点灯)	消灯	▽ 1本相当	
	消灯	緑(点灯)	▽ 2本相当	
	緑(点灯)	緑(点灯)	▽ 3本相当	
⑨TEMP(本体温度状態)	消灯	・【正常】本体温度 : 20～80℃	—	
	赤(点滅)	・【注意】本体温度 : 10～20℃、80～85℃	・本体を他の製品と重ねたり、物を置いたり、立て掛けたりして通気孔を塞いでいないか確認。 ・直射日光が当たるところや高温多湿、ほこりが多い場所等に設置していないか確認。	
	赤(点灯)	・【警告】本体温度 : 10℃以下、85℃以上		

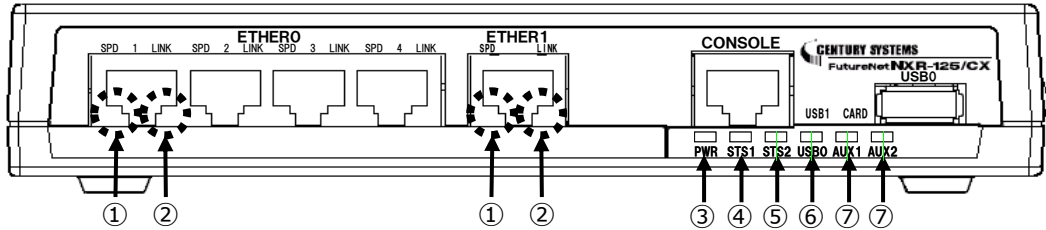
3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-3. 故障かな、と思ったら

Universal Oneターミナル I 型のラン状態 (メーカー機種名 : NXR-125/CX)

ターミナルの「ランプ状態」を確認してください。正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。

ターミナル(前面)



※ **太枠** で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

	ランプ名	表示色	状態の説明	対処方法(お客さまでの現地確認事項)
①	SPD (Speed表示ランプ)	消灯	・【正常】10BASE-T	—
		緑 (点灯)	・【正常】100BASE-TX	—
		橙 (点灯)	・【正常】1000BASE-T	—
②	LINK (Link状態表示ランプ)	消灯	・Link down(接続されている装置との間でリンクが確立されていません)	・接続されている装置との接続状態を確認してください。 ・接続ケーブル断線等がないか、ケーブル交換等により確認してください。
		緑 (点灯)	・【正常】Link up	—
		緑 (点滅)	・【正常】通信中	—
③	PWR (Power状態表示ランプ)	消灯	・電源OFF状態 (電源アダプタが正しく接続されていない、または電源コンセントに電源がきていません)	・電源アダプタが正しく電源コンセントに接続されているかを確認してください。 ・他の電気製品を接続し、電源コンセントに電源がきているかを確認してください。
		青 (点灯)	・【正常】電源ON状態	—
④	STS1 (ステータス1ランプ)	消灯	・【正常】起動状態	—
		赤 (点灯)	・起動中	・起動完了までお待ちください。
		橙 (点滅)	・ファームウェアアップデート中	・約5分間updateに時間を要します。
⑤	STS2 (ステータス2ランプ)	緑 (点灯)	・【正常】起動状態	—
⑥	USB (USB状態表示ランプ)	緑 (点灯)	・【正常】USB装着状態	—
		消灯	・モバイル端末が接続されていない、または外れています。	・接続されている装置との接続状態を確認してください。
⑦	AUX1/AUX2 (電波状態ランプ) (※1)	AUX1/AUX2		
		☐ ☐ (消灯) (消灯)	電波状況【圏外相当】 基地局から電波が受信できない状態。	
		☒ ☐ (緑点灯) (消灯)	電波状況【1本相当】	・電波状況を、NTTドコモの携帯電話・スマートフォンなどと比較してご確認ください。但し、アンテナ設計等により、必ずしも電波状況が一致するものではありません。
		☐ ☒ (消灯) (緑点灯)	電波状況【2本相当】	

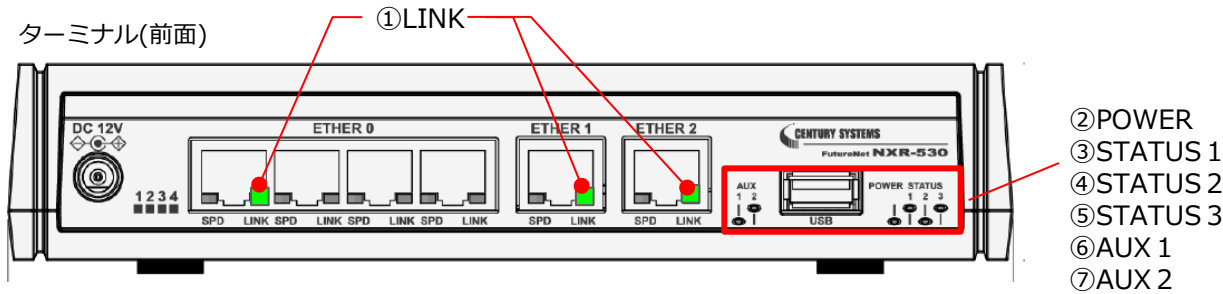
(※1)USBランプについて：無線通信中に表示されている電波状態は、接続直前の電波状態です。(※電波状態が変化しても表示は変わらず、接続直前の電波状態のままです。)そのため、⑦のランプが「緑(点灯)」していても、実際の電波状態は圏外という場合がございますのでご注意ください。

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-3. 故障かな、と思ったら

Universal Oneターミナル I 型のランプ状態 (メーカー機種名: NXR-530)

ターミナルの「ランプ状態」を確認してください。正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



※ **太枠**で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

ランプ名	表示色	状態の説明	お客さま確認事項
① LINK	緑点灯	・ 正常 (電源が入っています)	—
	緑点滅	・ 正常 (通信中)	—
	消灯	・ ターミナルのETHER 0 またはETHER 1 またはETHER 2 のポートと、接続先の装置 (回線終端装置またはお客様LAN環境等) との間で、リンクが確立されていません。	・ 接続されている装置 (回線終端装置またはお客様LAN環境等) との接続状態を確認してください。 ・ 接続されているケーブルに、断線等がないかケーブル交換等を行い確認してください。

ランプ名				状態の説明	お客さま確認事項
② POWER	③ STATUS 1	④ STATUS 2	⑤ STATUS 3		
消灯	消灯	消灯	消灯	電源が切れているか、または停電しています。	・ 電源コードが正しく、ターミナル本体背面の電源インレット、および、電源コンセントに接続されているか確認してください。 ・ 電源コンセントに、他の電気製品を接続し、電源が届いているか確認してください。
橙点灯	橙点灯	橙点灯	橙点灯	電源投入時。	—
緑点灯	緑点滅	消灯	消灯	本体起動中です。しばらくお待ちください。	—
【電源ON時】 → 【情報取得中】 → 約10分 → 【起動完了】 ② POWER (緑点灯) ② POWER (緑点灯) ③ STATUS 1 (緑点灯/点滅) ⑤ STATUS 3 (赤点滅) ② POWER (緑点灯) ③ STATUS 1 (緑点灯) ⑤ STATUS 3 (消灯)				本体起動中 (情報取得中) です。完了までそのまま約10分間お待ちください。約10分後、⑤の「STATUS 3」ランプが消灯し、②の「POWER」ランプと、③の「STATUS 1」ランプが緑点灯しましたら、本体起動完了です。なお、起動完了までの間、起動状況や情報取得状態により、ランプ状態が変動する場合がございます。なお、起動が完了するまで、接続したケーブルの抜き差しや電源ON/OFF等を行わないでください。正常に起動完了しない場合がございます。万が一、正常に起動完了しなかった場合は、ケーブルや電源はそのままの状態にし、本ガイド「4. 各種お問い合わせ先」に記載の、「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。	
緑点灯	緑点灯	消灯	消灯	本体起動完了後です。	—
緑点灯	緑点灯	赤点灯	消灯	バックアップ回線で通信中です。	メイン回線の接続状態をご確認ください。

	⑥ AUX 1	⑦ AUX 2
電波状態正常 (アンテナ3本相当)	緑点灯	緑点灯
圏外	消灯	消灯

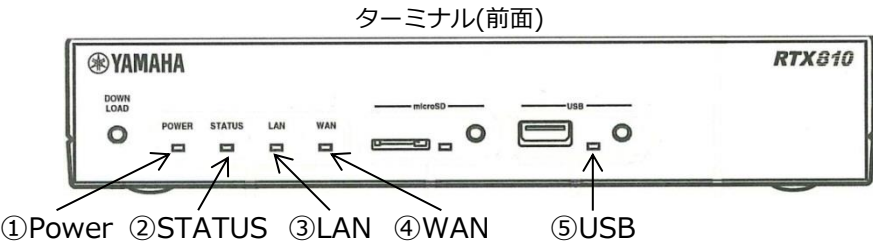
※電波状態の詳細は、モバイル端末のモードLED/アンテナLEDのランプ状態をご確認ください。

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-3. 故障かな、と思ったら

Universal Oneターミナル I 型エントリーのランプ状態 (メーカー機種名: RTX810)

ターミナルの「ランプ状態」を確認してください。正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



※ **太枠**で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

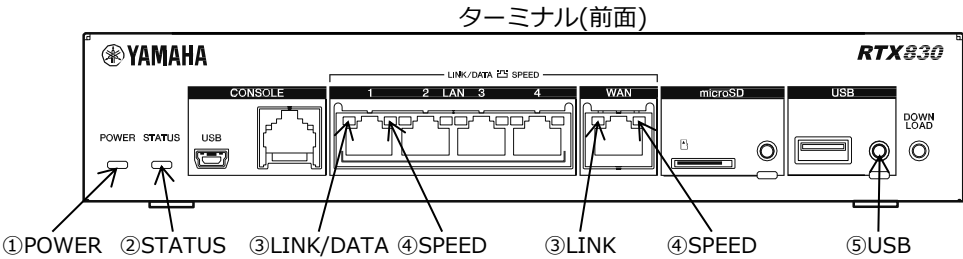
ランプ名	表示色	状態の説明	お客さま確認事項
① POWER	点灯	・ 正常(電源が入っています)	—
	点滅	・ 電源スイッチをONにした直後の起動中、または電源スイッチをSTANDBYにした直後のシャットダウン動作中。	—
	消灯	・ 電源が切れているか、または停電しています。	・ 電源コードが正しく電源コンセントに接続されているか確認してください。 ・ 電源コンセントに、他の電気製品を接続し、電源が届いているか確認してください。
② STATUS	点灯	・ アクセスライン回線等、ターミナルのWAN側で異常が考えられます。	・ ターミナルと、回線終端装置等(ONU等)との接続状態を確認してください。 【エンド-エンド監視をご契約の場合】 ・ 上記、お客さま確認事項に問題がなく、STATUSランプが点灯している場合は、「エンド-エンド監視」が正常でない場合がございます。本ガイド「4.各種お問い合わせ先」の「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」へご連絡ください。
	消灯	・ 正常(通信が可能な状態です)	—
③ LAN	点灯	・ 正常(通信が可能な状態です)	—
	点滅	・ 正常(データ通信中)	—
	消灯	・ ターミナルのLAN側ポートと接続されている装置(HUB等)との間で、リンクが確立されていません。	・ 接続されている装置(HUB等)との接続状態を確認してください。 ・ LANケーブルに断線等がないか、ケーブル交換等を行い確認してください。
④ WAN	点灯	・ 正常(通信が可能な状態です)	—
	点滅	・ 正常(データ通信中)	—
	消灯	・ ターミナルのWAN側ポートと接続されている装置(回線終端装置等(ONU等)との間で、リンクが確立されていません。 【ワイヤレスアクセスを「メイン回線」としてご契約の場合】 ・ 本ランプは使用しません。	・ 回線終端装置等(ONU等)のLAN LINKランプ消灯時の対処方法を確認してください。(詳細は回線終端装置等(ONU等)のマニュアルや取扱説明書をご確認ください)
⑤ USB	点灯	【ワイヤレスアクセスを「バックアップ回線」としてご契約の場合】 ・ モバイル端末が挿入状態。「④WAN」ランプが点灯または点滅していれば、メイン回線(有線)で通信中です。 【ワイヤレスアクセスを「メイン回線」としてご契約の場合】 ・ モバイル端末がUSBポートに挿入されているが、通信していない状態です。	・ 「⑤USB」ランプが点灯、且つ「④WAN」ランプが消灯している場合は、「④WAN」ランプ消灯時のお客さま確認事項のご確認、およびモバイル端末のランプ状態のご確認と、お客さまお手持ちのNTTドコモの携帯電話・スマートフォンなどで電波状況を確認してください。
	点滅	【ワイヤレスアクセスを「バックアップ回線」としてご契約の場合】 ・ バックアップ回線(ワイヤレスアクセス)で通信中です。 【ワイヤレスアクセスを「メイン回線」としてご契約の場合】 ・ メイン回線(ワイヤレスアクセス)で通信中です。	—
	消灯	・ モバイル端末がUSBポートに挿入されていません。	・ モバイル端末が、正しくUSBポートへ挿入されているか確認してください。

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-3. 故障かな、と思ったら

Universal Oneターミナル I 型エントリー、Communication ターミナル I 型のランプ状態
(メーカー機種名：RTX830)

ターミナルの「ランプ状態」を確認してください。正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。
これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



※ **太枠**で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

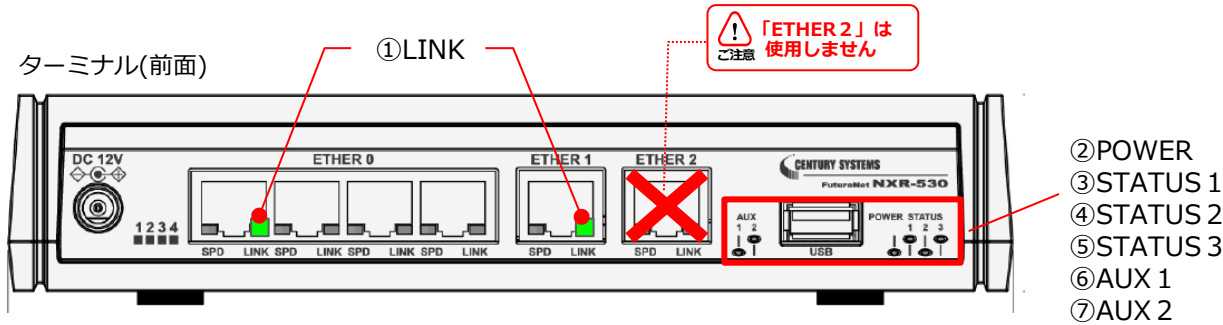
ランプ名		表示色	状態の説明	お客さま確認事項
① POWER		緑点灯	・正常(電源が入っています)	—
		緑点滅	・電源スイッチON後の起動中、または電源スイッチをSTANDBYにした直後のシャットダウン動作中。	—
		消灯	・電源が切れているか、または停電しています。	・電源コードが正しく、ターミナル本体背面の電源インレット、および、電源コンセントに接続されているか確認してください。 ・電源コンセントに他の電気製品を接続し、電源が届いているか確認してください。
② STATUS		橙点灯	・アクセスライン回線等、ターミナルのWAN側で異常が考えられます。	・ターミナルと、回線終端装置等(ONU等)との接続状態を確認してください。 【エンド-エンド監視をご契約の場合】 ・上記、お客さま確認事項に問題がなく、STATUSランプが点灯している場合は、「エンド-エンド監視」が正常でない場合がございます。本ガイド「4. 各種お問い合わせ先」の「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」へご連絡ください。
		早く 橙点滅	・機器起動中です。起動完了までそのまま約10分間お待ちください。 STATUSランプが消灯したら起動完了です。 なお、起動完了までの間、起動状況や情報取得状態により、ランプ状態が変動する場合がございます。	—
		ゆっくり 橙点滅	・バックアップ回線で通信中です。(2022年8月19日以前に出荷した本体については、本体USBランプおよびモバイル端末のランプ状態にてバックアップ回線の通信状態をご確認ください)	・メイン回線の接続状態を確認してください。
		消灯	・正常(通信が可能な状態です)	—
③ LINK		緑点灯	・正常(通信が可能な状態です)	—
		緑点滅	・正常(データ通信中)	—
		消灯	・ターミナルのLAN側ポートと接続されている装置(HUB等)との間で、リンクが確立されていません。	・接続されている装置(HUB等)との接続状態を確認してください。 ・LANケーブルに断線等がないか、ケーブル交換等を行い確認してください。
④ SPEED		点灯	・正常(1000BASE-Tで接続)	—
		消灯	・正常(100BASE-TX、10BASE-Tで接続)	—
⑤ USB	2022年 8月19日 以前に 出荷した 本体の場合	緑点灯	・USB挿入状態。ワイヤレスアクセスをバックアップ回線としてご契約の場合は、ターミナルWANポートの「③LINK」ランプが点灯または点滅していれば、メイン回線(有線)で通信中です。	・「⑤USB」ランプが点灯、且つ、ターミナルWANポートの「③LINK/DATA」ランプが消灯している場合は、ターミナルWANポートの「③LINK/DATA」ランプ消灯時のお客さま確認事項のご確認、およびモバイル端末のランプ状態のご確認と、お客さまお手持ちのNTTドコモの携帯電話・スマートフォンなどで電波状況を確認してください。
		緑点滅	・USB挿入状態で、ワイヤレスアクセスをバックアップ回線としてご契約の場合は、バックアップ回線(ワイヤレスアクセス)にて通信中です。	—
	2022年 8月19日 以降に 出荷した 本体の場合	緑点灯 または点滅	・モバイル端末は接続(起動)状態です。	・バックアップ回線の通信状態については、②STATUSランプをご確認ください。
		消灯	・モバイル端末がUSBポートに挿し込まれていません。	・モバイル端末が、正しくUSBポートへ挿入されているか確認してください。

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-3. 故障かな、と思ったら

Communication ターミナル I 型のランプ状態 (メーカー機種名 : NXR-530)

ターミナルの「ランプ状態」を確認してください。正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。
これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



※ **太枠**で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

ランプ名	表示色	状態の説明	お客さま確認事項
① LINK	緑点灯	・ 正常 (電源が入っています)	—
	緑点滅	・ 正常 (通信中)	—
	消灯	・ ターミナルのETHER 0またはETHER 1のポートと、接続先の装置(回線終端装置またはお客様LAN環境等)との間で、リンクが確立されていません。	・ 接続されている装置 (回線終端装置またはお客様LAN環境等) との接続状態を確認してください。 ・ 接続されているケーブルに、断線等がないかケーブル交換等を行い確認してください。

ランプ名				状態の説明	お客さま確認事項
② POWER	③ STATUS 1	④ STATUS 2	⑤ STATUS 3		
消灯	消灯	消灯	消灯	電源が切れているか、または停電しています。	・ 電源コードが正しく、ターミナル本体背面の電源インレット、および、電源コンセントに接続されているか確認してください。 ・ 電源コンセントに、他の電気製品を接続し、電源が届いているか確認してください。
橙点灯	橙点灯	橙点灯	橙点灯	電源投入時。	—
緑点灯	緑点滅	消灯	消灯	本体起動中です。しばらくお待ちください。	—
【電源ON時】 → 【情報取得中】 → 約10分 → 【起動完了】 ② POWER (緑点灯) ② POWER (緑点灯) ③ STATUS 1 (緑点灯/点滅) ⑤ STATUS 3 (赤点滅) ② POWER (緑点灯) ③ STATUS 1 (緑点灯) ⑤ STATUS 3 (消灯)				本体起動中 (情報取得中) です。完了までそのまま約10分間お待ちください。約10分後、⑤の「STATUS 3」ランプが消灯し、②の「POWER」ランプと、③の「STATUS 1」ランプが緑点灯しましたら、本体起動完了です。なお、起動完了までの間、起動状況や情報取得状態により、ランプ状態が変動する場合がございます。なお、起動が完了するまで、接続したケーブルの抜き差しや電源ON/OFF等を行わないでください。正常に起動完了しない場合がございます。万が一、正常に起動完了しなかった場合は、ケーブルや電源はそのままの状態にし、本ガイド「4.各種お問い合わせ先」に記載の、「サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。	
緑点灯	緑点灯	消灯	消灯	本体起動完了後です。	—
緑点灯	緑点灯	赤点灯	消灯	バックアップ回線で通信中です。	メイン回線の接続状態をご確認ください。

	⑥ AUX 1	⑦ AUX 2
電波状態正常 (アンテナ3本相当)	緑点灯	緑点灯
圏外	消灯	消灯

※電波状態の詳細は、モバイル端末のモードLED/アンテナLEDのランプ状態をご確認ください。

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-3. 故障かな、と思ったら

[参考] 保守サポートについて

オンサイト保守について

オンサイト保守(現地駆け付け)の場合の故障機取替え等は、NTT ドコモビジネス指定の修理会社がお伺いし、故障復旧いたします。

- 保守物品はNTT ドコモビジネス指定の配送会社が持参いたします。
- 故障箇所切り分け完了から、お客さま宅へ4時間以内の到着目標(※1)です。駆け付け時間は、ご希望の時間に沿えない場合がございます。
- 到着予定時間のご連絡と共にご訪問する方のお名前をお尋ねしますので、入館の際のご対応をお願いいたします。

【オンサイト保守に関するお問い合わせ先】

ご契約時にご案内しております「Universal Oneサービスご利用内容のご案内兼内容確認票」内の「故障時連絡先」をご確認いただき、お問い合わせください。

ご不明な場合は、東京オペレーションセンタ【TEL】0120-007-003(受付時間:24時間365日)までお問い合わせください。



ご注意

(※1)駆け付け時間は目標時間です。交通事情、気象状況、離島、遠隔地等については、時間がかかる場合がございますので予めご了承ください。故障機と、代替機の交換は、修理会社が実施いたします。

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-4. その他の注意事項

1. 設計時の注意事項

(1) 通信品質について

冗長迂回時間について	・L3プレミアムプラン(ターミナル2台構成)をご利用の場合、切り替えに伴う通信断時間は約1分、切り戻しに伴う通信断時間は約5秒です。 ・プレミアムプラン(ターミナル2台構成)をお申し込みのお客さまは、スパニングツリーを構成する機器を直接接続するとバックアップの切替時間が増える場合があります。 ・プレミアムプラン(ターミナル2台構成)をお申し込みの場合、使用する機能によっては切り戻しに伴い約2分間の通信断が発生します。 ・ギャランティプラン/バーストプランの切り替えに伴う通信断時間は、約1分30秒(ワイヤレスバックアップの場合、電波状況によってはさらに時間がかかる場合があります)、切り戻しに伴う通信断時間は約10秒です。 ・ベストエフォートプランの切り替えに伴う通信断時間は、約2分(ワイヤレスバックアップの場合、電波状況によってはさらに時間がかかる場合があります)、切り戻しに伴う通信断時間は約15秒です。
------------	---

(2) その他の注意事項

取り扱い時のお願い事項	【アクセス回線固有の注意事項】 ・フレッツ・ADSLプランご利用のお客様のADSLモデムにルーター機能が搭載されている場合、ご利用にあたってADSLモデムのルーター機能をOFFにして頂く(ブリッジモードにして頂く)必要がございます。ご注意ください。
機能、性能について	・Universal OneターミナルおよびCommunication ターミナルでご提供するオプション機能は、複数のオプション機能をご利用頂く場合に組合せの制限があります。また、ネットワーク設計時や申込み時における留意事項などがあります。詳しくは、弊社営業担当者までご確認ください。 ・ショートパケットが多い通信を行った場合には、実際のスループットがアクセス品目の速度に満たないことがあります。 ・TCP、UDP、ICMP以外のプロトコルの通信やフラグメントを行う通信を大量に行うと全スループットが低下することがあります。 ・優先制御機能等をご利用の場合は、全スループットが低下することがあります。 ・UniversalOneターミナルおよびCommunication ターミナルにおいてご提供する各機能は、ご利用いただける組み合わせの制限があります。ネットワーク設計時やお申し込み時における留意事項などは弊社販売担当者までご確認ください。

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-4. その他の注意事項

2. 開通に関する注意事項

(1) オンサイト設置、お客様設置共通注意事項

宅内機器について	- 弊社から提供する、機器および付属品はレンタル品です。管理については十分にご注意ください。なお、「3. ターミナル本体、および付属品について」も合わせてお読みください。 - ターミナルと回線終端装置等(ONU等)を接続するケーブルは、本体に付属されているケーブルをご使用ください。ターミナルとお客様LAN側端末(HUB/PC等)を接続するケーブルは、お客さまにてご用意ください。なお、プレミアムプラン(ターミナル2台構成)をお申し込みのお客さまは、ターミナルとお客様LAN機器を接続するケーブルの他に、スイッチングハブ等をご用意頂く必要があります。
----------	---

(2) お客様設置注意事項

*お客様設置の場合は、ターミナルに同梱されている「お客さま設置ガイド」も必ずお読みください。

宅内機器について	- ワイヤレスアクセスをメイン回線としてご利用の場合は、必ずお客様設置での提供となります。 - お客様設置は、ターミナルをお客さまにて設置し開通していただきます。バックアップ回線をご契約頂いている場合は、バックアップ回線への切り替わりと、メイン回線への切り戻りの確認を、お客さまにて実施していただきます。また、コールドスタンバイ機をご契約いただいている場合は、現用機と同様にお客さまにて実施していただきます。 - Universal Oneサービスの料金は、申込書にご記入頂いた「ご利用開始希望日」から課金を始めさせていただきます。 - ターミナルの設定変更が必要となる場合は、変更した機器を再送させていただく場合がございます。 - ターミナルの受取りの時間指定は、受け付けておりません。
----------	--

3. ターミナル本体、および付属品について

ターミナル本体、および付属品のご返却について	ターミナル本体、および付属品は、弊社からのレンタル品です。機器交換や解約等の際、ご返却いただきます。万が一、破損・紛失の場合は、弁済金を弊社から請求させていただく場合がございます。なお、サービスご利用開始日より3年超過した場合、付属品の返却は不要です。お客さまにてご不要の場合は、本体と一緒にご返却ください。弊社にて処分させていただきます。
------------------------	--

3-6. ターミナル(L3)のご利用方法

3-6-4. その他の注意事項

4. 機器移転／機器設定変更時の注意事項

(1) 機器移転／設定変更共通事項

お客様による作業について	機器移転／設定変更をお客様による作業(お客様撤去またはお客様設置等)にてお申し込みの場合、以下の点に注意し実施してください。 弊社より、設定変更済みの新たなターミナルを送付致します。 現在ご利用中のターミナルの電源OFFを先に行い、その後、新たなターミナルの電源ONを実施してください。両機器が重複して電源ONされてますと、正常に通信できない場合がございます。(撤去した機器は回収致します) なお、ターミナルに同梱されている「お客さま設置ガイド」も必ずお読みください。
	機器移転／設定変更をお客様による作業(お客様撤去またはお客様設置等)にてお申し込みの場合、弊社側での切り替え工事に伴い、変更工事日当日または前営業日に、弊社工事担当者よりお客様(または弊社販売担当者)へ電話によるご連絡をさせていただく場合がございます。
	設定変更がある場合は、現用機とコールドスタンバイ機を同時に変更させていただきます。

(2) 機器移転について

お申込み工事種別について	- 以下の①または②の工事種別からお申込みいただけます。撤去工事と設置工事は、同一工事種別でのお申込みとなります。撤去工事を下記②、設置工事を下記①でのお申し込みはできません。(建物を跨る機器移転を除く) ① 弊社作業員派遣による移転工事(ターミナルの撤去／設置工事を、弊社作業員が実施) ② お客様作業による移転工事(ターミナルの撤去／設置工事を、お客様が実施)
--------------	---

5. 保守に関する注意事項

(1) コールドスタンバイ機の注意事項

コールドスタンバイ機について	- Universal One ターミナルおよびCommunication ターミナルのコールドスタンバイ機は、定期的なメンテナンスを計画しておりません。コールドスタンバイ機の保管については、直射日光を避け、高温多湿にならない、水などの液体がかからない場所で、お客さまにて実施して頂きます。なお、コールドスタンバイ機は、通信の万全な回復をお約束するものではありません。 - 故障などの時、お客さまにて現用機をコールドスタンバイ機に交換していただき、あわせて弊社故障窓口へ連絡をして頂きます。 - ワイヤレスバックアップをご契約頂いている場合は、現用機にのみモバイル端末を提供いたします。現用機をコールドスタンバイ機に交換する際は、お客さまにて、現用機からモバイル端末をはずしていただき、コールドスタンバイ機に接続していただきます。 - お客さまにて接続していただいたコールドスタンバイ機は、故障復旧作業時に、回線から外した状態に戻します。 - コールドスタンバイ機は、現用機同様にレンタル品となります。万が一、破損紛失の場合には、弁済金を弊社から請求させていただく場合がございます。
----------------	---

3. サービスのご利用方法について

3 – 7. Universal Oneターミナル(L2アダプター) のご利用方法

3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-1. 機器諸元

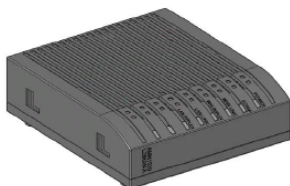
概観図・機器諸元

- 記載内容は、2013年10月現在のものです。
- 表記のサービス/仕様内容は予告なく変更することがあります。

・本サービスでは、以下の機器をレンタルにてご提供します。

Universal Oneターミナル (L2アダプターA型)

日立製作所社製
AMN1320-L2ADP(TYPE-A)



電源	ACアダプタ(入力AC100V±10%) 平行2ピン 50Hz/60Hz 5.7W (最大)
本体サイズ	高さ×幅×奥行き: 40mm×135mm×150mm
重量	約600g(縦置きスタンド/電源アダプタ含む)
動作環境	温度:10~40℃/湿度:10~80%(結露なきこと)

Universal Oneターミナル (L2アダプターB型)

日立製作所社製
AMN1320-L2ADP(TYPE-B)

【本体】



【SFP】



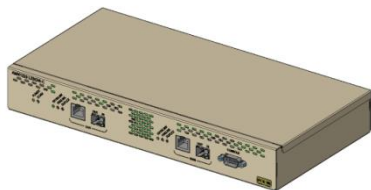
※SFPはLANポート/WANポートに挿入されています。
※SFPは抜かないでください。

電源	ACアダプタ(入力AC100V±10%) 平行2ピン 50Hz/60Hz 11.4W(最大)
本体サイズ	高さ×幅×奥行き: 44mm×320mm×162mm
重量	約1700g(電源アダプタ含む)
動作環境	温度:10~40℃/湿度:10~80%(結露なきこと)

Universal Oneターミナル (L2アダプターC型)

日立製作所社製
AMN1320-L2ADP(TYPE-C)

【本体】



【SFP】



※SFPは1 Gインターフェース利用時、LANポート/WANポートに挿入されています。
※SFPは抜かないでください。

電源	ACアダプタ(入力AC100V±10%) 平行2ピン 50Hz/60Hz 11.4W(最大)
本体サイズ	高さ×幅×奥行き: 44mm×320mm×162mm
重量	約1700g(電源アダプタ含む)
動作環境	温度:10~40℃/湿度:10~80%(結露なきこと)

3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-1. 機器諸元

概観図・機器諸元

- 記載内容は、2012年11月現在のものです。
- 表記のサービス内容は予告なく変更することがあります。



ご注意

本体のお取り扱いについて

- 電源には、必ず付属のACアダプタをご使用ください。
- 電源プラグの金属部分およびその周辺にほこり等の付着物がある場合には、乾いた布でよく拭き取ってからご使用ください。時々、電極間にほこりやゴミが溜まっていないかご点検ください。
- ターミナル本体及びACアダプタは安定した場所に設置してください。
- ターミナル本体または内部に、水などの液体がかからない場所に設置してください。
- ターミナル本体または内部に、異物やほこり等が入らない場所に設置してください。
- ターミナル本体のゴム足を下にして設置してください。
- A型を縦置きでご使用の場合は、必ず付属の縦置きスタンドをご使用ください。
- Universal Oneターミナルを他の製品と重ねたり、物を置いたり、立て掛けたりしないでください。
- 直射日光が当たるところや高温多湿になるところに設置しないようにしてください。
- ターミナル本体の分解、改造は絶対に行わないでください。



ご注意

レンタル機器の梱包類についてお客さまへのお願い

レンタル機器が梱包されていた「梱包箱」「緩衝材」は廃棄せずご返却時まで保管してください。

機器故障や解約時等のUniversal Oneターミナルご返却の際にこの梱包類でご返却いただいております。万が一、お客さまにて紛失されますと別途料金をいただく場合がございます、なお、LANケーブル・ACアダプタ・SFPについてもご返却いただきますので紛失されないようお願いいたします。

3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

【1】ギランティプラン、バーストプランでバックアップ回線がない場合

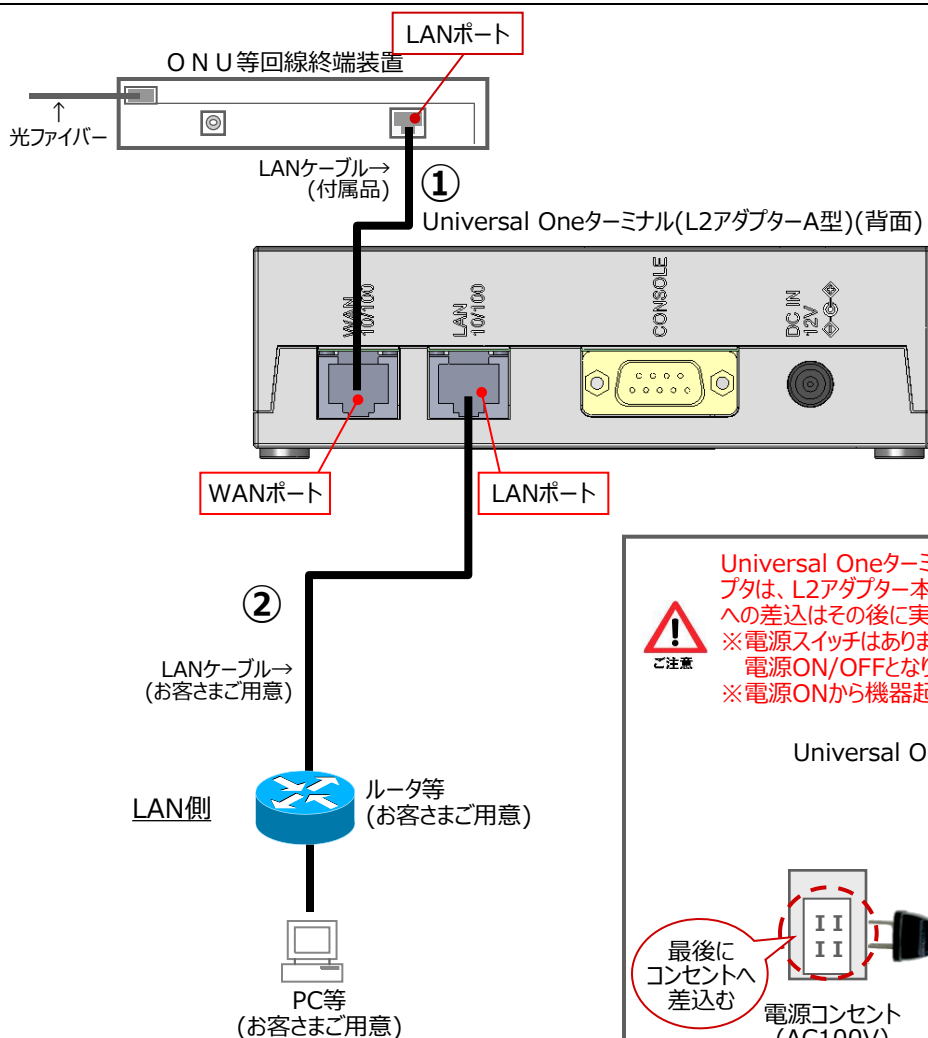
Universal Oneターミナル(L2アダプター-A型)(※1)

(※1)ギランティアクセスまたはバーストアクセスを利用の場合のみ提供。
ベストエフォートアクセスにはL2アダプターはご利用いただけません。

下図をご参照いただき、①～③のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONU等回線終端装置の「LANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプター-A型)の「WANポート」を、LANケーブルで接続。
- ② 「お客さまLANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプター-A型)の「LANポート」を、LANケーブルで接続。
- ③ 専用ACアダプタを、Universal Oneターミナル(L2アダプター-A型)と、電源コンセントに接続。

※ ランプ状態は3-7-3項参照



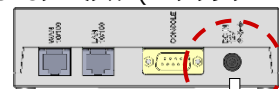
ご注意

Universal Oneターミナル(L2アダプター-A型)の専用ACアダプタは、L2アダプター本体への接続を先にを行い、電源コンセントへの差込はその後に実施してください。

※電源スイッチはありません。専用ACアダプタの抜き差しで電源ON/OFFとなります。

※電源ONから機器起動まで約90秒かかります。

Universal Oneターミナル (L2アダプター-A型) (背面)



③

最後に
コンセントへ
差込む

電源コンセント
(AC100V)

専用ACアダプタ
(付属品)

先に
こちらを
接続

3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

【1】ギランティプラン、バーストプランでバックアップ回線がない場合

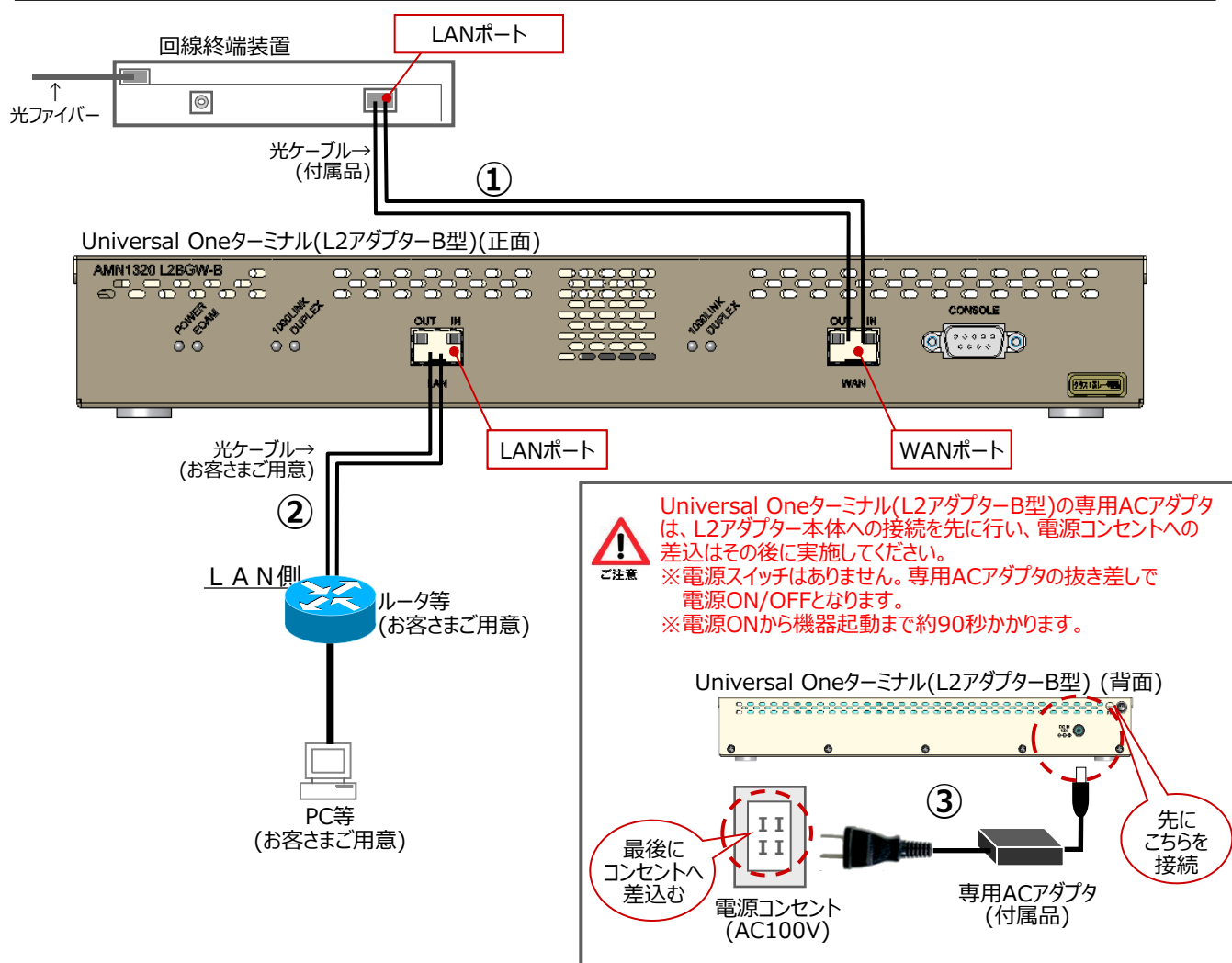
Universal Oneターミナル(L2アダプター-B型)(※1)

(※1)ギランティアアクセスまたはバーストアクセスを利用の場合のみ提供。
ベストエフォートアクセスにはL2アダプターはご利用いただけません。

下図をご参照いただき、①～③のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONU等回線終端装置の「LANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプター-B型)の「WANポート」を、光ケーブルで接続。
- ② 「お客さまLANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプター-B型)の「LANポート」を、光ケーブルで接続。
- ③ 専用ACアダプタを、Universal Oneターミナル(L2アダプター-B型)と、電源コンセントに接続。

※ ランプ状態は3-7-3項参照



3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

【1】ギランティプラン、バーストプランでバックアップ回線がない場合

Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)(※1)

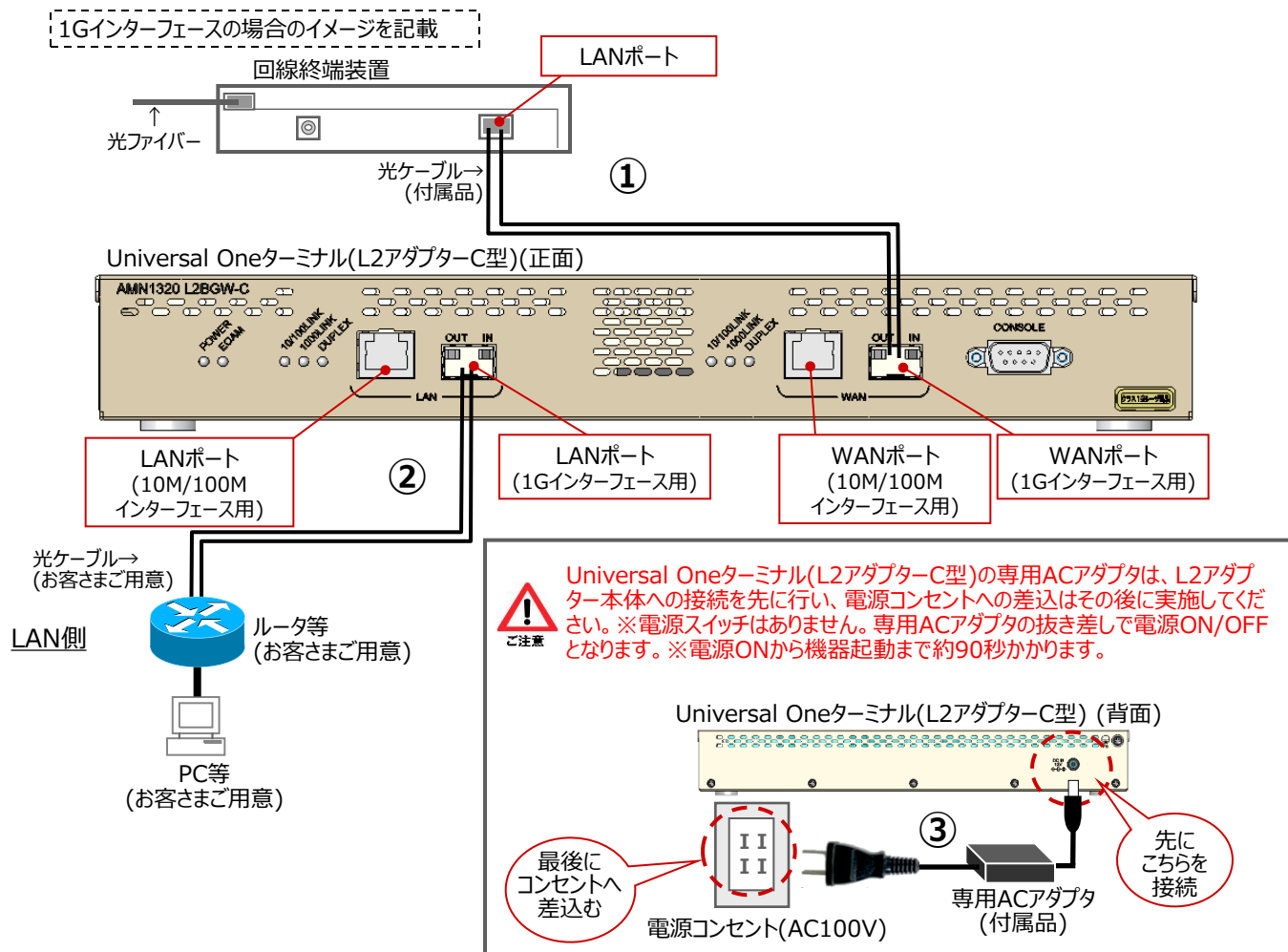
(※1)ギランティアアクセスまたはバーストアクセスを利用の場合のみ提供。
ベストエフォートアクセスにはL2アダプターはご利用いただけません。

下図をご参照いただき、①～③のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONU等回線終端装置の「LANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)の「WANポート」を、ケーブル(※2)で接続。(Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)は、1Gインターフェースと10M/100MインターフェースでWANポートが異なります)
- ② 「お客さまLANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)の「LANポート」を、ケーブル(※2)で接続。(Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)は、1Gインターフェースと10M/100MインターフェースでLANポートが異なります)
- ③ 専用ACアダプタを、Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)と、電源コンセントに接続。

(※2) インターフェースが10M/100Mの場合はLANケーブル、1Gの場合は光ケーブルを利用

※ ランプ状態は3-7-3項参照



3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

【2】プレミアムプラン、ギランティプラン、バーストプランにおいて、Universal Oneターミナル(L2アダプター)を2台構成でご利用の場合

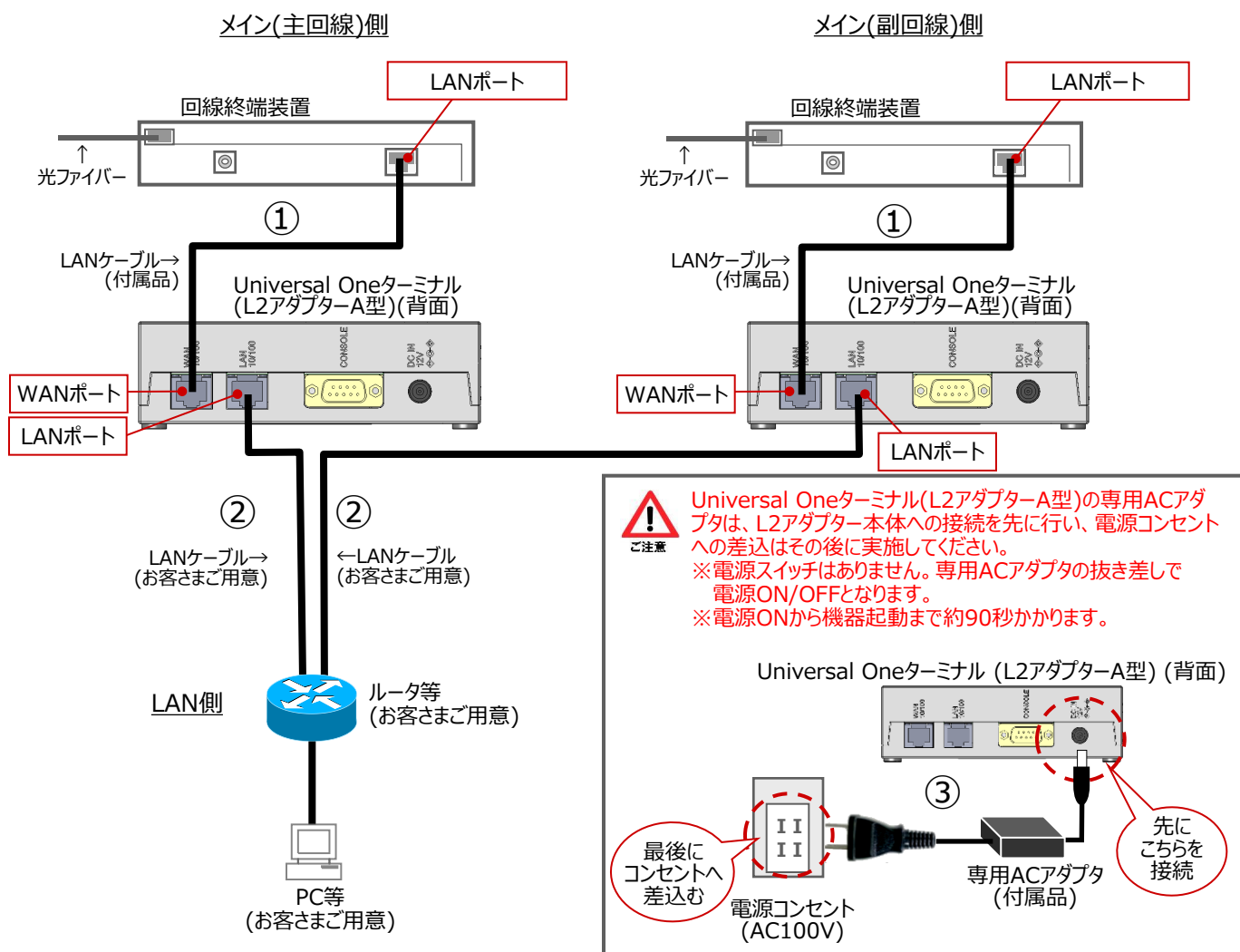
Universal Oneターミナル(L2アダプターA型)(※1)

(※1)ギランティアアクセスまたはバーストアクセスを利用の場合のみ提供。
ベストエフォートアクセスにはL2アダプターはご利用いただけません。

下図をご参照いただき、①～③のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONU等回線終端装置の「LANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプターA型)の「WANポート」を、LANケーブルで接続。
- ② 「お客さまLANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプターA型)の「LANポート」を、LANケーブルで接続。
- ③ 専用ACアダプタを、Universal Oneターミナル(L2アダプターA型)と、電源コンセントに接続。

※ ランプ状態は3-7-3項参照



3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

【2】プレミアムプラン、ギランティプラン、バーストプランにおいて、Universal Oneターミナル(L2アダプター)を2台構成でご利用の場合

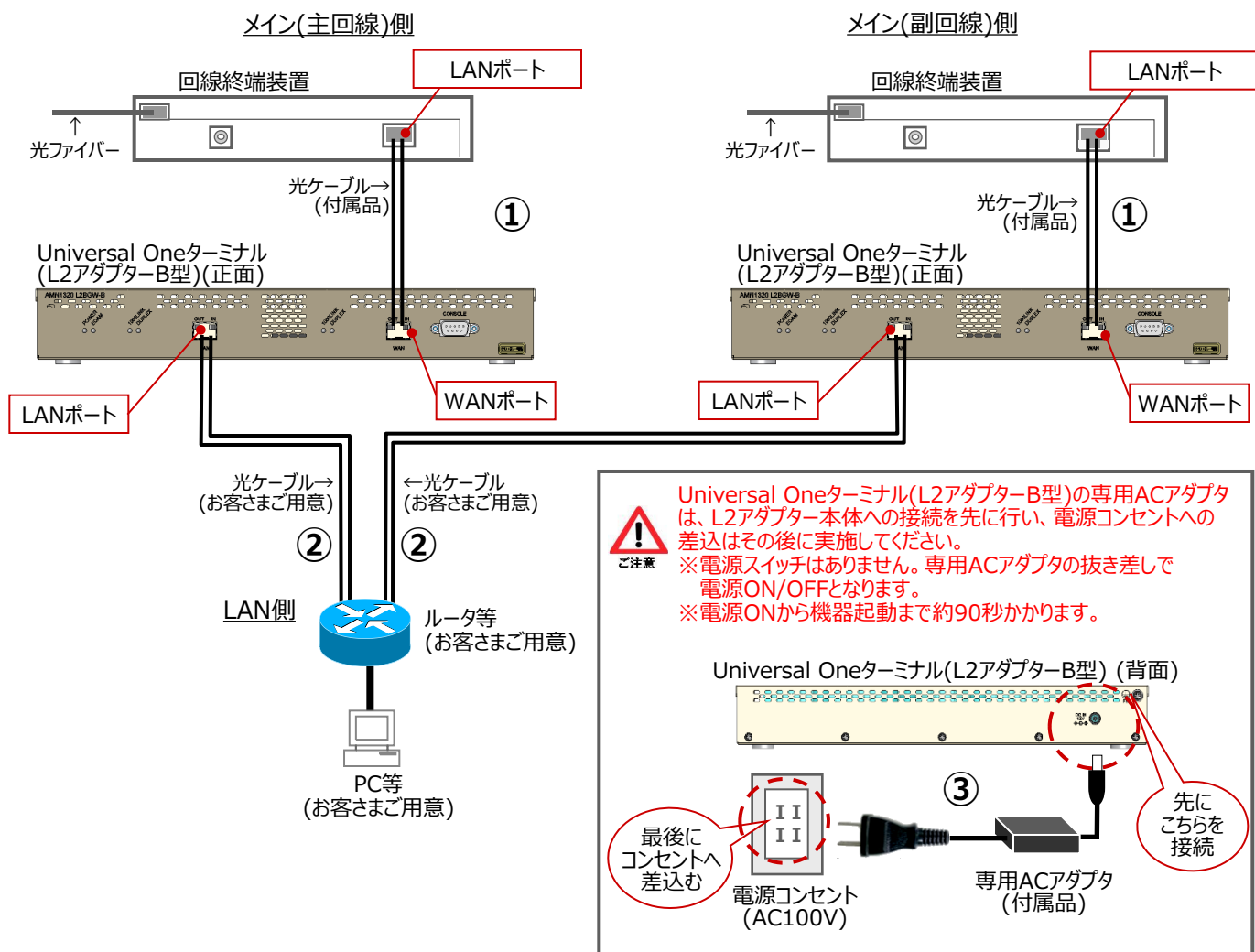
Universal Oneターミナル(L2アダプターB型)(※1)

(※1)ギランティアアクセスまたはバーストアクセスを利用の場合のみ提供。
ベストエフォートアクセスにはL2アダプターはご利用いただけません。

下図をご参照いただき、①～③のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONU等回線終端装置の「LANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプターB型)の「WANポート」を、光ケーブルで接続。
- ② 「お客さまLANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプターB型)の「LANポート」を、光ケーブルで接続。
- ③ 専用ACアダプタを、Universal Oneターミナル(L2アダプターB型)と、電源コンセントに接続。

※ ランプ状態は3-7-3項参照



3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-2. お客さまネットワーク機器への接続イメージ

【2】プレミアムプラン、ギランティプラン、バーストプランにおいて、Universal Oneターミナル(L2アダプター)を2台構成でご利用の場合

Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)(※1)

(※1)ギランティアアクセスまたはバーストアクセスを利用の場合のみ提供。
ベストエフォートアクセスにはL2アダプターはご利用いただけません。

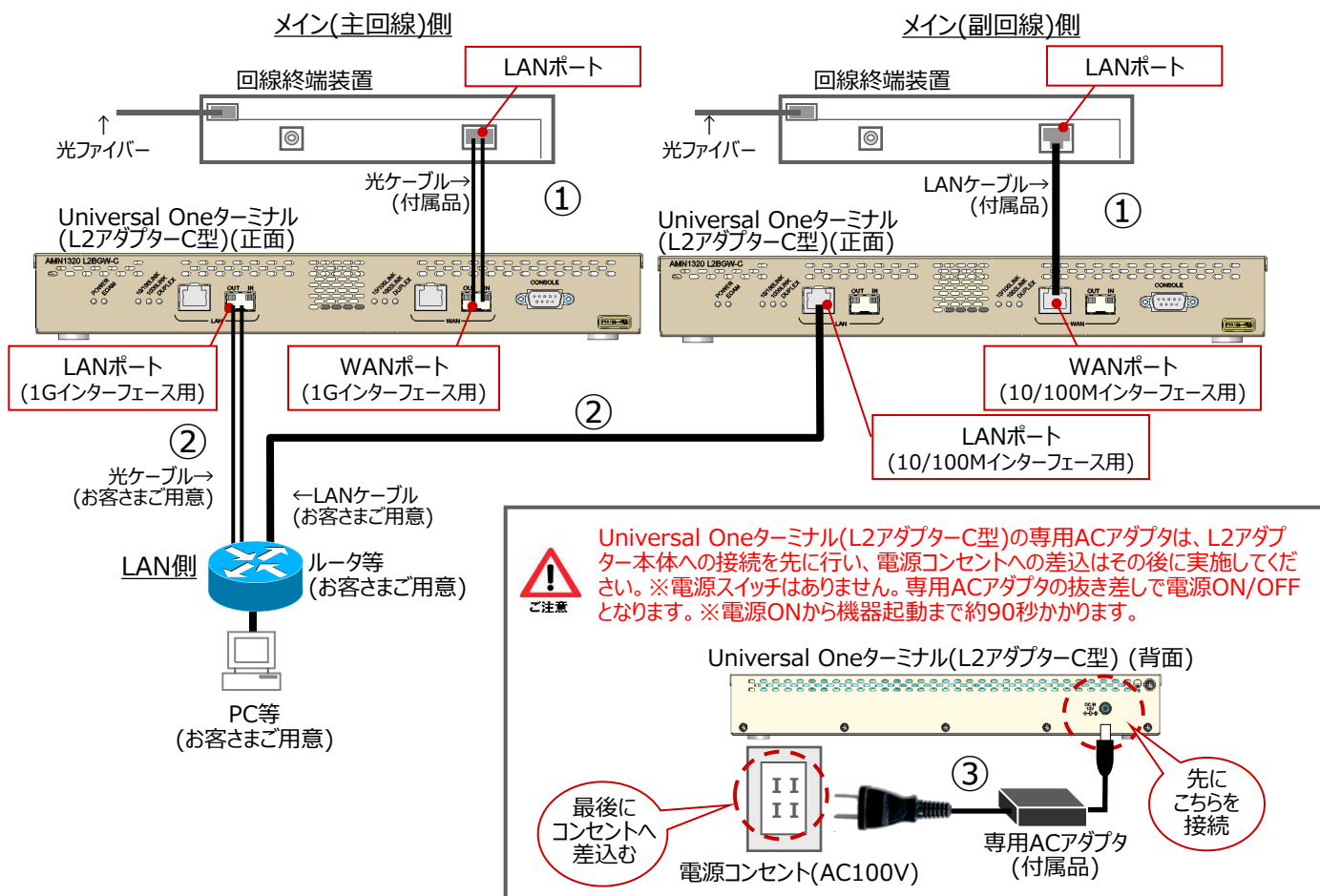
下図をご参照いただき、①～③のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① ONU等回線終端装置の「LANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)の「WANポート」を、ケーブル(※2)で接続。(Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)は、1Gインターフェースと10M/100MインターフェースでWANポートが異なります)
- ② 「お客さまLANポート」と、Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)の「LANポート」を、ケーブル(※2)で接続。(Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)は、1Gインターフェースと10M/100MインターフェースでWANポートが異なります)
- ③ 専用ACアダプタを、Universal Oneターミナル(L2アダプター-C型)と、電源コンセントに接続。

(※2) インターフェースが10M/100Mの場合はLANケーブル、1Gの場合は光ケーブルを利用

※ ランプ状態は3-7-3項参照

メイン(主回線)側が1Gインターフェース、メイン(副回線)側が10M/100Mインターフェースの場合のイメージを記載



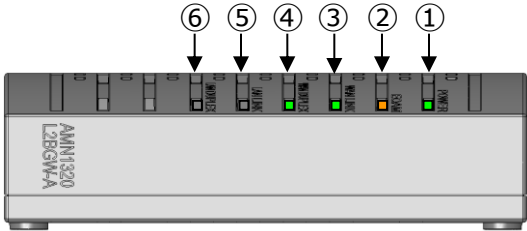
3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-3. 故障かな、と思ったら

Universal Oneターミナルの「ランプ状態」を確認してください。

Universal Oneターミナル(L2アダプターA型) のランプ状態

正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。
これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



※ **太枠** で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

	ランプ名	点灯状態	状態の説明	対処方法(お客さまでの現地確認事項)
①	POWER	緑(点灯)	【正常】電源ON	—
		赤(点灯)	故障中	—
		消灯	電源OFF	・電源アダプタが正しく電源コンセントに接続されているかを確認。 ・他の電気製品を接続し、電源コンセントに電源がきているかを確認。
②	EOAM	緑(点灯)	【正常】運用状態	—
		緑(点滅)	ダウンロード中	—
		橙(点灯)	LOC検出 非運用状態	—
		橙(点滅)	イーサOAMループ試験中	—
		消灯	CC機能無効	—
③	WAN LINK	緑(点灯)	【正常】100Mリンク確立/データ未送受	—
		緑(点滅)	【正常】100Mリンク確立/データ送受	—
		橙(点灯)	【正常】10Mリンク確立/データ未送受	—
		橙(点滅)	【正常】10Mリンク確立/データ送受	—
		消灯	リンク断	・回線終端装置との接続状態を確認。
④	WAN DUPLEX	緑(点灯)	【正常】リンク確立(Full)	—
		消灯	リンク確立(Half) リンク断	—
⑤	LAN LINK	緑(点灯)	【正常】100Mリンク確立/データ未送受	—
		緑(点滅)	【正常】100Mリンク確立/データ送受	—
		橙(点灯)	【正常】10Mリンク確立/データ未送受	—
		橙(点滅)	【正常】10Mリンク確立/データ送受	—
		消灯	リンク断	・接続されている装置との接続状態を確認。 ・接続ケーブル断線等がないか、ケーブル交換等により確認。
⑥	LAN DUPLEX	緑(点灯)	【正常】リンク確立(Full)	—
		消灯	リンク確立(Half) リンク断	—

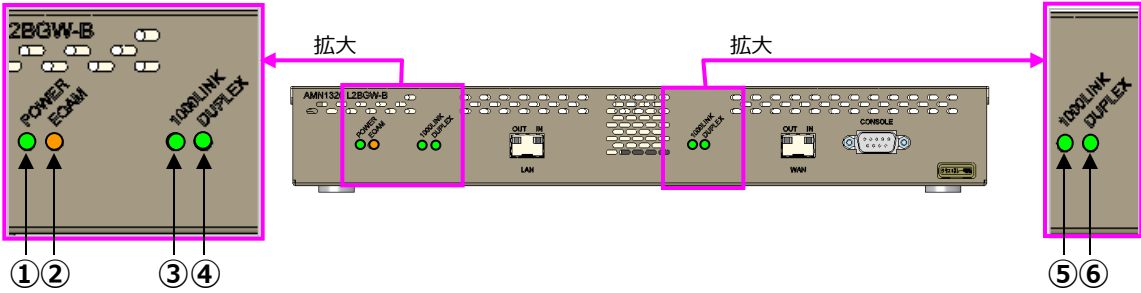
3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-3. 故障かな、と思ったら

Universal Oneターミナルの「ランプ状態」を確認してください。

Universal Oneターミナル(L2アダプターB型) のランプ状態

正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。
これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



※ **太枠** で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

	ランプ名	点灯状態	状態の説明	対処方法(お客さまでの現地確認事項)
①	POWER	緑(点灯)	【正常】電源ON	—
		赤(点灯)	故障中 SFP故障	—
		消灯	電源OFF	・電源アダプタが正しく電源コンセントに接続されているかを確認。 ・他の電気製品を接続し、電源コンセントに電源がきているかを確認。
②	EOAM	緑(点灯)	【正常】運用状態	—
		緑(点滅)	ダウンロード中	—
		橙(点灯)	LOC検出 非運用状態	—
		橙(点滅)	イーサOAMループ試験中	—
		消灯	CC機能無効	—
③	1000LINK(LAN)	緑(点灯)	【正常】光ポート1000Mリンク確立 データ未送受	—
		緑(点滅)	【正常】光ポート1000Mリンク確立 データ送受	—
		消灯	リンク断	・接続されている装置との接続状態を確認。 ・接続ケーブル断線等がないか、ケーブル交換等により確認。
④	DUPLEX(LAN)	緑(点灯)	【正常】リンク確立(Full)	—
		消灯	リンク確立(Half) リンク断	—
		消灯	リンク断	—
⑤	1000LINK(WAN)	緑(点灯)	【正常】光ポート1000Mリンク確立 データ未送受	—
		緑(点滅)	【正常】光ポート1000Mリンク確立 データ送受	—
		消灯	リンク断	・回線終端装置との接続状態を確認。
⑥	DUPLEX(WAN)	緑(点灯)	【正常】リンク確立(Full)	—
		消灯	リンク確立(Half) リンク断	—
		消灯	リンク断	—

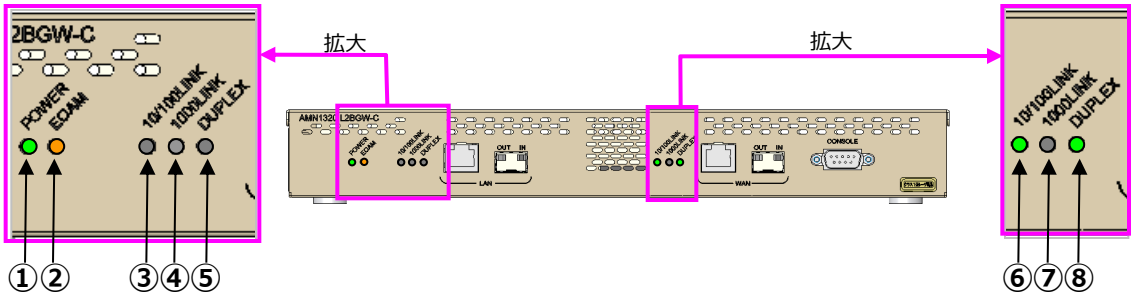
3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-3. 故障かな、と思ったら

Universal Oneターミナルの「ランプ状態」を確認してください。

Universal Oneターミナル(L2アダプターC型) のランプ状態(1/2)

正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。
これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



※⑥～⑧は次ページ参照

※ **太枠** で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

	ランプ名	点灯状態	状態の説明	対処方法(お客さまでの現地確認事項)
①	POWER	緑(点灯)	電源ON	—
		赤(点灯)	故障中	—
		消灯	SFP故障 電源OFF	・電源アダプタが正しく電源コンセントに接続されているかを確認。 ・他の電気製品を接続し、電源コンセントに電源がきているかを確認。
②	EOAM	緑(点灯)	運用状態	—
		緑(点滅)	ダウンロード中	—
		橙(点灯)	LOC検出	—
		橙(点滅)	非運用状態	—
		消灯	イーサOAMループ試験中 CC機能無効	—
③	10/100LINK(LAN) ※10/100Mインターフェイスの場合	緑(点灯)	電気ポート 100M リンク確立 データ未送受	—
		緑(点滅)	電気ポート 100M リンク確立 データ送受	—
		橙(点灯)	電気ポート 10M リンク確立 データ未送受	—
		橙(点滅)	電気ポート 10M リンク確立 データ送受	—
		消灯	リンク断	・接続されている装置との接続状態を確認。 ・接続ケーブル断線等がないか、ケーブル交換等により確認。
④	1000LINK(LAN) ※1Gインターフェイスの場合	緑(点灯)	光ポート1000Mリンク確立 データ未送受	—
		緑(点滅)	光ポート1000Mリンク確立 データ送受	—
		消灯	リンク断	・接続されている装置との接続状態を確認。 ・接続ケーブル断線等がないか、ケーブル交換等により確認。
⑤	DUPLEX(LAN)	緑(点灯)	リンク確立(Full)	—
		消灯	リンク確立(Half) リンク断	—

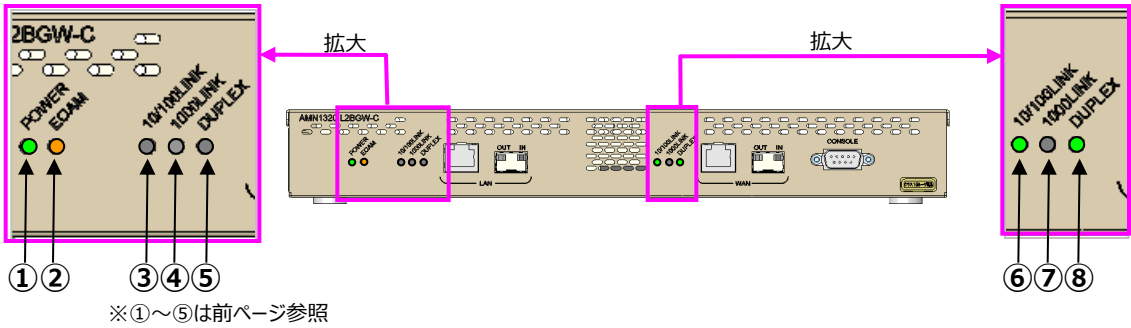
3 – 7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3 – 7 – 3. 故障かな、と思ったら

Universal Oneターミナルの「ランプ状態」を確認してください。

Universal Oneターミナル(L2アダプターC型) のランプ状態(2/2)

正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。
これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



※ **太枠** で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

	ランプ名	点灯状態	状態の説明	対処方法(お客さまでの現地確認事項)
⑥	10/100LINK(WAN) ※10/100Mインターフェースの場合	緑(点灯)	【正常】電気ポート 100M リンク確立 データ未送受	—
		緑(点滅)	【正常】電気ポート 100M リンク確立 データ送受	—
		橙(点灯)	【正常】電気ポート 10M リンク確立 データ未送受	—
		橙(点滅)	【正常】電気ポート 10M リンク確立 データ送受	—
		消灯	リンク断	・回線終端装置との接続状態を確認。
⑦	1000LINK(WAN) ※1Gインターフェースの場合	緑(点灯)	【正常】光ポート1000Mリンク確立 データ未送受	—
		緑(点滅)	【正常】光ポート1000Mリンク確立 データ送受	—
		消灯	リンク断	・回線終端装置との接続状態を確認。
⑧	DUPLEX(WAN)	緑(点灯)	【正常】リンク確立 (Full)	—
		消灯	リンク確立 (Half)	—
		消灯	リンク断	—

3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-3. 故障かな、と思ったら

[参考] 保守サポートについて

オンサイト保守について

オンサイト保守(現地駆け付け)の場合の故障機取替え等は、NTT ドコモビジネス指定の修理会社がお伺いし、故障復旧いたします。

- 保守物品はNTT ドコモビジネス指定の配送会社が持参いたします。
- 故障箇所切り分け完了から、お客さま宅へ4時間以内の到着目標(※1)。
- 到着予定時間のご連絡と共にご訪問する方のお名前をお尋ねしますので、入館の際のご対応をお願いいたします。

【オンサイト保守に関するお問い合わせ先】

ご契約時にご案内しております「Universal Oneサービスご利用内容のご案内兼内容確認票」内の「故障時連絡先」をご確認いただき、お問い合わせください。

ご不明な場合は、東京オペレーションセンタ【TEL】0120-007-003(受付時間:24時間365日)までお問い合わせください。



(※1)駆け付け時間は目標時間です。交通事情、気象状況、離島、遠隔地等については、時間がかかる場合がございますので予めご了承ください。故障機と、代替機の交換は、修理会社が実施いたします。

3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-4. UniversalOneターミナル(L2アダプターA型)縦置きスタンドの取り付け方法

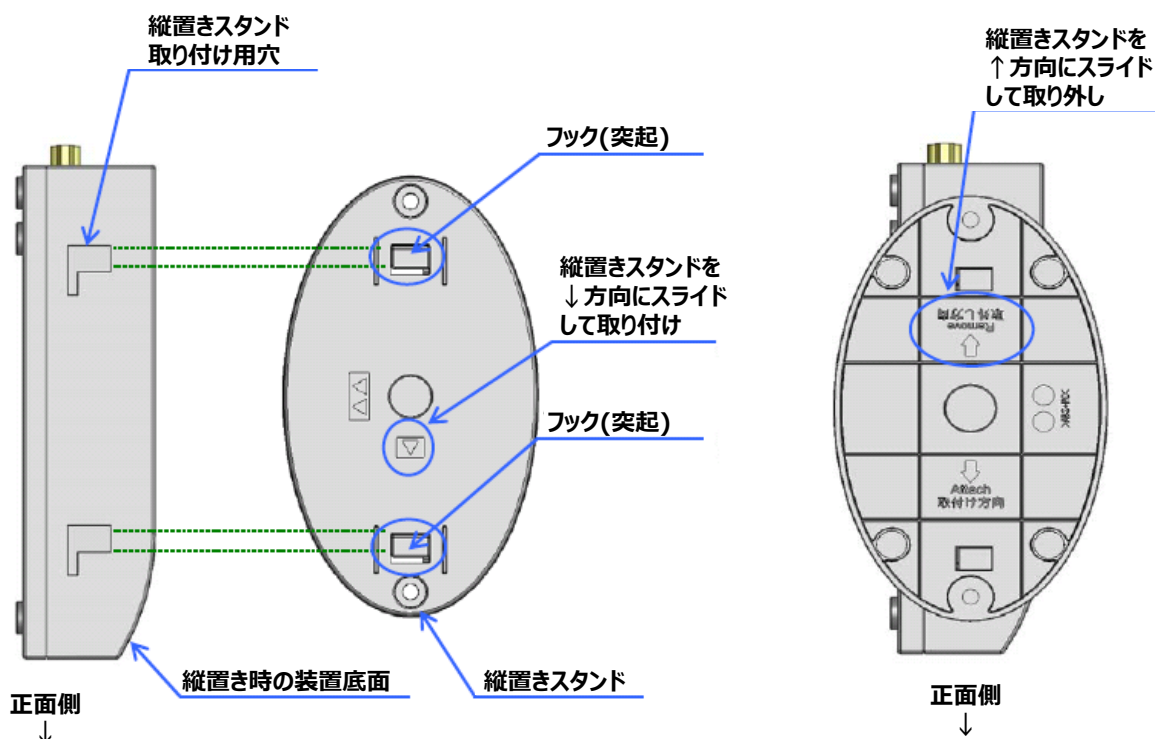
[参考] 縦置きスタンドの取り付け方法

Universal Oneターミナル(L2アダプターA型)のみ、付属の縦置きスタンドを利用し、縦置きでのご使用が可能です。

お客様にて縦置きスタンドを取り付ける場合は、以下の手順で取り付けの上、ご使用ください。

- ① 縦置きスタンドの取り付け用フック(突起)を装置の台座取り付け用穴にはめ込む。
- ② 縦置きスタンドを矢印方向にカチッと音がするまでスライドして固定する。

※取り外し方法は、取り付け方法と逆の作業になります。



3-7. Universal Oneターミナル(L2アダプター)のご利用方法

3-7-5. その他の注意事項

1. 設計時の注意事項

機能、性能について	・契約帯域の一部を、アクセス回線の正常性確認やアラーム検知など監視目的、およびL2アダプターのメンテナンスを目的に、弊社が利用させて頂く場合があります。 ・L2アダプターの制御用のためのEther-OAMフレームには、VLANタグ(VLAN ID : 4094)が付与されます。そのため、お客様が独自にVLANタグを付与する場合には、VLAN ID : 4094を利用いただくことはできません。VLAN ID : 4094のVLANタグをお客様が付与した場合、該当フレームはL2アダプターで廃棄されます。 ・通信グループ内にL2アダプターを設置した回線と設置しない回線が混在した場合、L2アダプターを設置していない回線には、Ether-OAMフレームがお客様セグメントに流れ込みます。
-----------	--

2. 開通に関する注意事項

宅内機器について	・弊社からご提供する本サービスの提供機器についてはレンタル物品となります。また、解約時にご返却をして頂きますので、管理についてはご注意ください。万が一破損紛失の場合には、弁済金を弊社から請求させて頂く場合がございます。 ・弊社よりUniversal Oneターミナルおよび回線終端装置とUniversal Oneターミナル間のケーブルをご提供いたしますが、Universal Oneターミナルとお客様LAN機器と接続するケーブルはお客様にご用意して頂く必要があります。
----------	--

3. 保守に関する注意事項

オンサイト保守の駆けつけ時間について	・Universal Oneターミナルの駆けつけ時間は、ご希望の時間に添えない場合がございます。
コールドスタンバイ機について	・Universal One ターミナル(L2アダプター)のコールドスタンバイ機は、定期的なメンテナンスを計画しておりません。コールドスタンバイ機の保管については、直射日光を避け、高温多湿にならない、水などの液体がかからない場所で、お客様にて実施して頂きます。なお、コールドスタンバイ機は、通信の万全な回復をお約束するものではありません。 ・故障などの時、お客様にて現用機をコールドスタンバイ機に交換して頂き、あわせて弊社故障窓口へ連絡をして頂きます。弊社故障窓口よりコールドスタンバイ機への遠隔設定を実施いたします。 ・お客様にて接続して頂いたコールドスタンバイ機は、故障復旧作業時に、回線から外した状態に戻します。 ・設定変更がある場合は、現用機とコールドスタンバイ機を同時に変更させて頂く場合があります。 ・コールドスタンバイ機は、現用機同様にレンタル物品となります。万が一破損紛失の場合には、弁済金を弊社から請求させて頂く場合がございます。

3. サービスのご利用方法について

3－8. 専用コンバーターのご利用方法

3 – 8. 専用コンバーターのご利用方法

3 – 8 – 1. 機器諸元

概観図・機器諸元

- 記載内容は、2013年11月現在のものです。
- 表記のサービス/仕様内容は予告なく変更することがあります。

・本サービスのL2ベストエフォートアクセスでは、以下の機器をご提供します。

専用コンバータ

センチュリー・システムズ社製
FutureNet NXR-125/CX



電源	ACアダプタ(入力AC100V±10%) 平行2ピン 50Hz/60Hz 約8.5W(本体のみ)
本体サイズ	高さ×幅×奥行き：33mm ×174mm × 111mm
重量	340g
動作環境	温度：0 ～ 40℃ 湿度：10～90%(結露なきこと)

NECプラットフォームズ製 AG1510



電源	AC100V±10% 50/60Hz(ACアダプタ) 消費電力：約10VA(約5.5W) (本体のみ)
本体サイズ	高さ×幅×奥行き：33mm×160mm×135mm (突起物を除く)
重量	600g(ACアダプタ含む)
動作環境	温度：0～45℃ 湿度：90%以下(非結露)

3-8. 専用コンバーターのご利用方法

3-8-1. 機器諸元

概観図・機器諸元

- 記載内容は、2012年11月現在のものです。
- 表記のサービス内容は予告なく変更することがあります。



本体のお取り扱いについて

- 電源には、必ず付属のACアダプタをご使用ください。
- 電源プラグの金属部分およびその周辺にほこり等の付着物がある場合には、乾いた布でよく拭き取ってからご使用ください。時々、電極間にほこりやゴミが溜まっていないかご点検ください。
- 専用コンバータ及びACアダプタは安定した場所に設置してください。
- 専用コンバータ本体または内部に、水などの液体がかからない場所に設置してください。
- 専用コンバータ本体または内部に、異物やほこり等が入らない場所に設置してください。
- 専用コンバータ本体のゴム足を下にして設置してください。
- 専用コンバータ本体上面に通気孔があるため、本体を他の製品と重ねたり、物を置いたり、立て掛けたりして通気孔を塞がないでください。
- 直射日光が当たるところや高温多湿になるところに設置しないようにしてください。
- 専用コンバータ本体のスイッチ類には触れないでください。また、分解、改造は絶対に行わないでください。



レンタル機器の梱包類についてお客さまへのお願い

レンタル機器が梱包されていた「梱包箱」「緩衝材」は廃棄せずご返却時まで保管してください。

機器故障や解約時等、専用コンバータご返却の際にこの梱包類でご返却いただいております。万が一、お客さまにて紛失されますと別途料金をいただく場合がございます、なお、同梱物であるLANケーブル(1本)・ACアダプタについてもご返却いただきますので紛失されないようお願いいたします。

3-8. 専用コンバーターのご利用方法

3-8-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

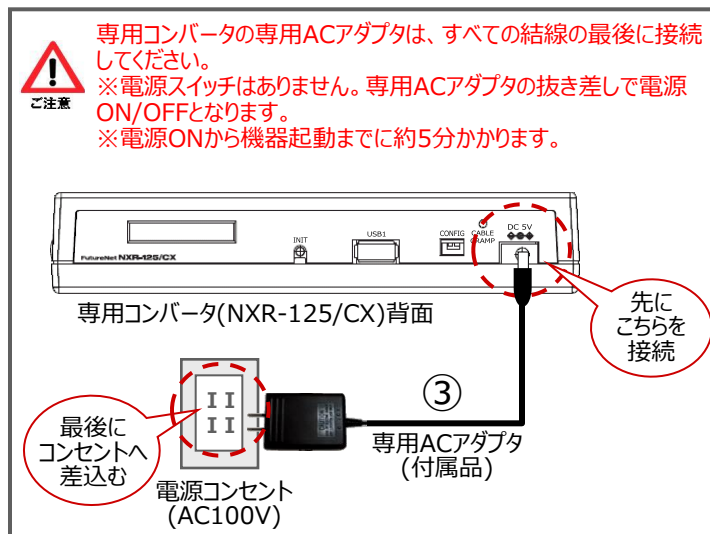
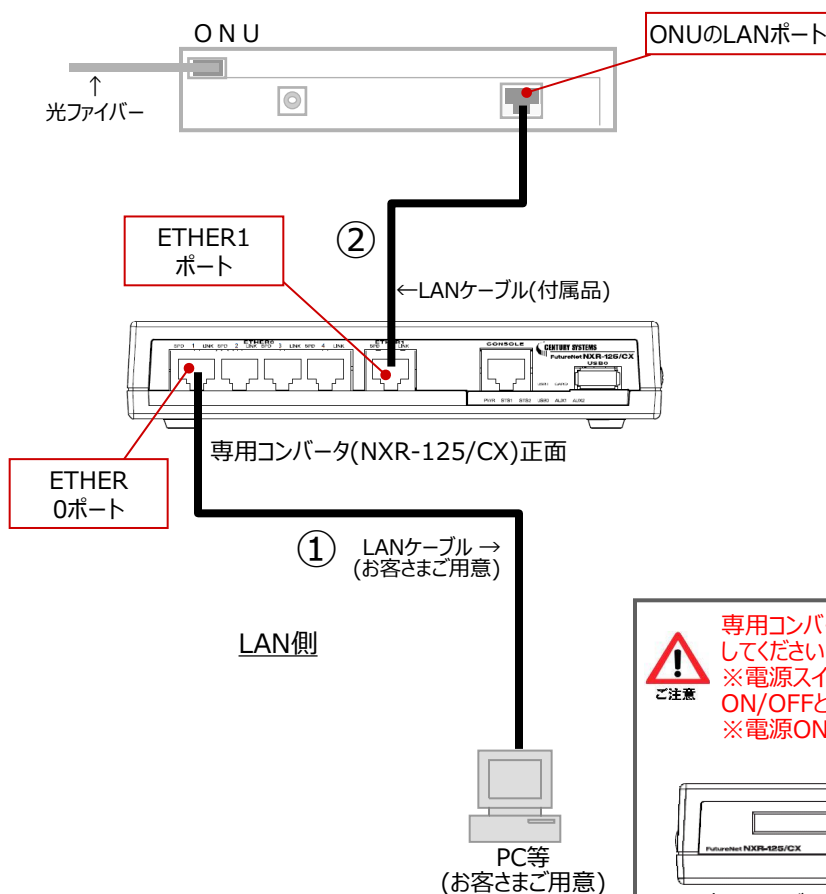
【1】Universal One L2ベストエフォートアクセスを利用の場合(※1)

Universal One L2ベストエフォート(NXR-125/CX)

(※1)ベストエフォートアクセス専用のL2コンバータとなります。

下図をご参照いただき、①～③のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ①「お客様LANポート」と、専用コンバータ(NXR-125/CX)の「ETHER0(LAN側)ポート」を、LANケーブルで接続。(※極性は自動認識のため、ケーブルの種類は問いません。)
- ②「ONUのLANポート」と、専用コンバータ(NXR-125/CX)の「ETHER1(WAN側)ポート」を、LANケーブルで接続。



3-8. 専用コンバーターのご利用方法

3-8-2. お客様ネットワーク機器への接続イメージ

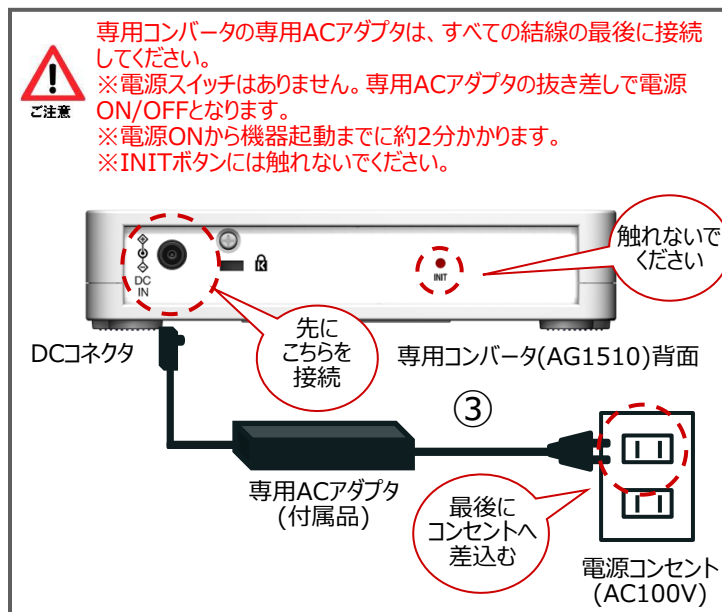
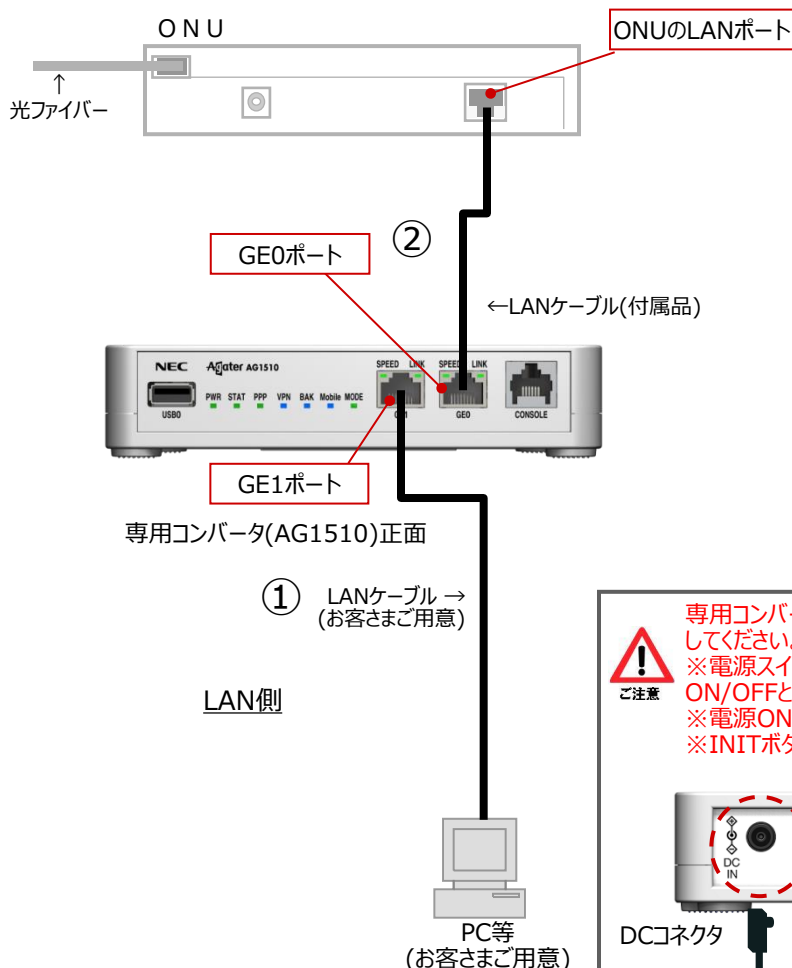
【1】Universal One L2ベストエフォートアクセスを利用の場合(※1)

Universal One L2ベストエフォート(AG1510)

(※1)ベストエフォートアクセス専用のL2コンバータとなります。

下図をご参照いただき、①～③のケーブル接続確認と、各機器のランプ状態を確認してください。

- ① 「お客様LANポート」と、専用コンバータ(AG1510)の「GE1(LAN側)ポート」を、LANケーブルで接続。(※極性は自動認識のため、ケーブルの種類は問いません。)
- ② 「ONUのLANポート」と、専用コンバータ(AG1510)の「GE0(WAN側)ポート」を、LANケーブルで接続。



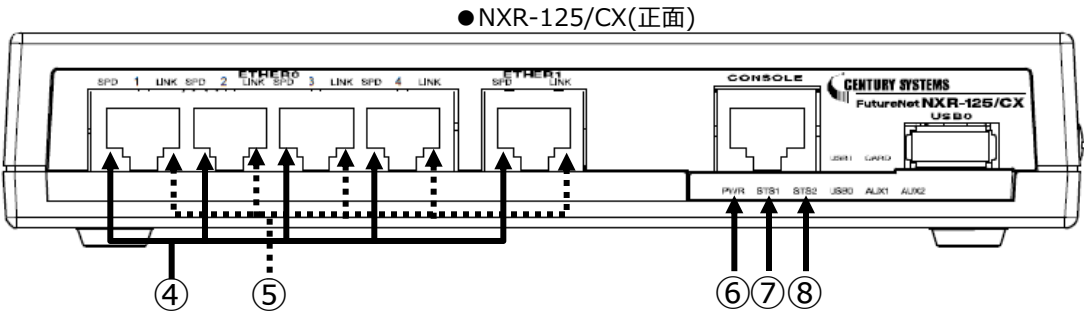
3 – 8. 専用コンバーターのご利用方法

3 – 8 – 3. 故障かな、と思ったら

専用コンバータ(NXR-125/CX)の「ランプ」状態を確認してください。

専用コンバータのランプ状態

正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。
これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。



※ **太枠** で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

	ランプ名	表示色	状態の説明	対処方法(お客さまでの現地確認事項)
④	S P D (Speed表示ランプ)	消灯	【正常】10BASE-T	—
		緑 (点灯)	【正常】100BASE-TX	—
		橙 (点灯)	【正常】1000BASE-T	—
5	L I N K (Link状態表示ランプ)	消灯	Link down (接続されている装置との間でリンクが確立されていない)	・接続されている装置との接続状態を確認。 ・接続ケーブル断線等がないか、ケーブル交換等により確認。
		緑 (点灯)	【正常】Link up	—
		緑 (点滅)	【正常】通信中	—
6	P W R (Power状態表示ランプ)	消灯	電源OFF状態 (電源アダプタが正しく接続されていない。) (電源コンセントに電源がきていない。)	・電源アダプタが正しく電源コンセントに接続されているかを確認。 ・他の電気製品を接続し、電源コンセントに電源がきているかを確認。
		青 (点灯)	【正常】電源ON状態	—
⑦	S T S 1 (ステータス1ランプ)	消灯	【正常】起動状態	—
		赤 (点灯)	起動中	・起動完了までお待ちください。
		橙 (点滅)	ファームウェアアップデート中	・約5分間updateに時間を要します。
⑧	S T S 2 (ステータス2ランプ)	緑 (点灯)	【正常】起動状態	—

3-8. 専用コンバーターのご利用方法

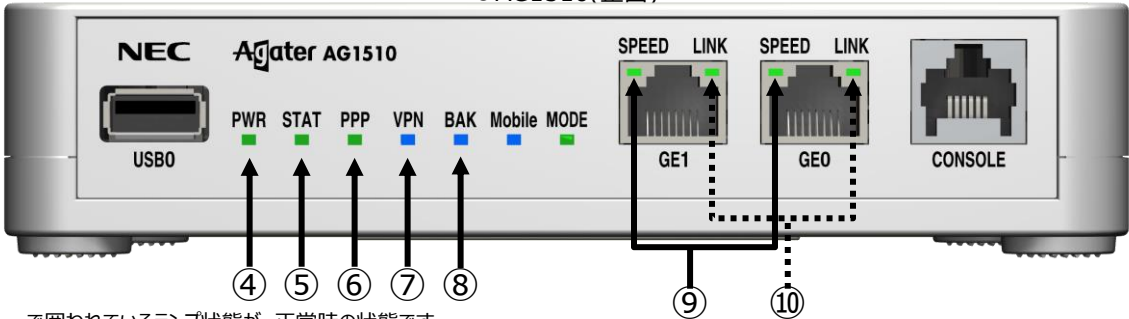
3-8-3. 故障かな、と思ったら

専用コンバータ(AG1510)の「ランプ状態」を確認してください。

専用コンバータのランプ状態

正常時のランプ状態は下記の表のとおりです。
これ以外のランプ状態の場合はトラブルが考えられますので、対処法に従ってください。

●AG1510(正面)



※ **太枠** で囲われているランプ状態が、正常時の状態です。

	ランプ名		ランプ状態	状態の説明
④	PWR		消灯	電源がOFF状態
			緑点灯	電源がON状態
			緑点滅	USBメモリによるファームウェア/スタートアップコンフィグ自動更新起動中
⑤	STAT		消灯	ブートモニタが起動中
			赤点滅	フラッシュメモリアクセス中
			赤点灯	自己診断エラー
			緑点灯	運用状態
			緑点滅	電波サーベイモード
⑥	PPP		消灯	PPPセッションが確立していない状態
			橙点灯	ユーザ認証失敗
			橙点滅	ダイヤルアップエラー
			緑点滅(早い)	ダイヤルアップ中
			緑点滅(遅い)	PPPネゴシエーション中
			緑点灯	PPPセッションが確立中
⑦	VPN		消灯	VPNTトンネル未接続
			青点灯	VPNTトンネル接続中
⑧	BAK		消灯	下記以外の状態
			青点灯	VPNTトンネル未接続
⑨	GE0/GE1	SPEED	消灯	10Mbpsでリンク確立またはリンクが確立していない状態
			橙点灯	100Mbpsでリンク確立している状態
			緑点灯	1Gbpsでリンク確立している状態
⑩		LINK	消灯	イーサネットのリンクが確立していない状態
			緑点灯	イーサネットのリンクが確立中
			緑点滅	データの送受信が行われている状態

注1：「BAK」ランプは、通信経路の迂回が発生している場合、お客様通信が可能な状態でも青点灯することがあります。

注2：「Mobile」「MODE」ランプは本サービスでは使用しません。

注3：「SPEED」ランプの状態は接続した機器のインターフェース設定により異なります。

注4：「PPP」ランプは、お客様通信が可能な状態でも緑点灯することがあります。

3-8. 専用コンバーターのご利用方法

3-8-3. 故障かな、と思ったら

[参考] 保守サポートについて

オンサイト保守について

オンサイト保守(現地駆け付け)の場合の故障機取替え等は、NTT ドコモビジネス指定の修理会社がお伺いし、故障復旧いたします。

- 保守物品はNTT ドコモビジネス指定の配送会社が持参いたします。
- 到着予定時間のご連絡と共にご訪問する方のお名前をお尋ねしますので、入館の際のご対応をお願いいたします。

-対応時間 -
24時間365日対応

故障箇所切り分け完了から、お客さま宅へ4時間以内の到着目標(※1)



ご注意

(※1)駆け付け時間は目標時間です。交通事情、気象状況、離島、遠隔地等については、時間がかかる場合がございますので予めご了承ください。
故障機と、代替機の交換は、修理会社が実施いたします。

3－8．専用コンバーターのご利用方法

3－8－4．その他の注意事項

- ・ 3－2－5．その他の注意事項(L2)をご確認ください。

3. サービスのご利用方法について

3－9. 各種機能のご利用方法

3-9. 各種機能のご利用方法

3-9. 各種機能のご利用方法

監視

- L3、L2の監視は、基本機能としてご利用可能です。
Universal Oneターミナル、Communication ターミナル、またはお客様自営ルーター(L3ギャランティアクセス、L3バーストアクセスのみ。別途申し込みが必要です)をネットワーク側から常時監視するサービスです。
- 新設における監視は、回線開通日の翌日から開始※1となります。特にお客様からの監視開始のご連絡は不要です。異常検知時にはお客様にご連絡させていただきます。
※1 Arcstar IP-VPNでスタティック利用の回線が、Arcstar Universal Oneへの移行方式によっては、回線開通日から6営業日を目安に、また、e-VLANの回線が、Arcstar Universal Oneへの移行方式によっては、回線開通日から2営業日を目安に開通となります。
- なお、弊社営業担当車を経由した回線申込みの場合、監視開始/監視停止の設定を工事日前(2営業日前)に実施しているため、工事日直前に申込み情報に変更があった場合上記の仕様通りとならない場合があります。
- NTTドコモビジネス ビジネスポータルから監視停止登録した場合、L3/L2のギャランティアクセス・バーストアクセスをご利用のお客様においても、プロアクティブな故障対応ができない場合があります。ただし、大規模な故障が発生した場合、ご連絡いたします。
- お客様のご都合により一時的/定期的にルーターの電源切断や、ケーブルを抜くなどメンテナンスを行う際は、NTTドコモビジネス ビジネスポータルから監視停止登録のご利用をお願い致します。監視停止登録をご利用いただいた場合は、弊社窓口部門への工事連絡は不要です。
- 事前にご登録/ご連絡いただけない場合は、異常検知に伴い故障時ご連絡先のご担当者様にご連絡をさせていただきます場合があります。

3-9. 各種機能のご利用方法

3-9. 各種機能のご利用方法

インターネット接続

1. 回線オプション(拠点型)

- ・L3ベストエフォートアクセスでは、回線オプションとしてインターネット接続サービスを提供しております。
- ・インターネット上で名前解決を実施するDNSサーバーを、NTT ドコモビジネスにてご用意しております。お客さまLANにおけるインターネット利用端末、ないしUniversal Oneターミナル/Communication ターミナルのDHCP機能によるDNSサーバーIPアドレス払い出しの設定に、必要に応じて下記IPアドレスを設定し、ご利用ください。

- インターネット接続用DNSサーバー IPアドレス (推奨) -

本サービスを東日本エリアにてご利用の場合
プライマリDNSサーバーIP 210.145.254.162
セカンダリDNSサーバーIP 125.170.93.226

本サービスを西日本エリアにてご利用の場合
プライマリDNSサーバーIP 125.170.93.226
セカンダリDNSサーバーIP 210.145.254.162

- ・インターネット接続機能のマルウェア不正通信ブロックサービスではC&Cサーバへの通信を遮断します。本機能を利用したくない場合は、下記のDNSサーバを設定しご利用ください。

- インターネット接続用DNSサーバー IPアドレス -

本サービスを東日本エリアにてご利用の場合
プライマリDNSサーバーIP 122.28.103.6
セカンダリDNSサーバーIP 125.170.93.174

本サービスを西日本エリアにてご利用の場合
プライマリDNSサーバーIP 125.170.93.174
セカンダリDNSサーバーIP 122.28.103.6

- ・インターネット接続をご利用の場合、デフォルトルートはOCN網宛となり、弊社ネットワーク網へは10.0.0.0/8, 172.16.0.0/12, 192.168.0.0/16宛のStaticルートとなります。
- ・VPN通信で利用するフレッツのセッションとは別に1のインターネット接続用セッションが必要となります。
- ・L3ベストエフォートアクセスをご利用の拠点におきましてUniversal Oneターミナル/Communication ターミナル配下の「お客様拠点ネットワークサマライズアドレス」「お客様拠点ネットワークアドレス」に下記アドレスを指定することは出来ません。
【対象IPアドレス】
10.0.0.0/8
172.16.0.0/12
192.168.0.0/16
- ・L3ベストエフォートアクセスはOCN網を利用しインターネット接続機能を提供しております。
- ・OCN網における計画工事・故障情報に関しましてはオペレーションサポートウェブ(<https://support.ntt.com/maintenance/>)をご参照ください。
- ・インターネット接続機能は、インターネットから拠点に対する通信を遮断します。その為、当インターネット接続機能を利用しての外部サーバ公開やリモートアクセス等を行う事は出来ません。また、上記インターネット接続機能を利用される場合、Universal Oneサービスにおける全拠点においてグローバルIPアドレスを利用する事は出来ませんので、ご了承ください。

3-9. 各種機能のご利用方法

3-9. 各種機能のご利用方法

インターネット接続

2.VPNオプション(GW型)

・ Universal OneではVPNオプションとしてインターネット接続(ベストエフォートタイプ/帯域確保タイプ)を提供しております。

・ インターネット上で名前解決を実施するDNSサーバーを、NTT ドコモビジネスにてご用意しております。お客様LANにおけるインターネット利用端末、ないしUniversal Oneターミナル/Communication ターミナルのDHCP機能によるDNSサーバーIPアドレス払い出しの設定に、必要に応じて下記IPアドレスを設定し、ご利用ください。

- インターネット接続用DNSサーバー IPアドレス (推奨) -

プライマリDNSサーバーIP 210.145.254.162

セカンダリDNSサーバーIP 125.170.93.226

・インターネット接続機能のマルウェア不正通信ブロックサービスではC&Cサーバへの通信を遮断します。本機能を利用したくない場合は、下記のDNSサーバを設定しご利用ください。

- インターネット接続用DNSサーバー IPアドレス -

プライマリDNSサーバーIP 122.28.103.6

セカンダリDNSサーバーIP 125.170.93.174

- ・ インターネット接続機能は、VPN通信とインターネット通信のトラフィックを重畳しているため、トラフィックが相互に影響する場合があります。
- ・ インターネット接続機能は、インターネットから拠点に対する通信を遮断します。その為、当インターネット接続機能を利用しての外部サーバ公開やリモートアクセス等を行う事は出来ません。また、上記インターネット接続機能を利用される場合、Universal Oneサービスにおける全拠点においてグローバルIPアドレスを利用する事は出来ませんので、ご了承ください。

《ベストエフォートタイプをご利用のお客様》

- ・ インターネット接続ベストエフォートタイプは、混雑時にはスループットが約1Mbps程度まで低下しパケット廃棄が発生する場合があります。

《帯域確保タイプをご利用のお客様》

- ・ インターネット接続帯域確保タイプは、VPN網からOCN網へ接続する区間においてお客様の契約帯域を確保するサービスになります。ベストエフォート回線などをご利用されていてアクセス回線側が混雑している場合においては、インターネット通信の速度が低下することがあります。

3-9. 各種機能のご利用方法

3-9. 各種機能のご利用方法

.Phone接続機能

- ・Universal Oneサービスをアクセスラインとしてご利用いただく場合、バックアップ回線でVoIPサービスをご契約いただくことはできません。
- ・ベストエフォートアクセスをご利用の場合、弊社で提供するネットワーク設備を複数のお客さまで共有するサービスであるため、接続スピードは保証できませんのでご了承ください。ネットワークが混雑状態の場合は、音声通信品質が低下する場合があります。

優先制御機能

- ・お客様が優先制御(上り)、優先制御(下り)契約回線に対し、契約帯域を上回るトラフィックを流した場合、最優先に分類されたパケット(主にPQ)が定められた契約帯域内であっても、PQを含む優先制御パケットが破棄又は遅延が発生する場合があります。
- ・優先制御(上り)をご利用いただく場合は、Universal Oneターミナル(L2アダプター)を必ずご利用いただきます。
- ・100M以下の品目で、優先制御(上り)をご利用いただく場合は、併せて優先制御(下り)を必ずご利用いただきます。
- ・優先制御(上り)と優先制御(下り)は、同一の制御識別子(ToSまたはCoS)をご利用ください。

Universal One接続機能

- ・Universal One接続機能を介して接続されるネットワークとの間にて、IPアドレスの重複はルーティングが不安定になる可能性がありますので基本的にご利用いただけません。
但し、デフォルトルートを利用した付加機能サービス(VPNオプション型インターネット接続機能など)やロングゲストマッチを利用したネットワーク設計を行う場合には、お客様側にてネットワーク設計にご留意いただいた上でご利用いただくことが可能です。

VPN間接続機能

- ・VPN間接続機能によって接続される全てのVPN間の範囲にて、IPアドレスの重複はルーティングが不安定になる可能性がありますので基本的にご利用いただけません。
但し、デフォルトルートを利用した付加機能サービス(VPNオプション型インターネット接続機能など)やロングゲストマッチを利用したネットワーク設計を行う場合には、お客様側にてネットワーク設計にご留意いただいた上でご利用いただくことが可能です。

L2アダプター リンクダウン転送機能

- ・L2アダプターでのリンクダウン転送機能をご利用いただく場合は、Universal Oneターミナル(L2アダプター)を必ずご利用いただきます。
- ・100M以下の品目で、リンクダウン転送機能をご利用いただく場合は、併せて優先制御(下り)を必ずご利用いただきます。
- ・ご利用いただく優先制御(下り)の識別子は、CoSをご利用ください
- ・上り方向の片方向故障が発生した場合は、リンクダウン転送機能は動作しません。

4. 各種お問い合わせ先

4. 各種お問い合わせ先

サービスご利用中の故障等に関するお問い合わせ先

ご契約時にご案内しております「Universal Oneサービスご利用内容のご案内兼内容確認票」内の「故障時連絡先」をご確認いただき、お問い合わせください。

ご不明な場合は、東京オペレーションセンタ【TEL】0120-007-003(受付時間:24時間365日)までお問い合わせください。

 お客さまによっては、NTTドコモビジネスが提供するほかのサービス等を含めて一元保守窓口を設けている場合がございます。その場合は、一元保守窓口にて本サービスの故障受付も行います。

 ベストエフォートアクセスでフレッツ別契約型をご利用の場合(一元故障受付オプションをお申込の場合を除く)、NTT東日本・西日本が提供するフレッツ回線(「フレッツ・ADSL」「フレッツ 光ネクスト」等)の故障受付/対応は、NTT東日本・西日本の各フレッツお問い合わせ窓口までご確認願います。

●工事情報・故障情報について

オペレーションサポートウェブ【URL】 <https://support.ntt.com/business> (PC/スマートフォン/携帯電話からアクセス可)

上記URLへアクセス後、以下を選択してください。

「目的から探す」から「工事・故障情報」を選択 → 「工事・故障情報をサービス名から探す」から「ネットワーク・モバイル」を選択 → 「ネットワーク・モバイル」から該当するサービスを選択

●ベストエフォートアクセスで、フレッツ別契約型ご利用のお客さま(「フレッツADSL/フレッツ 光ネクスト等」に関するお問い合わせ先)

-NTT東日本- フレッツ・サポートセンター

【TEL】 ☎ 0120-000-113

【受付時間】24時間365日受付

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00となります。

※24時間対応のオプションサポートあり。詳しくはNTT東日本窓口までお問い合わせください。

【NTT東日本フレッツHP】 <https://flets.com/>

-NTT西日本- 故障、技術、設定などについて

【TEL】 ☎ 0120-248-995

○故障、通信速度などについて

【受付時間】24時間対応(一部時間帯は録音受付による応対となります)

○設定について

【受付時間】午前9時～午後5時(一部時間帯は録音受付による応対となります)

※24時間対応のオプションサポートあり。詳しくはNTT西日本窓口までお問い合わせください。

【NTT西日本フレッツHP】 <https://flets-w.com/>

L3開通確認に関するお問い合わせ先

- コムエンジニアリング L3開通担当 -

【受付時間】9:00～17:00

※土日祝日と年末年始は除く。

【TEL】 ☎ 0120-047-530



L3ご利用のお客さまで、BGPのアクセス回線をご利用のお客さまは、お客さま側の設定が終了しましたら、上記開通確認窓口までご連絡願います。ご連絡をいただいてから、BGP確立確認を実施いたします。

料金に関するお問い合わせ先

- ビリングカスタマセンタ -

【受付時間】9:00～17:00

※土日祝日と年末年始は除く。

【TEL】 ☎ 0120-047-128

【E-mail】  bill@ntt.com

トラフィックレポートに関するお問い合わせ先

- トラフィックレポート受付窓口 -

【E-mail】  uno-trafficreport@ntt.com

Arcstar Universal Oneサービス全般について

- Arcstar Universal Oneホームページ -

【URL】 <https://www.ntt.com/universalone/>

Arcstar Universal One
ご利用ガイド

2025年7月 第9.3版発行
発行 NTTドコモビジネス株式会社
©2011-2025 NTTドコモビジネス株式会社
本書の無断複写複製(コピー)・転載を禁じます。